

Table with 2 columns: Item No. (1-11) and Description (防水工事, 保証年限, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (1-4) and Description (施工調査数量, 調査のための破壊部分の補修, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (1-3) and Description (施工調査数量, 調査のための破壊部分の補修, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (4-5) and Description (欠損部改修方法, モルタル塗替え工法, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (1-3) and Description (施工調査数量, 調査のための破壊部分の補修, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (1-3) and Description (施工調査数量, 調査のための破壊部分の補修, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (4-5) and Description (欠損部改修方法, タイル部分張替え工法, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (6-7) and Description (目地改修方法, 施工調査数量, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (1-3) and Description (施工調査数量, 調査のための破壊部分の補修, etc.).

Table with 2 columns: Item No. (4-5) and Description (仕上塗材仕上げ, 外壁改修工事塗り仕上げ).

Table with 2 columns: Item No. (1-5) and Description (改修工法, アルミニウム製建具(新設), etc.).

Table with 2 columns: Item No. (9) and Description (自動ドア開閉装置).

10. 重量シャッター
機能による種類
・管理用 ・ 防火 (・ 外壁用 ・ 屋内用) ・ 防煙
シャッターケース (防火・防煙以外の場合) ・ 設ける ・ 設けない
閉閉機能による種類
※上部電動式 (手動併用) 電源 ※ V kw以下 (過電流保護装置付)
・ 上部手動式
耐風圧強度 ()
屋内用防火、防煙シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置 ・ シャッター二段降下方式
工事範囲 一次配線は別途工事とし、閉閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

11. 軽量シャッター
閉閉機能による種類
※手動式
・ 上部電動式 (手動併用) 電源 ※ V kw以下 (過電流保護装置付)
耐風圧強度 ()
スラットの形状 ※インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
工事範囲 一次配線は別途工事とし、閉閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

12. セクション材
※ステールタイプ ・ アルミニウムタイプ
・ ファイバーグラスタイプ
閉閉方式 ※バランスタイプ ・ チェーン式 ・ 電動式
収納方式 ※スリット形 ・ ロケット形 ・ ハイリフト形 ・ ロケット形
ガイドレール ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304)
耐風圧強度 ()

13. ガラス
建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示 (建具表) による。(5.13.2)
ガラス留め材 (5.13.2.(b)) (5.13.3) (表 5.13.1)
建具の種類
アルミニウム製 ※シーリング材 (SR-1) ・ グレージングガスケット
鋼製、ステンレス製 ※シーリング材 (SR-1)
ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

14. 壁紙張り
壁紙は JIS A6921 により、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
壁紙は JIS A6921 により、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ () (6.14.2)

15. タイル張り
タイルの種類
・ コンポジションビニル床タイル (半硬質) ※2
・ コンポジションビニル床タイル (硬質) ・ 3
・ ホモジニアスビニル床タイル ()
・ 帯電防止ビニル床タイル (敷設タイプ) ※2
・ ホモジニアスビニル床タイル (パネル一体タイプ) ()
帯電防止ビニル床タイル (敷設タイプ) の接着剤は粘着剥離形とし、製造所の指定する製品とする。

16. ビニル幅木
材質 ※軟質 ・ 硬質
厚さ ※2 ()
高さ ※60 ・ 75 ・ 100 ()

17. カーペット敷き
織りじゅうたん (6.9.2) (6.9.3) (表 6.9.1) (表 6.9.2)
種類 織り方 バイルの形状 色柄 備考
A種 ※三絨織り ※カットバイル ※無地 ・ 防虫加工品
B種 () ・ ループバイル ・ 模様 人体帯電圧
C種 () () ・ 3w以下 ()

18. 合成樹脂塗床材
種類 仕上りの種類
弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ
エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜塗し膜仕上げ ・ 厚膜塗し膜仕上げ (※平滑・防汚)
樹脂モルタル仕上げ (※平滑・防汚) ・ 防汚仕上げ
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

19. 防塵用塗料塗り
材質 水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色)
仕上り種類 コーティング (ローラー刷毛塗り)
塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m²以上

20. フローリング張り
種類 樹種 工法及び寸法 厚さ・大きさ (mm) 塗装
複合フローリング ※なら ※釘どめ工法 厚さ・15
幅・75・90 ※塗装品
複合 () ・ A種 ・ B種 ※C種 長さ・以上 ・ 無塗装品
単相 () () () ()

21. 体育館用フローリング張り
樹種 ()
接着剤 ・ 酢酸ビニル系エマルジョン ・ エポキシ樹脂系
表面塗装 ・ ポリウレタン樹脂塗料3回塗り ()
張り付け ・ 下張り板に接着剤で接着し、隠し釘と隠し釘で止める
下張り板 ・ 12mm以上 (木製根太) ・ 15mm以上 (鋼製根太)
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
厚さ ()
既設床研削 ○ 剥離材3回塗
※別途工事特記仕様書による (表 6.12.1)
タタミ表替え 本間 普及品

22. 量敷き
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

23. 金属成形板張り
種類 厚さ 備考
せつこうボード 厚さ ※9.5
防水
上張り ※12.5
目隠し処理 ※15

24. 手すり及びびりょう
種類 材料の種類 表面処理
手すり ※ステンレスSUS304 ※丸程度 ・ 鏡面仕上げ ()
鉄 ※鉄 帯鋸めつき 外部 ※C種 内部 ※E種
びりょう ※ステンレスSUS304 ※研磨なし
鉄 ※鉄 帯鋸めつき 内外部 ※C種 ()

25. フリーアクセス
施工箇所 構造 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備考
パネル構造法 ・ 500×500
溝構造法
耐震性能 (U値) ・ 0.6 ・ 1.2
感電防止性能 (漏れい抵抗 R) ≥1×10 Ω 6
構成材の材質 ・ アルミニウム ・ 鋼製 ()
製造所の材質 同等以上

26. 可動間仕切 (既装間仕切)
構造形式 パネル部の総厚さ 表面材種 (厚さ) 仕上げ
パネル式 () 以上 ※鋼板 () ※メラミン樹脂又はアクリル樹脂
スタッド式 ※0.6 () 焼き付け
スタッドパネル式 () ()

27. 移動式間仕切 (スライディング)
表面板 仕上げ パネル厚 遮音性
鋼板 ・ 焼付け ※60 ・ 80 ・ 100 ・ 一般タイプ
() () () () ・ 遮音タイプ

28. トイレブース
仕様
パネル ・ フリ樹脂系化粧板 ・ 樹脂系樹脂系化粧板 ()
部材 ・ アルミ製 ・ ステンレス製 ()
付属金物 ※ステンレス製 ()
足形状 ※幅木型 ・ 足金物型
形式 ・ 丁番吊 ・ 中心吊

29. 階段消止め
材質 種類 ※ステンレス製 (SUS304) ・ 真鍮製
形式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ タイヤなし
幅 ※35 ()
取付 ※接着工法 ()
磁器製幅 ※60 ()

30. 階段手すり (スロープ)
材質 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所
※集成材 ※クリアラッカー ・ 60 ・ 45
ステンレスパイプ ・ 丸
鋼製パイプ ・ EP-G
ビニル製 ・ 図示

31. 床目地棒
床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。
※ステンレス製 6×12 ・ ステンレス製 4×12 ・ 黄銅製 4×12
※福岡県床工事特記仕様書の項目を適用する。
図示による

32. 鏡
縁 ※なし ・ あり ()
ガラス厚 ()

33. 表示
※図示による
下記による
種類 材質 寸法 取付方法
衝突防止表示 ・ ステンレス製市販品 ()
非常用出入口の表示 ・ 市販品 ()
署名札 ・ ステンレス製 () () () () () ()
ピクトグラフ ・ ステンレス製 () () () () () ()
案内板 ・ ステンレス製 () () () () () ()

34. 煙突ライニング
煙突用成形ライニング材
最高使用温度 ※650℃ () °C
キャストابل耐火材
製造所 ※監督員の承諾する製造所 () 同等以上

35. ブラインド
形式 ※横型ブラインド (JIS A 4801) ・ 縦型ブラインド
スラットの材質 ※アルミニウム合金 ・ アルミニウム合金 ・ クロス
閉閉方式 ※ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作様式 ・ 1本操作コード ・ 2本操作コード
スラットの幅 ※25 ・ 35 ・ 80 ・ 100

36. ロースタウン
材質、品質等 ()

37. カーテン及びカーテンレール
施工箇所 きれ地名品質 ひだの種類 形式 閉閉装置
※片引き ・ 通降 巻掛 () () () () ()
※片引き ・ 引分け () () () () ()
※片引き ・ 引分け () () () () ()
※片引き ・ 引分け () () () () ()

38. フライドベックス及びカーテンレール
材質 ※アルミニウム製 (既製品) ・ 鋼製 ()
色彩 ※シルバー ・ 着色 ()
形状 ※溝幅 90 × 深さ 150 ・ 溝幅 () × 深さ ()

39. コーナービード
材質 ※ステンレス製 ()

40. 天井見切線
材質 ※アルミニウム押出型材 ○ 塩化ビニル製
施工箇所 ※仕上表による ()

41. 点検口
施工箇所 材質 寸法
天井 ※アルミニウム () ・ 450×450 ・ 600×600
床 ※アルミニウム ・ ステンレス () ・ 450×450 ・ 600×600
形式 ※一般型 ・ 簡易密閉型 ・ 密閉型 ()

42. くつふきマット
材質 ※塩化ビニル製又はゴム製 (受枠ステンレス製)
・ 硬質アルミニウム製 (受枠硬質アルミニウム製)
・ ステンレス製 (受枠ステンレス製)

43. 鋼製書架及び物品棚
種類 規格等 耐荷重による種類
鋼製書架 JIS S 1039 による ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
鋼製物品棚 ・ 4種 ・ 5種 ・ 6種

44. 旗ざお
材質 ※アルミニウム製 ()
形状 ・ テーパー式 ・ 同一断面
形式 ・ ロープ式 ・ ハンドル式
寸法 ()

45. 旗ざお受金物
材質 ※ステンレス製 (市販品) SUS 304 ()

46. 流し台ユニット
ステンレス流し台 仕様・寸法 ()
コンロ台 仕様・寸法 ()
吊戸棚 仕様・寸法 ()
水切棚 仕様・寸法 ()

47. 視覚障害者用誘導床材
施工箇所 材質 寸法 備考
樹脂製又はせつ製 ・ 300角 () 無ゆう 黄色
ビニル床タイル ・ 300角 黄色
点字紙 真鍮製
コンクリート製 ・ 303角 厚60 黄色

48. 既製フェンス
・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス
・ 鋼管フェンス ()

49. かぎ箱
※鋼製市販品 ・ 30組用 ・ 60組用 ・ 120組用

50. 敷地境界線
種別 ・ A種 () 程度) ※B種

51. 屋外掲示板
照明器具 ※あり ・ なし
施設 ※あり ・ なし

52. 車止め支柱
材質 ※ステンレス製 (上下式領内蔵型) ()
形状 ※スプリング付き ・ スプリングなし

53. 新聞受・郵便受
()

54. 木製家具
家具専門メーカーの製作品とする。

55. 収納・収納家具
合板類
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
ミディアムデンシティファイバーボード (MFD) 及びパーティクルボード
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

56. 施工中の安全管理
接着剤及び塗料の配付にあたっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間を取るものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分にを行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させざる。

57. 材料
屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。 (7.1.3)
塗料は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()

58. 塗装業者
(-社) 日本塗装工業会の会員 ※監督員の承諾する塗装業者

⑤ 建築改修工事
10. 重量シャッター
11. 軽量シャッター
12. セクション材
13. ガラス
14. 壁紙張り
15. タイル張り
16. ビニル幅木
17. カーペット敷き
18. 合成樹脂塗床材
19. 防塵用塗料塗り
20. フローリング張り
21. 体育館用フローリング張り
22. 量敷き

⑥ 内装改修工事
1. フリーアクセス
2. 可動間仕切 (既装間仕切)
3. 移動式間仕切 (スライディング)
4. トイレブース
5. 階段消止め
6. 階段手すり (スロープ)
7. 床目地棒
8. 鏡
9. 表示
10. 煙突ライニング
11. ブラインド
12. ロースタウン

⑦ 内装改修工事
1. フリーアクセス
2. 可動間仕切 (既装間仕切)
3. 移動式間仕切 (スライディング)
4. トイレブース
5. 階段消止め
6. 階段手すり (スロープ)
7. 床目地棒
8. 鏡
9. 表示
10. 煙突ライニング
11. ブラインド
12. ロースタウン

⑧ 内装改修工事
14. 天井見切線
15. フライドベックス及びカーテンレール
16. コーナービード
17. 天井見切線
18. 点検口
19. くつふきマット
20. 鋼製書架及び物品棚
21. 旗ざお
22. 旗ざお受金物
23. 流し台ユニット
24. 視覚障害者用誘導床材
25. 既製フェンス
26. かぎ箱
27. 敷地境界線
28. 屋外掲示板
29. 車止め支柱
30. 新聞受・郵便受
31. 木製家具
32. 収納・収納家具
33. 施工中の安全管理
34. 材料
35. 塗装業者

7 塗装 改修 工事	④ ④ 下地調整 (表7.2.1)~(表7.2.7)	<table border="1"> <tr><th>素地</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ・RC種</td><td></td></tr> <tr><td>○鉄鋼面</td><td>・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ○RC種</td><td></td></tr> <tr><td>・垂れめっき鋼面</td><td>・RA種 (新規塗装を行う場合) ※RB種 ・RC種</td><td></td></tr> <tr><td>・モルタル面及び プラスチック面</td><td>・RA種 (新規塗装を行う場合) ※RB種 ・RC種</td><td></td></tr> <tr><td>・コンクリート面及び ALCパネル面</td><td>・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ・RC種</td><td></td></tr> <tr><td>・押出成形セメント板面</td><td>・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ・RC種</td><td></td></tr> <tr><td>・ボード面</td><td>・RA種 (新規塗装を行う場合) ※RB種 ・RC種</td><td></td></tr> </table>	素地	種別	備考	・木部	・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ・RC種		○鉄鋼面	・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ○RC種		・垂れめっき鋼面	・RA種 (新規塗装を行う場合) ※RB種 ・RC種		・モルタル面及び プラスチック面	・RA種 (新規塗装を行う場合) ※RB種 ・RC種		・コンクリート面及び ALCパネル面	・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ・RC種		・押出成形セメント板面	・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ・RC種		・ボード面	・RA種 (新規塗装を行う場合) ※RB種 ・RC種	
	素地	種別	備考																							
	・木部	・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ・RC種																								
	○鉄鋼面	・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ○RC種																								
	・垂れめっき鋼面	・RA種 (新規塗装を行う場合) ※RB種 ・RC種																								
	・モルタル面及び プラスチック面	・RA種 (新規塗装を行う場合) ※RB種 ・RC種																								
	・コンクリート面及び ALCパネル面	・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ・RC種																								
	・押出成形セメント板面	・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※RB種 ・RC種																								
	・ボード面	・RA種 (新規塗装を行う場合) ※RB種 ・RC種																								
	④ ④ 錆止め塗料塗り (表7.3.1)~(表7.3.2)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>塗装面</td><td>※A種 (屋外) ※B種 (屋内) ・B種 (E P-Gの場合)</td><td></td></tr> <tr><td>・垂れめっき鋼面</td><td>※A種 ・B種 ・C種 (E P-Gの場合)</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	塗装面	※A種 (屋外) ※B種 (屋内) ・B種 (E P-Gの場合)		・垂れめっき鋼面	※A種 ・B種 ・C種 (E P-Gの場合)																
	塗料種別	種別	備考																							
	塗装面	※A種 (屋外) ※B種 (屋内) ・B種 (E P-Gの場合)																								
	・垂れめっき鋼面	※A種 ・B種 ・C種 (E P-Gの場合)																								
	⑤ ⑤ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>塗装面</td><td>・A種 ・B種 ※C種</td><td></td></tr> <tr><td>・垂れめっき鋼面</td><td>・A種 ・B種 ※C種</td><td></td></tr> <tr><td>・新規鋼製建築等垂れめっき鋼面</td><td>※A種 ・B種 ・C種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	塗装面	・A種 ・B種 ※C種		・垂れめっき鋼面	・A種 ・B種 ※C種		・新規鋼製建築等垂れめっき鋼面	※A種 ・B種 ・C種													
	塗料種別	種別	備考																							
	塗装面	・A種 ・B種 ※C種																								
	・垂れめっき鋼面	・A種 ・B種 ※C種																								
・新規鋼製建築等垂れめっき鋼面	※A種 ・B種 ・C種																									
⑥ ⑥ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>新規 ※A種 ・B種 ・C種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td>※1種 ・2種</td></tr> <tr><td>・鉄鋼面</td><td>新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td>※1種 ・2種</td></tr> <tr><td>・垂れめっき鋼面</td><td>新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td>※1種 ・2種</td></tr> <tr><td>鋼面</td><td>新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td>※1種 ・2種 鋼製建築面A種</td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	・木部	新規 ※A種 ・B種 ・C種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種	・鉄鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種	・垂れめっき鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種	鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種 鋼製建築面A種										
塗料種別	種別	備考																								
・木部	新規 ※A種 ・B種 ・C種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種																								
・鉄鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種																								
・垂れめっき鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種																								
鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種 鋼製建築面A種																								
6. ⑥ クリヤラッカー塗り (CL)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>・A種 ※B種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	・木部	・A種 ※B種																				
塗料種別	種別	備考																								
・木部	・A種 ※B種																									
7. ⑦ フタル酸樹脂 エナメル塗り (FE)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td></td></tr> <tr><td>・鉄鋼面及び 垂れめっき鋼面</td><td>新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	・木部	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種		・鉄鋼面及び 垂れめっき鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種																	
塗料種別	種別	備考																								
・木部	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種																									
・鉄鋼面及び 垂れめっき鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種																									
8. ⑧ アクリル樹脂系 非水分散形塗料塗り (NAD)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>モルタル面</td><td>・A種 ※B種 ・A種 ※B種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	モルタル面	・A種 ※B種 ・A種 ※B種																				
塗料種別	種別	備考																								
モルタル面	・A種 ※B種 ・A種 ※B種																									
9. ⑨ 耐熱性塗料塗り (DP)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>塗料の種類</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td>※1級 ・2級 ・3級</td><td></td></tr> <tr><td>・鉄鋼面</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td>※1級 ・2級 ・3級</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	塗料の種類	備考	・木部	・A種 ・B種 ・C種	※1級 ・2級 ・3級		・鉄鋼面	・A種 ・B種 ・C種	※1級 ・2級 ・3級														
塗料種別	種別	塗料の種類	備考																							
・木部	・A種 ・B種 ・C種	※1級 ・2級 ・3級																								
・鉄鋼面	・A種 ・B種 ・C種	※1級 ・2級 ・3級																								
⑩ ⑩ つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (E P-G)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>○木部</td><td>新規 ※A種 ・B種 ・C種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td></td></tr> <tr><td>・鉄鋼面</td><td>新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td></td></tr> <tr><td>・垂れめっき鋼面</td><td>新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td></td></tr> <tr><td>・コンクリート面</td><td>新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td></td></tr> <tr><td>その他 ()</td><td>塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	○木部	新規 ※A種 ・B種 ・C種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種		・鉄鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種		・垂れめっき鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種		・コンクリート面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種		その他 ()	塗替 ※A種 ※B種 ・C種								
塗料種別	種別	備考																								
○木部	新規 ※A種 ・B種 ・C種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種																									
・鉄鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種																									
・垂れめっき鋼面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種																									
・コンクリート面	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種																									
その他 ()	塗替 ※A種 ※B種 ・C種																									
11. ⑪ 合成樹脂 (EP)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>石膏ボード</td><td>新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	石膏ボード	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種																				
塗料種別	種別	備考																								
石膏ボード	新規 ※A種 ・B種 塗替 ※A種 ※B種																									
12. ⑫ 合成樹脂 エマルジョン 模様塗料塗り (E P-T)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>新規 ※A種 ・B種 ・C種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	・木部	新規 ※A種 ・B種 ・C種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種																				
塗料種別	種別	備考																								
・木部	新規 ※A種 ・B種 ・C種 塗替 ※A種 ※B種 ・C種																									
13. ⑬ ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>新規 ※A種 ※B種 塗替 ※A種 ※B種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	・木部	新規 ※A種 ※B種 塗替 ※A種 ※B種																				
塗料種別	種別	備考																								
・木部	新規 ※A種 ※B種 塗替 ※A種 ※B種																									
14. ⑭ ラッカーエナメル 塗り (LE)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>新規 ※A種 ※B種 塗替 ※A種 ※B種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	・木部	新規 ※A種 ※B種 塗替 ※A種 ※B種																				
塗料種別	種別	備考																								
・木部	新規 ※A種 ※B種 塗替 ※A種 ※B種																									
15. ⑮ オイルステイン 塗り (OS)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>新規 ※A種 ※B種 塗替 ※A種 ※B種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	・木部	新規 ※A種 ※B種 塗替 ※A種 ※B種																				
塗料種別	種別	備考																								
・木部	新規 ※A種 ※B種 塗替 ※A種 ※B種																									
16. ⑯ 木材保護塗装塗り (表7.15.1)	<table border="1"> <tr><th>塗料種別</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・木部</td><td>・A種 ※B種 ・A種 ※B種</td><td></td></tr> </table>	塗料種別	種別	備考	・木部	・A種 ※B種 ・A種 ※B種																				
塗料種別	種別	備考																								
・木部	・A種 ※B種 ・A種 ※B種																									
17. ⑰ 屋内水系塗料塗り	屋内の木部、鉄鋼面及び垂れめっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りに適用する。																									

8 耐 震 改 修 工 事	1. 鉄筋の種類 (8.2.1)	材質 ※JIS G 3112 ・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの 種類 ・ SD295A ・ SD345 ・ SD390 径
	2. 鉄筋の継手 (8.3.4)	接合方法 部位 径 備考 ・ガス圧接・重ね継手・溶接継手 柱・梁の主筋 ※D19以上 ・ () ・機械式継手 ・ () ※重ね継手 ・ () その他 ※D16以下 ・ ()
	3. 溶接金網 (8.2.2)	※JIS G 3551規格品 形状 () 寸法 () 径 ()
	4. 帯筋 (8.3.7)	シアコネクタ ・種類 () ・径 () ・長さ () ・彫込み深さ () ・間隔 ()
	6. 圧接完了後の試験 (8.3.8)	※外観試験 ※超音波探傷試験
	7. 特殊な鉄筋継ぎ手 (8.4.2)(8.4.3)	・機械式継手の種類 () ・溶接継手
	8. 割製補強筋 (8.21.6)(8.22.7)	種類 材料 材種 径 本数・ピッチ 適用箇所 ・スバイラル筋 ※図示
	9. コンクリートの強度 (8.1.3)	設計基準強度(Fc) N/mm ² 類別 18 21 24 普通コンクリート 部位 軽量コンクリート ・ 1種 ・ 2種 部位
	10. コンクリートの種類 (8.1.3)	※I類 ・ II類
	11. スランブ (8.1.4)	打込み場所 所要スランブ ・ 15 ※18
	12. 普通コンクリートの割合 (8.1.4)	※単位水量の上限値 185 kg/m ³ ※単位セメント量の下限値 270 kg/m ³ ※水セメント比の上限値 65% (高炉セメントB種 60%) ※所要空気量の目標値 4.5% ※塩化物の含有量 0.30 kg/m ³ 以下 気温によるコンクリート強度の補正 ※監督員の指示による
	13. セメントの種類 (8.2.5)	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 ()
	14. 打合せ仕上げの種類 (表8.1.3)(8.2.7)	種別 適用箇所 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
	15. モルタル及びグラウト材 (8.2.11)	・構造体用モルタル (圧縮強度) ・柱底均しモルタル (※無収縮モルタル) ・グラウト材 (※無収縮グラウト材)
	16. 鉄骨製作工場 (8.1.5)	※監督員の承諾する工場 ・ Sグレード ・ Hグレード ・ Mグレード ・ Rグレード ・ Jグレード 加工能力条件 () ・ 施工管理技術者 (※適用する ・ 適用しない)
	17. 鋼材の種類 (8.2.8)	材質 ※JIS等の規格品 ・ 建築基準法に基づき指定又は認定を受けた構造用鋼材及び鉄鋼 種類 ・ SS400 () ・ () ・ () 寸法 ※図示
	18. 高力ボルト (8.2.9)	※トルシヤ形高力ボルト指定、認定品セットの種類※2種 (S10T) 径 (※図示) ・ JIS形高力ボルトJIS B 1186 セットの種類 ※2種 (F10T) 径 (※図示) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト指定、認定品セットの種類※1種 (FBT相当) 径 (※図示)
	19. 溶接部の検査 (8.15.11)	試験の種類 試験箇所 採取方法 ※超音波探傷試験 ※全数試験
	20. スタッド溶接後の試験 (8.16.5)	※外観試験 ※仕上がり高さ及び傾きの試験 ※打撃曲げ試験
	21. 耐火被覆の種類及び性能 (8.12.5)	種別 性能 使用箇所 耐火材吹付け ・ 吹付けロックウール ・ 1時間 ・ 30分 ※図示 ・ 1時間 ・ 30分 ※図示
	22. スリット (8.25.2)	スリットの種類 ・ 完全スリット ・ 部分スリット ・ 幅 (50 mm) 深さ (・ 図示) ・ 耐火材 (仕様) (仕様箇所 ※図示) ・ 遮音材 (仕様) (仕様箇所 ※図示)
	23. あと施工アンカー (8.2.4)	種類 ・ 金属系アンカー 引張り耐力 () セン断耐力 () 径 () 埋込み長さ (※図示) セット方式 (※本体打込み式) 接合筋 (種類 径 長さ) ・ 接着系アンカー (※カプセル型) 引張り耐力 () セン断耐力 () 径 () 埋込み長さ (※図示) アンカー筋の種類 (※異形棒鋼) 性能確認試験 ・ 適用する ※適用しない 穿孔前の埋込配管等の探査 (8.12.2) 範囲 ※全て ・ 図示 方法 ※鉄筋探査機 施工確認試験 (8.12.5) ※引張り試験 (確認強度)

施工区分表 (●印を塗りつぶしたものを適用する)		●印を塗りつぶしたものを適用する										
工事内容		建築	外構	積載	電気	電話	昇降	給衛	空調	ガス	黒板量	備考
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内 ○									電気と十分協議すること
		自家発電機の基礎 (アンカーボルトを除く)	屋内 ○									
		テレビアンテナの基礎 (")	屋内 ○									
		避雷針の基礎 (")	屋内 ○									
		屋根設備 (架台、アンカーボルト含む)	屋内 ○									
	機械関係	屋内設備	屋内 ○									
		屋外設備 (架台、アンカーボルト含む)	屋外 ○									
		屋上設備 (架台、アンカーボルト除く)	屋上 ○									
		特記した基礎										
		梁、床、壁貫通スリーブ				○	○	○	○	○	○	
開口部	梁、床、壁貫通部型枠	補強を要するもの	○									
		補強を要しないもの	○									
		軽量鉄骨下地	○									
		壁・天井ボード類の切込み	○									
		埋込型分電盤、端子盤等の型枠	○									
	開口部の補強	上記開口部の補強	○									
		上記開口部の重出し	○			○	○	○	○	○	○	
		スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)	○			○	○	○	○	○	○	
		○Aフロア器具取付	○									
		床、壁、天井	○									
ガラリ	外壁面 (ダクト、チャンバーの接続用含む)	○										
	器具取付	○										
排気フード	器具	○						○	○	○		
	上記以外	○						○	○	○		
換気扇	壁換気扇 (ウェザーカバー含む)	○										
	天井換気扇 (ベントキャップ含む)	○										
流し台	排水トラップ含む	○										
	オイルサービスタンクの防油堤	○										
床下水槽のマンホール蓋	雨水	○										
	汚水、雑排水管	○										
雨水貯槽	雨水貯槽	○										
	身障者用便所手すり	○										
はみ込み形洗面器用カウンター (前板共)	はみ込み形洗面器用カウンター (前板共)	○										
	ガスボンベ転倒防止用の鎖	○								○		
電気配管配線	機械設備機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共)									○		
	機械設備機器付属の制御盤と電源供給及び配管配線	○										
	機械設備自動制御と電気設備盤との電源供給	○										
	機械設備自動制御と電気設備盤との操作回路の配管配線	○										
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの配管配線	○										
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの配管配線	○										
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチ	○										
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチ埋込ボックス	○										
	煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線	○										
	小便器用節水装置制御盤以降の配管配線	○										
パッケージエアコンの配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給	○										
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部	○										
	自動ドア及び電動シャッターなどの操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	○										
	防火扉レリーズ	○										
	電極棒	○										
	配線ピット及び蓋	○										
	別途機器などへの接続	○								○		
	室外機・室内機間の伝送線	○								○		
	室外機・室内機間の電源送り線	○								○		
	室内機・リモコン間の配線	○								○		
ガス漏れ探知機	室内機・リモコン間の配管	○										
	リモコン埋込ボックス	○										
	室内機・集配リモコン間の配管	○										
	室内機・集配リモコン間の配管	○										
	ガス漏れ探知機	○								○		
	○Aフロア用配線器具	○										
	電気錠	○										
	電気錠及び通電金具	○										
	TENキー及び制御盤	○										
	エレベーター出入口三方枠 (金属製)	○								○		
シャワーユニット (バスユニット)	○											
ガス給湯器リモコンケーブル	○								○			
ガス給湯器電線管及びボックス	○											
置工事	下地補強	○										
	黒板工事	○								○		
積載工事	積載工事	○										
	積載工事	○								○		
備考	承認	工事名称						図面名称				
		行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事						改修工事特記仕様書(4)				
		福岡県行橋市北泉四丁目28-16 一級建築士事務所						尺度				
		田頭一級建築設計事務所 福岡県知事登録第1-20466号						図面番号				
		TEL 0930-25-3444 一級建築士 大臣登録第126902号						日付				
								A-04				

No.1 平成29年度改訂		290401																																					
<h2 style="text-align: center;">アスベスト含有建材除去等工事特記仕様書</h2>																																							
<h3>I 工事概要</h3>																																							
<p>1. 工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事</p>																																							
<p>2. 工事場所 福岡県行橋市大字今井3759番地</p>																																							
<p>3. 工事概要 内部改修に伴う既存アスベスト含有成形板の一部除去</p>																																							
<p>4. 別途工事 工事概要(A-07)による</p>																																							
<p>5. その他</p>																																							
<h3>II アスベスト含有建材除去等工事仕様</h3>																																							
<p>1. 標準仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項はすべて国土交通大臣官房官庁官務部修繕「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」及び同上監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」による。</p>																																							
<p>2. 特記仕様 1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は 印のついたものを適用する。 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。 印と 印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、公共建築工事共通仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。当該表を示す。 4) 形状寸法の単位は特記なきかぎり、ミリメートルとする。</p>																																							
<h3>章 項目</h3>		<h3>特記事項</h3>																																					
①	一般事項	<p>(a) 適用範囲 アスベスト含有吹付け材、アスベスト含有保温材等（アスベストを含有する保温材、耐火断熱材をいう。）及びアスベスト含有成形板の処理工事に適用する。</p> <p>(b) 基本要項品質 アスベスト含有建材は、安全にかつ完全に除去すること。</p> <p>(c) 法令等の遵守 関係法令、都道府県の条例等遵守すること。</p> <p>(d) 仕上げ工事 アスベスト含有建材除去後の機能回復のための仕上げ工事については、下記による。</p> <p>※ 図示による（ ）</p>																																					
②	適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 ・建築改修工事監理指針 国土交通省 ・建築工事安全施工技術指針 国土交通省 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 国土交通省 ・建設副産物適正処理推進要綱 国土交通省 ・建設廃棄物処理指針 厚生労働省生活衛生局 ・解体工事安全施工指針 建設業労働災害防止協会 ・石綿粉じんへのばく露防止マニュアル 環境省大気保全局 ・建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル 厚生労働省労働基準局 ・石綿障害予防規則 厚生労働省労働基準局 ・特定化学物質等障害予防規則 厚生労働省労働基準局 ・労働安全衛生法 																																					
③	質疑に対する協議	<p>工事施工について質疑があるときは、監督員と協議することとする。</p> <p>なお、除去処理工事に際し、本仕様書に記載なき事項が生じた場合は「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」（平成17年6月）及び「既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説」（日本建設センター）・「公共建築改修工事標準仕様書」（平成19年度版、建築安全センター）に拠ることとする。</p>																																					
④	図書関係優先順位	<p>すべての設計図書は、相互に補完するものとする。（1.1.1）</p> <p>ただし、設計図書間に相違がある場合、設計図書の優先順位は、次の（1）から（4）の順書の順書のとおりとする。</p> <p>(1) 現場説明書及び現場説明に対する質疑回答書 (2) 特記仕様書 (3) 図面 (4) 公共建築工事標準仕様書（以下「標仕」という。）及び公共建築改修工事標準仕様書（以下「改修標仕」という。）</p>																																					
⑤	施工中の安全確保及び環境保全	<p>建築基準法、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、労働安全衛生法、環境基本法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法その他関係法令等によるほか、建設工事公衆災害防止対策要綱及び建設副産物適正処理推進要綱に、工事の施工に伴う災害の防止及び環境の保全に努める。また、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努める。（1.3.7）</p>																																					
<h3>環境への配慮について</h3>		<p>「国による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」により、環境負荷の低減できる材料を推進すること。 指定品目、判断基準は「平成21年度福岡県環境物品等調達方針」によること。</p>																																					
<h3>排出ガス対策型建設機械</h3>		<p>「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された建設機械を使用すること。 (対象機種：バックホウ、ブルドーザ、トラクタショベル(車輪式)、空気圧機械(可搬式)、油圧ユニット(油圧ホウ・7-10t・油圧式調圧器用引換機・油圧式後圧入引換機・7-10t・0.4t-0.7t)掘削機・9t・0.4t-0.7t)油圧式掘削機・地下連続掘削機・全回転型(0.4t-0.7t)掘削機の基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの、ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー、ホイールクレーン、発電発電機(可搬式(溶接用機を含む))但し、以下はディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上260kW以下)を搭載したものに限る。)</p>																																					
⑥	過積載の防止	<p>ダンプトラック等による工所用資材等の超過積載を行わないこと。さしずめの積載等又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラックは工事現場内に入りさせないこと。</p>																																					
⑦	原形復旧	<p>工事に際し、取卸部その他木工事範囲外の部分に汚損が生じた場合、または障害物等を取除き、切りまわしを行った場合は、原形に復元する。</p>																																					
⑧	工事写真等	<p>箇所及び方法については、監督員の指示による。</p>																																					
<h3>区分</h3>		<h3>備考</h3>																																					
※着工前	※カラー・モノクロ	※サービズ版・モノクロ	※1部 24×36以上 又はデジタル画像 監督員の承諾する 撮影者																																				
※施工中	※カラー・モノクロ	※サービズ版・モノクロ	※1部 24×37以上 又はデジタル画像 監督員の承諾する 撮影者																																				
※完成時	※カラー・モノクロ	※VHS	※1部 24×36以上 監督員の承諾する 専門業者																																				
<h3>種類及び記入内容</h3>		<p>※「標仕」表1.8.11による（ ）</p>																																					
10.	工事実績情報 の登録 (工事カルテ)	<p>請負者は、工事請負額が500万円以上の工事について、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時に変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、「工事カルテ」を作成し、建築都市管理課契約の確認を受けた後に、(財)日本建設情報総合センターにフロッピーディスクにより提出しなければならない。また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを建築都市管理課契約係に提出しなければならない。</p> <p>ただし、工事請負額が500万円以上2,500万円未満の工事については、発注・訂正時のみの登録で、変更・完成時に登録は行わない。（1.1.4）</p> <p>問い合わせ先 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前1-3-11博多駅前ビル8階 (財)日本建設情報総合センター九州地方センター TEL 092-411-3473 FAX 092-411-3486</p>																																					
11.	保全に関する資料	<p>「共仕」1.7.3(a)の他、下記について必要事項を記入のうえ監督員に提出する。 建設大臣官房官庁官務部修繕の「管理者のための建築物保全の手引き」（(財)建築保提出部数 ※1部 ・()部）</p>																																					
12.	図面ファイリングシステムの登録	<p>請負者は、完成時に完成図を県の指定する図面ファイリングシステムの記録方式及び記録媒体に登録して提出する。 提出部数 ※1部 ・()部</p>																																					
13.	竣工後の調査	<p>竣工後(※2・1)年以内に当該工事範囲に関する経年変化の状況を調査し、報告すること。</p>																																					
1.	監督員事務所	<p>※設ける（ ）m程度 ○設けない (2.3.1) 備品については監督員の指示による。</p>																																					
2.	工事用水	<p>構内既存の施設 ○利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない</p>																																					
3.	工事用電力	<p>構内既存の施設 ○利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない</p>																																					
4.	総合仮設計図書	<p>◎要する ・要しない</p>																																					
5.	工事車両の出入口	<p>工事用車両の出入口では、一般行人及び一般車両の安全確保に努めること。 交通誘導員 ◎配置する(名以上) ・配置しない</p>																																					
1.	アスベストの調査	<p>・アスベスト含有吹付け材の有無 ・アスベスト含有保温材等の有無 ・アスベスト含有成形板の有無 ・()</p>																																					
2.	工事説明会	<p>近隣への工事説明会 ・行う ○行わない</p>																																					
3.	養生材の処理	<p>建設副産物の処理について 資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別し指定された場所へ集積すること。 また、施工区分表に積み込み・運搬・処分までの指示がある工事については、現場内に分別保管場所（他業者の分別したものを含む）を設置するとともに、再生資源の利用の促進に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。 工事に際しては、工事着手時に建設副産物処理計画書、再生資源利用計画書等を、工事竣工時に建設副産物の処理結果報告書、再生資源利用実施書等を提出すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）</th> <th>その他の副産物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・がれき類 (コンクリート塊) (アスファルト塊) ・木くず ・建設発生土 ・汚泥</td> <td>・廃プラスチック ・ガラス、陶磁器くず ・炭石こうボード ○金属くず ○繊維くず</td> </tr> <tr> <td>特別管理産業廃棄物 ◎灰石綿等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境省大気保全局）」及び、「石綿障害予防規則（平成17年7月1日施行）」に従い、収集、運搬、処分を行う。 ※参考受入場所は現場説明書による</p>		指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物	・がれき類 (コンクリート塊) (アスファルト塊) ・木くず ・建設発生土 ・汚泥	・廃プラスチック ・ガラス、陶磁器くず ・炭石こうボード ○金属くず ○繊維くず	特別管理産業廃棄物 ◎灰石綿等																															
指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物																																						
・がれき類 (コンクリート塊) (アスファルト塊) ・木くず ・建設発生土 ・汚泥	・廃プラスチック ・ガラス、陶磁器くず ・炭石こうボード ○金属くず ○繊維くず																																						
特別管理産業廃棄物 ◎灰石綿等																																							
4.	近隣対策	<p>工事に伴う現場周辺からの苦情については、請負業者が誠意を持ってこれに対処し、その内容を文書にて監督員に報告を行うこと。</p>																																					
5.	障害物対策	<p>工事に伴って、障害となるすべての物を撤去・移動もしくは保護処置を行う場合は、監督員の承諾を受けること。</p>																																					
6.	施工計画書	<p>※要する ・要しない（施設管理者と施設行事等の調整の上施工計画書を作成の事）</p>																																					
7.	各種届出等	<p>各種許可申請及び届出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>許可申請・届出等</th> <th>提出先</th> <th>提出者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎特定建設作業実施届</td> <td>市町村(公害係)</td> <td>工事請負者</td> </tr> <tr> <td>◎労働基準法に関する各種届出</td> <td>労働基準監督署</td> <td>工事請負者</td> </tr> <tr> <td>◎労働安全衛生法に関する各種届</td> <td>労働基準監督署</td> <td>工事請負者</td> </tr> </tbody> </table>		許可申請・届出等	提出先	提出者	◎特定建設作業実施届	市町村(公害係)	工事請負者	◎労働基準法に関する各種届出	労働基準監督署	工事請負者	◎労働安全衛生法に関する各種届	労働基準監督署	工事請負者																								
許可申請・届出等	提出先	提出者																																					
◎特定建設作業実施届	市町村(公害係)	工事請負者																																					
◎労働基準法に関する各種届出	労働基準監督署	工事請負者																																					
◎労働安全衛生法に関する各種届	労働基準監督署	工事請負者																																					
4.	作業記録	<p>工事施工者は、下記の通り作業の記録等を保存すること。 ア. 石綿障害予防規則に基づく「作業の記録」は、次の内容を記録し、40年間保管すること。 ・作業者の氏名 ・従事した作業の概要及び当該作業に従事した期間 ・アスベストにより、著しく汚染された事態が生じたときは、その概要及び工事請負者が講じた応急処置の概要 イ. 石綿障害予防規則に基づく「特殊健康診断の記録」は40年間保管すること。 ウ. じん肺法に基づく、じん肺健康診断を実施した場合は、その記録を保存すること。 エ. 塵入れれ時等にアスベストに関する教育を行い、その記録を保存すること。</p>																																					
5.	現場代理人	<p>現場代理人とは、工事請負規約書に規定する現場代理人という。</p>																																					
2.	作業管理者	<p>石綿作業主任者の資格を有する作業管理者とする。</p>																																					
3.	除去処理作業管理者の選任	<p>工事請負者は、除去作業管理者を選任し、除去工事現場に常駐させること。 除去作業管理者は、除去作業全般を統括すること。</p>																																					
4.	除去処理作業従事者の資格	<p>除去作業従事者は、下記のあげる事前教育及び健康診断を受けた者で工事請負者の発する作業手帳を有し、除去作業管理者の指示を受け作業を行うこと。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石綿等の有害性</td> <td>石綿の性状、石綿による疾病の処理及び復旧 0.5時間</td> </tr> <tr> <td>石綿等の使用状況</td> <td>石綿を含有する製品の種類及び用途、事前調査の方法 1時間</td> </tr> <tr> <td>石綿等の粉じんの発散を抑制するための処置</td> <td>建築物又は工作物の解体等の作業の方法、湿潤化の方法 作業場所の隔離の方法、その他石綿等の粉じんの発散を抑制するための処置 1時間</td> </tr> <tr> <td>保護用具の使用状況</td> <td>保護用具の種類、性能、使用方法及び注意事項 1時間</td> </tr> <tr> <td>その他石綿等のばく露の防止に關し必要な事項</td> <td>労働安全衛生法（昭和47年法律57号）、労働安全衛生法施工令（昭和47年政令第318号）、労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）及び石綿障害予防規則中の関係事項、石綿等による健康障害を防止するため当該関係事項、石綿等による健康障害を防止するため当該関係に付いて必要な事項 1時間</td> </tr> </tbody> </table>		科目	時間	石綿等の有害性	石綿の性状、石綿による疾病の処理及び復旧 0.5時間	石綿等の使用状況	石綿を含有する製品の種類及び用途、事前調査の方法 1時間	石綿等の粉じんの発散を抑制するための処置	建築物又は工作物の解体等の作業の方法、湿潤化の方法 作業場所の隔離の方法、その他石綿等の粉じんの発散を抑制するための処置 1時間	保護用具の使用状況	保護用具の種類、性能、使用方法及び注意事項 1時間	その他石綿等のばく露の防止に關し必要な事項	労働安全衛生法（昭和47年法律57号）、労働安全衛生法施工令（昭和47年政令第318号）、労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）及び石綿障害予防規則中の関係事項、石綿等による健康障害を防止するため当該関係事項、石綿等による健康障害を防止するため当該関係に付いて必要な事項 1時間																								
科目	時間																																						
石綿等の有害性	石綿の性状、石綿による疾病の処理及び復旧 0.5時間																																						
石綿等の使用状況	石綿を含有する製品の種類及び用途、事前調査の方法 1時間																																						
石綿等の粉じんの発散を抑制するための処置	建築物又は工作物の解体等の作業の方法、湿潤化の方法 作業場所の隔離の方法、その他石綿等の粉じんの発散を抑制するための処置 1時間																																						
保護用具の使用状況	保護用具の種類、性能、使用方法及び注意事項 1時間																																						
その他石綿等のばく露の防止に關し必要な事項	労働安全衛生法（昭和47年法律57号）、労働安全衛生法施工令（昭和47年政令第318号）、労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）及び石綿障害予防規則中の関係事項、石綿等による健康障害を防止するため当該関係事項、石綿等による健康障害を防止するため当該関係に付いて必要な事項 1時間																																						
5.	安全対策及び協議	<p>除去作業に従事する作業者は事前に、一般健康診断（石綿を取り扱う場合は6ヶ月ごと）・じん肺健康診断・アスベストに関する特化則による健康診断の実施については、下記の記載の場合は除くことができる。 ア. じん肺健康診断 ・除去処理作業に従事する期間において、3年以内に診断を実施した者とする。 イ. 石綿障害予防規則による健康診断 ・除去処理作業に従事する期間において、6ヶ月ごとに診断を実施した者とする。</p>																																					
6.	濃度の測定	<p>安全衛生に関する管理者は、現場代理人が選任者になり、関係法令等に従ってこれを行う。また着工に先立って工期・工事方法及び安全の為の立入禁止区域の設定等について当該施設関係者、監督員と十分に協議し施工計画に盛り込むこと。</p> <p>施工の確認及び報告 (1) アスベスト管理地区を設定し、養生が完了した段階。 (2) アスベスト含有吹付け材の除去作業が完了した段階。 (3) アスベスト粉じん濃度の測定整備が完了した段階。 (4) 内部足場を取り外す前の段階。 (5) その他監督員より指示があった時。</p> <p>アスベスト粉じん濃度の測定 (1) 工事請負者は、除去処理工事の工事着工前、工事中及び除去完了後の作業所内周辺環境及び監督員が指示する箇所において空気中のアスベスト濃度測定を行うこと。 (2) 測定方法はJIS K 3850-1（空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び差電子顕微鏡法）による。 (3) 測定は、厚生労働省・都道府県基準に登録されている作業測定機関又は、これと同等の技術を有するものに委託し、その測定機関が証明する測定結果を監督員に提出する。</p>																																					
1.	施工調査等	<p>施工調査等は、特記による。特記がなければ、次による。 (i) 処理工事に当たり、あらかじめ事前の施工調査等を次の事項について行う。 調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。 ① アスベスト含有吹付け材使用部位の確認 ② アスベスト含有吹付け材層の厚さの確認 ③ 施工範囲と工事管理区分の確認 ④ 更衣施設等の仮設計図書 ⑤ 廃棄物などの搬出方法 (ii) アスベスト粉じん濃度測定 ① アスベスト粉じん濃度測定は、特記がなければ、表9.1.9による。 測定時期 位置 備考 作業開始前 ・図示による ・() 作業中 ・図示による ・() 作業終了 ・図示による ・() 表9.1.9の他に上記の位置を測定とする。 ② 処理作業後の測定は、負圧・除じん装置で、粉じんを十分に吸引し過したか又は粉じん飛散抑制剤吹付け後、噴霧した粉じん飛散抑制剤が沈殿したと思われる時期において実施する。 ③ アスベスト粉じん濃度の測定方法は、JIS K 3850-1による。 ④ 次の項目について記録し報告する。 ア. アスベスト含有建材の種類 イ. 測定点の位置 ウ. 測定日時、天候、気流 エ. 試料採取条件 オ. 標本作成方法 カ. 使用顕微鏡の種類（開口数を含む） キ. 計数条件（HSEテストスライドの読取グループ番号を含む） ク. 繊維総数 ケ. 定量限界 ⑤ 報告書は、(※5・部)作成し監督職員に提出する。 ⑥ 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 表9.1.9 測定点の取り方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>重要度</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各処理作業ごとに)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">処理作業前</td> <td>△</td> <td>処理作業室内</td> <td>2又は3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>処理作業室内</td> <td>2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>◎</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>負◎</td> <td>除じん装置の排出口（処理作業室外の場合のみ）</td> <td></td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業後 (隔離シート撤去前)</td> <td>◎</td> <td>処理作業室内</td> <td>2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 重要度の記号は、◎は必須、○は条件により必須、△は望ましいという意味である 2. 施工区画とは、処理作業室、セキュリティゾーン、廃棄物置場、資材置き場を含む範囲で、セキュリティゾーン、負圧・除じん装置の排出口が施工区画周辺に設置されている場合の測定点は2点となる。 3. 各施工箇所ごとの室面積が50m²以下までは2点、300m²以下までは3点とする。300m²を超えるものは、監督職員と協議する。 4. 処理作業中にセキュリティゾーン入口におけるアスベスト粉じん濃度測定の場合は、セキュリティゾーン内の空気の流れ（処理作業室内に空気が流れている）を、また負圧・除じん装置の排出口におけるアスベスト粉じん濃度測定の場合は、負圧・除じん装置の性能確認を行うこと。</p>		測定時期	重要度	測定場所	測定点数 (各処理作業ごとに)	備考	処理作業前	△	処理作業室内	2又は3点		△	施工区画周辺又は敷地境界	2点		△	処理作業室内	2点		処理作業中	◎	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認	負◎	除じん装置の排出口（処理作業室外の場合のみ）		除じん装置の性能確認	処理作業後 (隔離シート撤去前)	◎	処理作業室内	2点		△	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
測定時期	重要度	測定場所	測定点数 (各処理作業ごとに)	備考																																			
処理作業前	△	処理作業室内	2又は3点																																				
	△	施工区画周辺又は敷地境界	2点																																				
	△	処理作業室内	2点																																				
処理作業中	◎	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認																																			
	負◎	除じん装置の排出口（処理作業室外の場合のみ）		除じん装置の性能確認																																			
処理作業後 (隔離シート撤去前)	◎	処理作業室内	2点																																				
	△	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																				
2.	施工計画	<p>(1) 施工業者 施工業者は、工事に相応した技術を有することを証明する資料を、監督職員に提出する。 (2) 作業管理者 石綿作業主任者の資格を有する作業管理者を選任し管理させる。 (3) 特別管理産業廃棄物管理責任者 排出事業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。 (i) 着工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員に承諾を受ける。 (ii) 施工計画書に記載すべき事項は、次のとおりとする。 ① 工事概要 ア. 工事名称 イ. 工事場所 ウ. 工事期間 エ. 工事内容（部位別の状況及び工法） オ. その他 ② 管理組織（工事管理者、石綿作業主任者、特別管理産業廃棄物管理責任者等） ③ 安全衛生管理及び飛散防止対策 ④ 使用用具、機器類、材料及び調合</p>																																					
3.	安全衛生管理	<p>(1) 休憩室の設置 (i) 作業場以外の場所に設置する。 (ii) 十分湿らせたマット、衣服用のブラシ、真空掃除機等を備える。 (2) 洗浄設備 (i) 洗顔、洗身、うがいの設備を設ける。 (ii) 更衣設備、衣服洗浄の設備を設ける。 (3) 負圧防じん装置の設備 HEPAフィルタを備えた負圧防じん装置を設置する。 (4) 表示、掲示 (i) 特定化学物質等作業主任者名と職務内容、関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、アスベスト除去作業中等の表示を行う。 (ii) アスベストの有害性、取扱上の注意事項、使用すべき保護具の提示を行う。 (iii) アスベスト使用の有無に関する事前調査年月日、当該調査の方法及び結果の概要の提示を行う。 (5) 作業の隔離 除去に伴いアスベストを作業場から外部へ飛散させないため、プラスチックシート等を用いて隔離する。 (ii) 隔離した作業場への作業員の出入りによるアスベストの飛散を防止するため、セキュリティゾーンを設置する。 (6) 保護具・保護衣 (i) 隔離された作業場所において、石綿等の除去を行う作業者は、電動ファン付き呼吸用保護具又はこれと同等以上の性能を有する空気呼吸器、酸素呼吸器もしくは送気マスクを使用する。 (ii) 作業者は、アスベストが付着しにくく、付着したアスベストが容易に除去できる作業衣履または保護服を使用する。 (7) アスベスト含有吹付け材の除去 除去するアスベスト含有吹付け材は、薬液等により十分に湿潤化し、その後除去する。なお、アスベスト除去方法は、下記の仕様による。 【アスベストの飛散防止（撤去場所の養生）】 除去場所の養生作業は、最初に床の養生を行い、壁部へ行う。それぞれの養生作業に先立って、養生を行う場所の清掃を高性能真空掃除機で行うこと。最後にそれ以外の養生を行う。 なお除去処理を行うにあたり、作業に支障があるもの（備品、その他照明器具等）は、養生作業を始める前に、あらかじめ撤去することが原則とするが、移動できないものに関しては、ビニールシート等で隙間なく包み囲むこととする。 (a) 床の養生作業 床の養生は厚さ0.15mm以上のビニールシート又はポリエチレンシートを二重にし、且つ継目をずらし、床面より300mm以上立ち上げる事。 (b) 壁部の養生作業 壁部の養生は、厚さ0.08mm以上のビニールシート又はポリエチレンシート一枚とし、張ったシートが剥落しないよう粘着テープで確実に固定すること。 壁ビニールシートは30～45cm程度重ね合わせるように施工する事。 (c) 照明器具等の養生は厚さ0.08mm以上のビニールシート又はポリエチレンシート一枚とし、張ったシートに割がれ、剥落がないよう確実に固定することとする。 (d) 作業中のアスベスト粉じんの飛散を防止するため、負圧除じん機（プレフィルタ＋中間フィルタ＋HEPAフィルタ）ろ過性能：0.3μm以上の繊維99.97%除去）を設置し、作業室内を負圧とすると共に除じんし、アスベスト粉じん飛散防止を行う。 また、除去作業場の換気が4回以上/hの確保ができる性能のものを設置すること。 (e) 精密微差圧計を設置、又は目視にて除去作業場の内外の圧力監視を行い、又その記録を保存すること。 (f) 既存警報器等の取り扱いに関しては、あらかじめ所轄消防署に申請又は確認を行うこと。</p>																																					
5.	汚染物処分工事	<p>(2) 除去物及び汚染物の処分等 (i) 除去したアスベスト含有吹付け材の処理方法は、以下による。 ① 密封処理の場合 ア. 除去したアスベスト含有吹付け材は、適宜密封する。 イ. 除去作業場所において、除去したアスベスト含有吹付け材をプラスチック袋の中に入れ、粉じん飛散抑制剤等を散布することにより湿潤化して、密封する。 ウ. 前室で高性能真空掃除機により、プラスチック袋に付着している粉じんを除去する。 エ. 保護衣等着脱室で、更にプラスチック袋をかぶせ、密封し、「アスベスト含有吹付け材」である旨の表示を行う。 オ. 除去したアスベスト含有吹付け材等の保管、運搬及び処分は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）の規定を遵守し行う。 なお、これを委託する場合は、都道府県知事（政令市長）の許可を受けている特別管理産業廃棄物処理業者（運搬業者）と特別管理産業廃棄物処理に関する契約を結び、廃棄物処理場の現地確認等を行うこと。 ② 除去したアスベスト含有吹付け材を固化処理する場合 ア. アスベスト含有吹付け材をセメントによって固化する場合は、アスベストが飛散しないように十分な強度が得られる場合とする。 イ. アスベスト含有吹付け材を溶融処理する場合は、アスベスト含有吹付け材の中間処理に適する溶融施設によって行う。 ウ. 処理方法は、①オに準ずる。 (ii) アスベスト廃棄物の搬出を行ったときには、適宜、搬出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写しを添付した廃棄物処理報告を提出する。</p>																																					
<h3>備考</h3>		<h3>承認</h3>																																					
<p>工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事</p>		<p>図面名称 アスベスト含有建材除去等工事特記仕様書(1)</p>																																					
<p>田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号</p>		<p>尺度 図面番号</p>																																					
<p>福岡県行橋市北東四丁目28-16 TEL 0930-25-3444</p>		<p>日付 A-05</p>																																					
<p>田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号</p>																																							

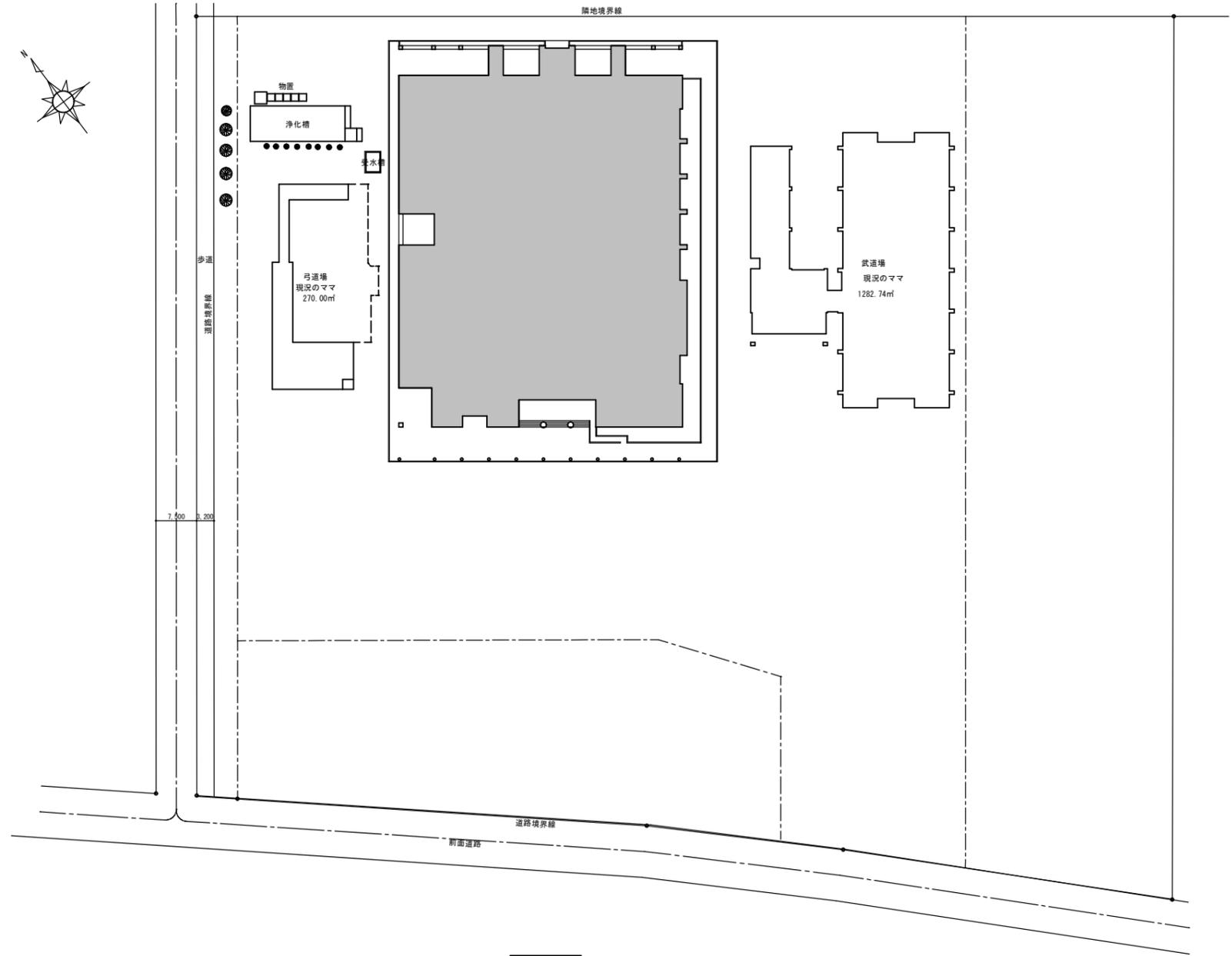
No.2 平成29年度改訂		290401	
章 項 目	特 記 事 項		
6 検査及び後片付け	(1) 除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床などの清掃を行う。 (2) 監督職員立会いのうえ、除去が十分に行われたかを、目視により検査を行う。 (3) 養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全体にまんべんなく粉じん飛散抑制剤を散布する。 (4) 壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、負圧・除じんを十分に吸引、ろ過した時点又は粉じん飛散抑制剤吹付後、沈降した時点で行う。 なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 (5) 養生を行っている足場、仮設材を清掃した後に解体撤出する。 (6) 床養生用プラスチックシートは、粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 (7) 養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、5(2)により処理等を行う。 (8) 後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃を行う。	③ 安全衛生管理	(2) 官公署その他への手続き等 一般建築工事の手続きのほか、地方公共団体が定めている手続きを行う。
	7 施工記録	(1) 施工記録報告書を作成し、監督員に提出する。 (2) 施工記録報告書は、下記事項により作成する。 (イ) 施工計画書 (ii) 工事記録及び工事写真 (iii) 産業廃棄物処理記録 (iv) 施工調査等記録 (v) 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 作業者の作業記録、特殊健康診断記録は石綿則により40年間保存しなければならない。 (vi) その他必要事項	④ 除去処理工事
1. 施工調査等	施工調査は、特記による。特記がなければ、次による。 (i) 処理工事に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。 ① アスベスト含有保温材等の使用部位の確認 ② アスベスト含有保温材等の厚さの確認 ③ 施工範囲と工事管理区分の確認 ④ 廃棄物などの搬出方法 (ii) アスベスト粉じん濃度測定は6.1(ii)に準じて行う。	⑤ 検査及び後片付け	(1) 除去作業が終了後、アスベスト含有成形板の破片、破断粉および作業衣等に付着した粉じんが残存しないように、真空掃除機等により、清掃および片付けを十分に行う。 (2) 監督職員の立会いのうえ、除去が十分に行われたことを、目視により検査を行う。
2. 施工計画書	(1) 施工計画書 着工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承諾を受ける。 なお、施工計画書に記載すべき事項は、次のとおりとする。 ① 工事概要 ア. 工事名称 イ. 工事場所 ウ. 工事期間 エ. 工事内容 オ. その他 ② 管理組織 ③ 安全衛生管理及び飛散防止対策 ④ 使用用具、器具類、材料及び調合 ⑤ 工事の流れ ⑥ 仮設計画（足場、養生） ⑦ 作業要領（作業計画図面を含む。） ⑧ 確認、検査方法 ⑨ 工事工程表 ⑩ その他必要事項 (2) 官公署その他への手続き等 一般建築工事の手続きのほか、地方公共団体が定めている手続きを行う。	⑥ 施工記録	(1) 施工記録報告書を作成し、監督職員に提出する。 (2) 施工記録報告書は、6.7により作成する。
仕 上 復 旧 特 記 仕 様			
1. 危険防止		1. 仮囲い等 ・ 設けない ※設ける 設置方法 ・ 成形鋼板 (H = m) ・ 波形カラー鉄板 (H = m) ・ シート張り ・ ロープ張り ※施設管理者と協議の上、バリカーによる安全区画を行うものとする。 ゲート ・ シート (W = m) ・ パネル (W = m) ・ ハンガー (W = m) 垂直防護施設 ・ メッシュシート ・ 防炎シート ・ 枠付金網 ・ 防音シート ・ アルミ防音パネル ・ () 水平防護施設 ・ 防護網 (網目) ・ ダブルネット ・ () 防護施設等取付足場 ・ 単管一本足場 ・ 枠組本足場 (W =) ・ () 設置範囲 ※図示による ・ 監督員の指示による 設置期間 ※工事期間中 ・ 監督員の指示による	
2. 構 台		養生構台 ・ 設置する (図示による) ・ 設置しない 乗入れ構台 ・ 設置する (幅員 m、長さ m) ・ 設置しない	
3. 工事表示板等		監督員の指示による。	
4. 設備工事との取合い		※施工区分表による ・ 施工範囲は下記による ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ※図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・ () 施工図 設備機器の設置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。	
5. 総合図での調整		各工事の着工に先立ち、各施工図の基準となる総合図を作成し、監督員の承諾を受ける。 総合図は施工図作成に先立ち、建築・設備・その他別途発注工事業者の情報をすべて盛り込んだ図面とし、それらの接点の細部調整を行う。 総合図の調整は、建築工事の請負者が行い、設備工事・その他の請負者がそれに協力する。 (14.4.2) (表14.4.1)	
6. 検査及び後片付け	6.6に準じて行う。	野縁等の種類 (14.4.2) (表14.4.1) 屋内 ※19形 ・ 25形 ・ () 屋外 ・ 19形 ※25形 ・ () 屋外における野縁等の間隔 () [14.4.3]	
① 施工調査	施工調査は、特記による。特記がなければ、次による。 処理工事に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。 (i) アスベスト含有成形板使用部位の確認 (ii) アスベスト含有成形板の種類、厚さ等の確認 (iii) アスベスト含有成形板使用数量の確認 (iv) 施工範囲と工事管理区分の確認 (v) 廃棄物等の搬出方法について	2. せつこうボード その他ボード 及び合板張り	
② 施工計画書	(1) 施工計画書 着工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承諾を受ける。 なお、施工計画書に記載すべき事項は、次のとおりとする。 ① 工事概要 ア. 工事名称 イ. 工事場所 ウ. 工事期間 エ. 工事内容 オ. その他 ② 管理組織 ③ 安全衛生管理及び飛散防止対策 ④ 使用用具、器具類、材料及び調合 ⑤ 工事の流れ ⑥ 仮設計画（足場、養生） ⑦ 作業要領（作業計画図面を含む。） ⑧ 確認、検査方法 ⑨ 工事工程表 ⑩ その他必要事項		
③ 施工調査	施工調査は、特記による。特記がなければ、次による。 処理工事に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。 (i) アスベスト含有成形板使用部位の確認 (ii) アスベスト含有成形板の種類、厚さ等の確認 (iii) アスベスト含有成形板使用数量の確認 (iv) 施工範囲と工事管理区分の確認 (v) 廃棄物等の搬出方法について		
④ 施工計画書	(1) 施工計画書 着工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承諾を受ける。 なお、施工計画書に記載すべき事項は、次のとおりとする。 ① 工事概要 ア. 工事名称 イ. 工事場所 ウ. 工事期間 エ. 工事内容 オ. その他 ② 管理組織 ③ 安全衛生管理及び飛散防止対策 ④ 使用用具、器具類、材料及び調合 ⑤ 工事の流れ ⑥ 仮設計画（足場、養生） ⑦ 作業要領（作業計画図面を含む。） ⑧ 確認、検査方法 ⑨ 工事工程表 ⑩ その他必要事項		
備考			
承認書			
工事名称	行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	図面名称	アスベスト含有建材除去等工事特記仕様書(2)
尺度	日付	図面番号	A-06
TEL 0930-25-3444	福岡県行橋市北東四丁目28-16 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号		



案内図

面積表

建築面積	4,049.39㎡
1階床面積	3,260.46㎡
2階床面積	1,270.49㎡
延べ床面積	4,530.95㎡



配置図

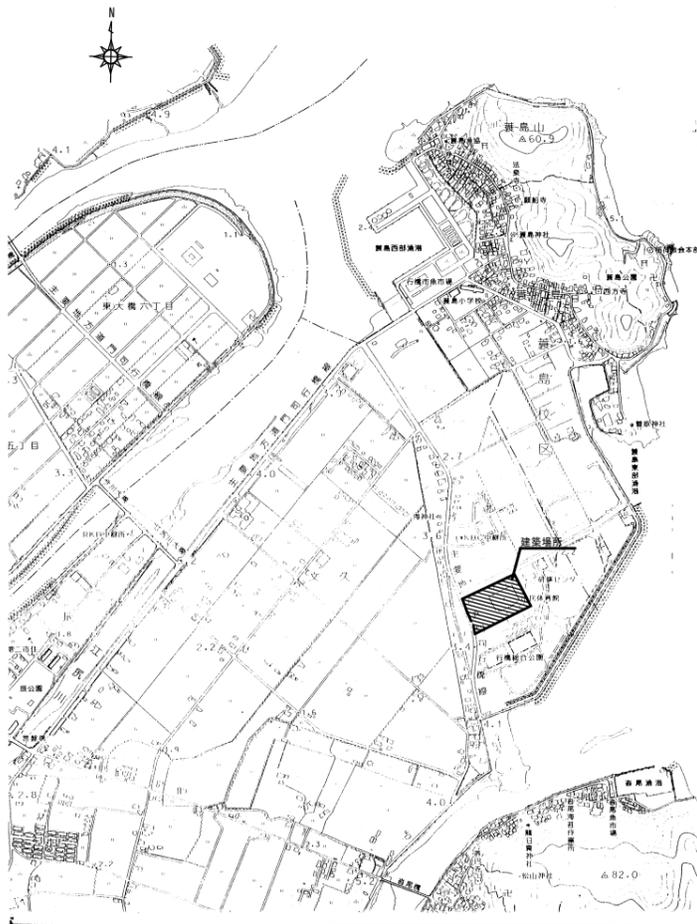
特記事項

田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所
福岡県知事登録第1-20466号
福岡県行橋市北原四丁目28-16
TEL 0930-25-3444
田頭 康典
一級建築士 大臣登録第126902号

工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
図面名称 現況 案内図. 配置図

縮尺 S=1/500

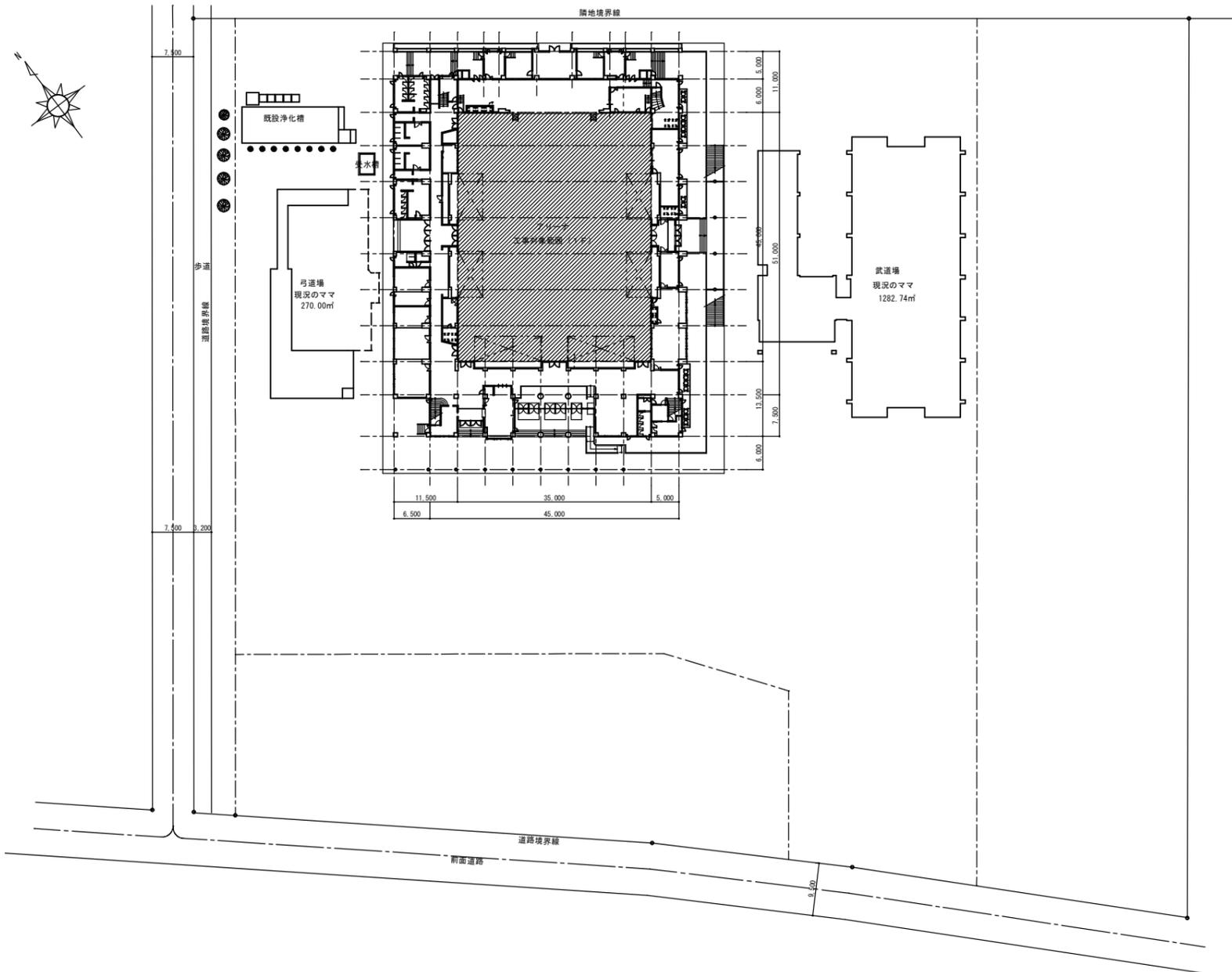
製図年月日	2020年 7月		
所長	検図	作図	



案内図

面積表

建築面積	4,049.39㎡	
	全体面積	工事対象面積
1階床面積	3,260.46㎡	1,575.00㎡
2階床面積	1,270.49㎡	720.00㎡
延べ床面積	4,530.95㎡	2,295.00㎡



配置図 S=1:500

- ※ 仮設物、仮囲い、現場事務所等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議の上決定する事。
- ※ 敷地内の車両の通行に際しては、最優先とし歩行者の安全を確保する事。
- ※ 工事完了後は、使用した場所の整理清掃後片付けを行う事。
- ※ 外部改修工事は、本工事対象外（令和4年度工事）とする。

特記事項

田頭一級建築設計事務所
 一級建築士事務所
 福岡県知事登録第1-20466号
 福岡県行橋市北東四丁目28-16
 TEL 0930-25-3444
 田頭 康典
 一級建築士 大臣登録第126902号

工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
 図面名称 改修後 案内図、配置図

縮尺 S=1/500

製図年月日	2020年 7月		
所長	検図	作図	

行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事

外部仕上表 (外部改修工事別途トスル)

屋根 (大屋根)	既存 平面部: シンク 珪藻土 (マツノ・シノグ・工法 KS-105 同等品) 7) 20 コンクリート打増 3) 押入 (勾配=2.5/10) 立上部: エスケート	軒先	既存 45ニ丁掛モザイクタイル貼り 改修後 高圧洗浄 (15PMa以上) 下地処理の上 外壁改修複合構工法 (クリア-仕上)
	改修後 平面部: シンク 珪藻土 既存のまま、高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、改質アスファルトシート防水常温粘着工法 (AS-J2工法) 新設 (脱気筒付) (既存破損部分補修下地処理トスル) 立上部: 既存アスファルトシートの撤去の上、コンクリート面高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、改質アスファルトシート防水 (AS-J2工法) 新設 アスファルト押入止・シーリング (MS-2) (15×15) 撤去新設	軒裏	既存 7) 12軒天用ロックウール吸音板貼 (一部吹付タイル) 一部軒裏無し部分 改修後 既存のまま 高圧洗浄 (10~15PMa) の上 防水型複層塗材 RE 7) 12.5防水石膏ボード 下貼
屋根 (屋上)	既存 平面部: アスファルト露出防水 (脱気筒付) 7) 20 コンクリート打増 3) 押入 立上部: アスファルト露出防水	梁型・柱型	既存 45ニ丁掛モザイクタイル貼り 改修後 高圧洗浄 (15PMa以上) 下地処理の上 外壁改修複合構工法 (クリア-仕上)
	改修後 平面部: 既存アスファルト防水のまま、高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、改質アスファルトシート防水 (AS-J2工法) 新設 (脱気筒付) (既存破損部分補修下地処理トスル) 改修用引フーレン打込100φ 立上部: 既存アスファルト防水撤去、高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、改質アスファルトシート防水 (AS-J2工法) 新設 アスファルト押入止・シーリング (MS-2) (15×15) 撤去新設	外壁	既存 45ニ丁掛モザイクタイル貼り 改修後 高圧洗浄 (15PMa以上) 下地処理の上 外壁改修複合構工法 (クリア-仕上)
屋根 (1階屋根)	既存 平面部: アスファルト露出防水 (脱気筒付) 7) 20 コンクリート打増 3) 押入 7) 60玉砂利敷込 立上部: アスファルト露出防水	外部巾木	既存 45ニ丁掛モザイクタイル貼り 改修後 高圧洗浄 (15PMa以上) 下地処理の上 外壁改修複合構工法 (クリア-仕上)
	改修後 平面部: 既存アスファルト防水のまま、高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、改質アスファルトシート防水 (AS-J2工法) 新設 (脱気筒付) 7) 60玉砂利敷込撤去 (既存破損部分補修下地処理トスル) 改修用引フーレン打込100φ 立上部: 既存アスファルト防水撤去、高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、改質アスファルトシート防水 (AS-J2工法) 新設 アスファルト押入止・シーリング (MS-2) (15×15) 撤去新設	南北R付飾り梁部分	既存 45ニ丁掛モザイクタイル貼り 改修後 既存45ニ丁掛モザイクタイル貼り仕上げ撤去 高圧洗浄 (10~15PMa) 下地処理の上 防水型複層塗材 RE 新設
屋根 (種)	既存 平面部: 塗膜防水 7) 30~60 コンクリート打増 3) 押入 立上部: 塗膜防水	犬走り	既存 100角タイル貼り 改修後 高圧洗浄 (10~15PMa)
	改修後 平面部: 高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、ウレタン系塗膜防水 (絶縁工法) X-1 立上部: 高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、ウレタン系塗膜防水 (密着工法) X-2	軒樋・竖樋	既存 硬質塩ビ (V.P.管) 100φ、125φ V.P.管 コルテシ鋼100×100×3.2 (CORTEX) 既存のまま 改修後 硬質塩ビ (V.P.管) 100φ、125φ 新規 コルテシ鋼100×100×3.2 (CORTEX) 既存のまま 改修用引フーレン打込125φ
屋根 (ランニングコース)	既存 平面部: 7) 5 カートップ DL 7) 70 シンク コンクリート押入 立上部: 7) 5 カートップ DL	植込 (立面)	既存 コンクリート打放シの上 吹付タイル 改修後 高圧洗浄 (10~15PMa) の上 防水型複層塗材 RE 一部植込伐栽・伐根
	改修後 平面部: 高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、ウレタン系塗膜防水 (絶縁工法) X-1 防湿仕上 (既存目地撤去後無収縮モルタル補修トスル) 立上部: 高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上、ウレタン系塗膜防水 (密着工法) X-2	金属製建具	既存 アスファルト 男女シャワールーム アスファルト 既存のまま 改修後 アスファルト 男女シャワールーム アスファルト 2ヶ所新設 その他既存のまま アスファルト 既存のまま
		階段	既存 床: 100角磁器タイル貼 壁: 45ニ丁掛モザイクタイル貼り 裏: コンクリート打放シの上 吹付タイル 改修後 既存のまま高圧洗浄 (10~15PMa) 壁: 外壁改修複合構工法 (クリア-仕上) 裏: 高圧洗浄 (10~15PMa) 下地処理の上 防水型複層塗材 RE

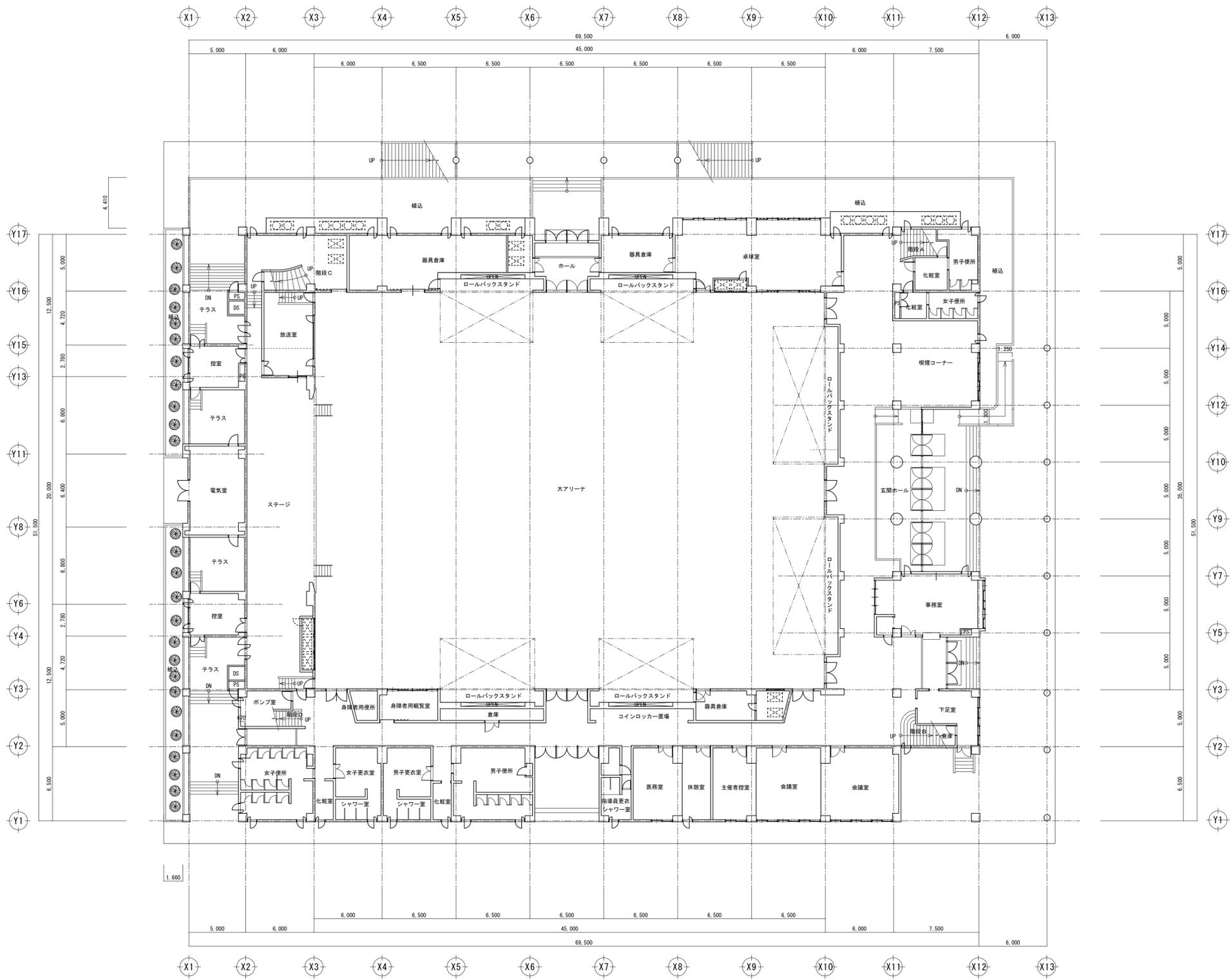
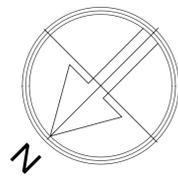
内部仕上表

階数	室名	区分	床	巾木	腰・壁	天井	天井高	備考	区分	室名	階数
1階	アリーナ	既存	床 7) 18 JAS特殊フローリング 貼PP塗装	木製 (堅木) OSCL	ABn' 珪 (FG#'-ト') 7) 6 腰1.9m 7) 10) OP	7) 25化粧グラス板貼 7) 15化粧ロックウール吸音板貼 7) 9 PB下地 (天井R付部分)	10,000 13,500		既存	アリーナ	1階
		改修後	床: 研磨後 PU塗装3回塗 各競技ライン引替 ステージ 床: 研磨後 PU塗装3回塗	木製 (堅木) OSCL 既存のまま	ABn' 珪 (FG#'-ト') 7) 6 腰1.9m 7) 10) OP 既存のまま	7) 25化粧グラス板貼 撤去 7) 15化粧ロックウール吸音板貼 撤去 7) 9 PB下地 (天井R付部分) 撤去		グランドビタ/養生 単管足場 養生シート2重張	改修後	アリーナ	
	男子シャワー室	既存	既存衝撃マット敷込撤去		吹付タイル (内装用)	バスリブ	2,520		既存	男子シャワー室	
	改修後	防滑性床シート張 7) 2.5		吹付タイル (内装用) 既存のまま	バスリブ 既存のまま			改修後	男子シャワー室		
女子シャワー室	既存	既存衝撃マット敷込撤去		吹付タイル (内装用)	バスリブ	2,520		既存	女子シャワー室		
改修後	防滑性床シート張 7) 2.5		吹付タイル (内装用) 既存のまま	バスリブ 既存のまま			改修後	女子シャワー室			
2階	アリーナ (吹き抜け)	既存			ABn' 珪 (FG#'-ト') 7) 6 腰1.9m 7) 10) OP	7) 25化粧グラス板貼 撤去 7) 15化粧ロックウール吸音板貼 撤去 7) 9 PB下地 (天井R付部分) 撤去	10,000 18,000	カーテンレール 暗幕カーテン ビームシート養生 ステージ 縦横床面より3m上げて養生	既存	アリーナ (吹き抜け)	
		改修後			ABn' 珪 (FG#'-ト') 7) 6 EP-G シーリング ライト室外部及び梁部分 EP-G (シーラー下塗)	7) 30木毛板 (ス-ハ-ハ' 珪) 天井裏部分 既存のまま 軽量天井システム 2.0kg/m ² 以下 グラスウール (ト') 25mm 吊ネット1800×1800ビッチ 7) 30木毛板 (ス-ハ-ハ' 珪) 既存 EP-G塗 (シーラー下塗) 天井裏部分 7) 30木毛板 (ス-ハ-ハ' 珪) 既存のまま		現況壁上部目透し部分カッター切断 調整トスル シーリング スケッチ室外部塗装 EP-G	改修後	アリーナ (吹き抜け)	
	観客席	既存	塩ビ系長尺シート貼 (ノリツグ)	塩ビ系巾木	ABn' 珪 (FG#'-ト') 7) 6 腰1.9m 7) 10) OP	7) 25化粧グラス板貼 撤去	5,500	観客席養生	既存	観客席	
改修後	塩ビ系長尺シート貼 (ノリツグ) 既存のまま	塩ビ系巾木 既存のまま	ABn' 珪 (FG#'-ト') 7) 6 腰1.9m 7) 10) OP 既存のまま	7) 25化粧グラス板貼 撤去 軽量天井システム 2.0kg/m ² 以下 グラスウール (ト') 吊ネット1800×1800ビッチ 7) 30木毛板 (ス-ハ-ハ' 珪) 天井裏部分 既存のまま		改修後	観客席				
トレーニング室	既存	7) 15フローリング プロック貼 PP塗	木製 (堅木) OSCL	吹付タイル (内装用)	7) 15化粧ロックウール吸音板貼	4,000		既存	トレーニング室		
改修後	7) 15フローリング プロック貼 PP塗 既存のまま	木製 (堅木) OSCL 既存のまま	吹付タイル (内装用) 既存のまま	7) 15化粧ロックウール吸音板貼 既存のまま		改修後	トレーニング室				

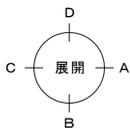
仕上げ凡例

	RE	防水型複層塗材	SOP	合成樹脂調合ペイント塗
			EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗

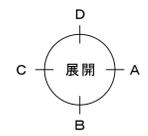
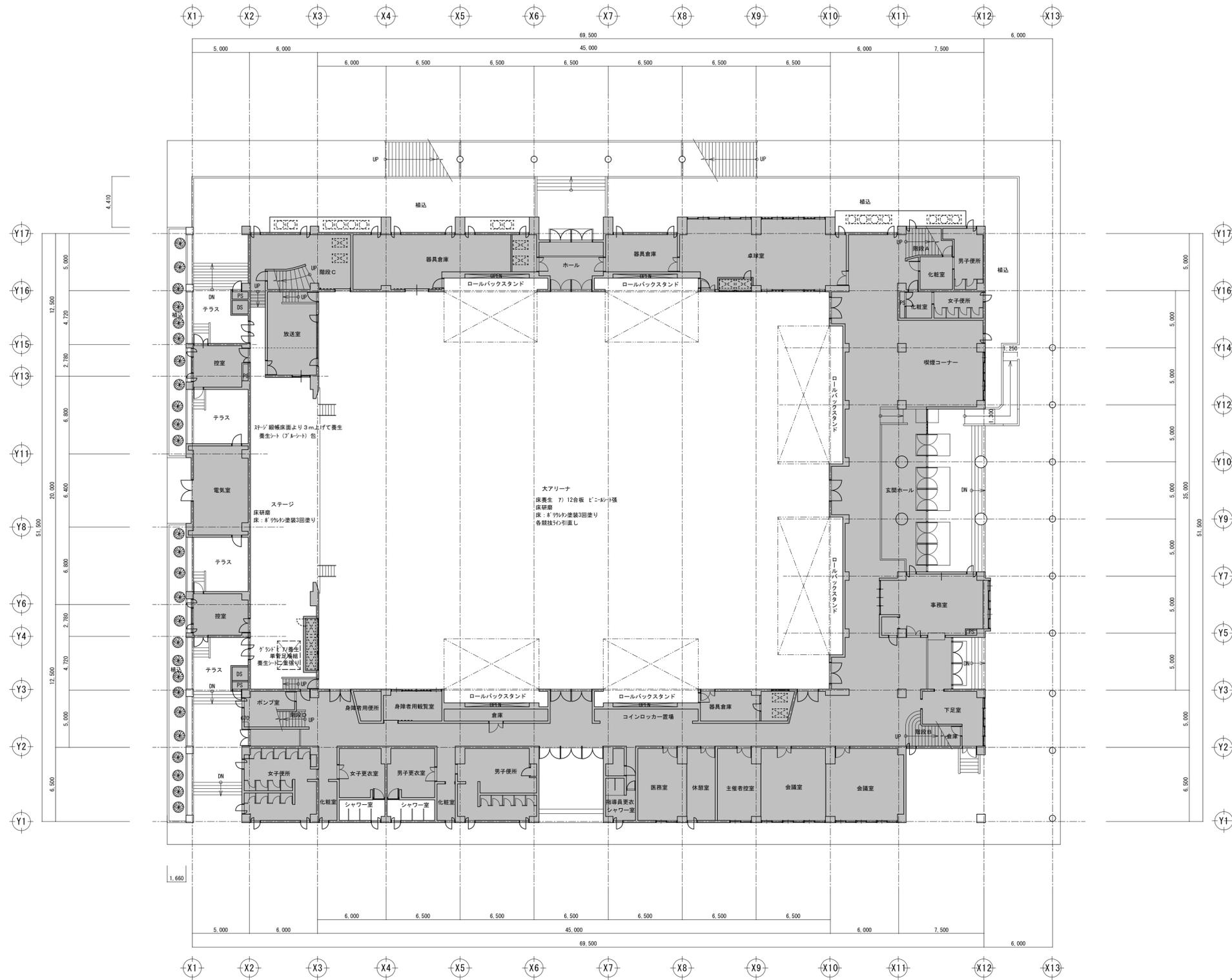
特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北東四丁目28-16 TEL 0930-25-3444 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 仕上げ表	縮尺 S=1/1	製図年月日 2020年 10月 所長 検図 作図	A-09



現況 1階平面図 S=1:200



特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺	製図年月日	2020年 7月
			S=1/200	所長	検図
		図面名称 現況 1階平面図			

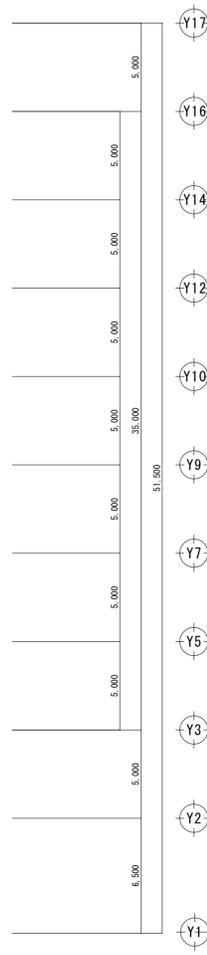
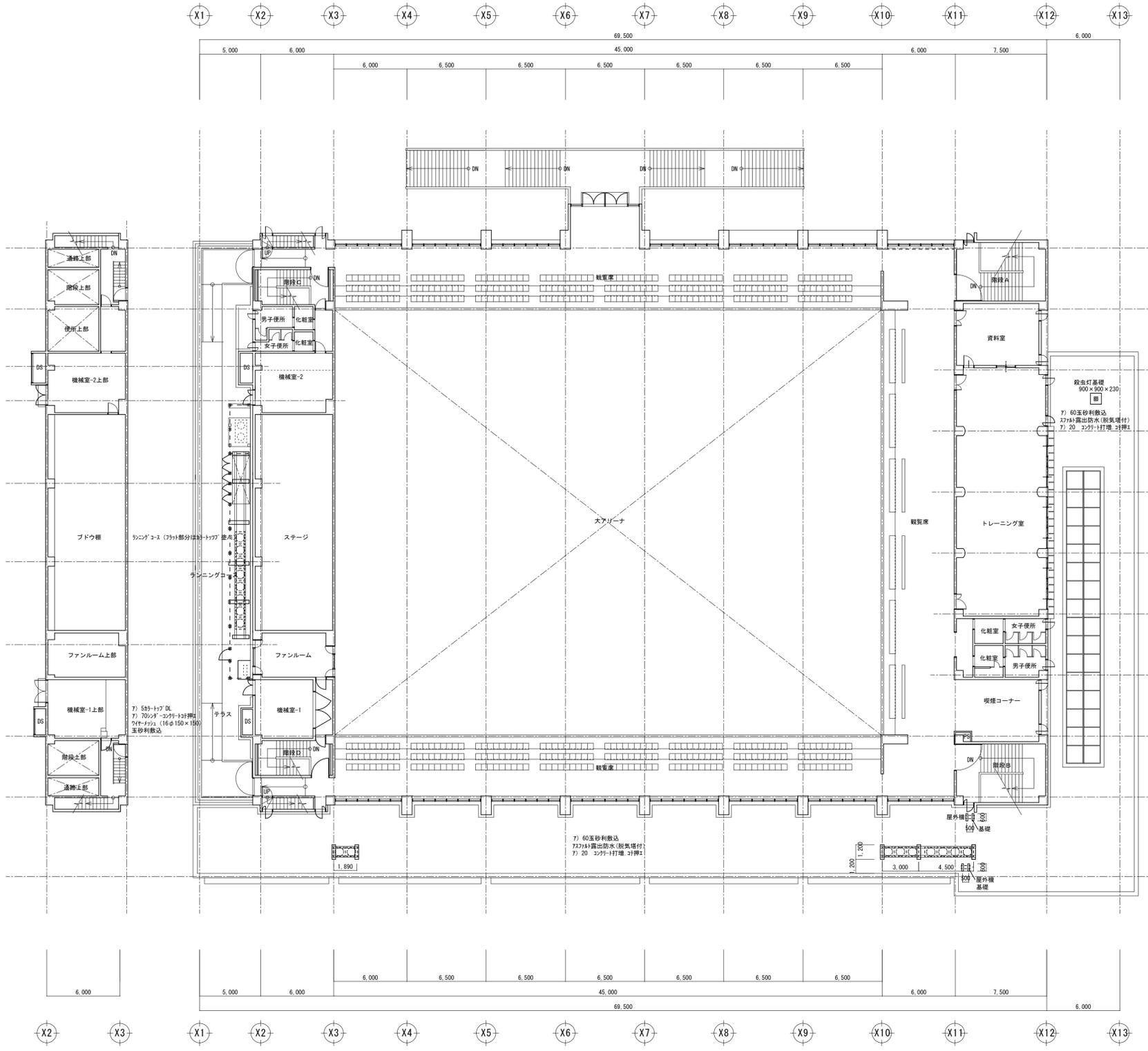
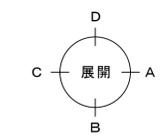
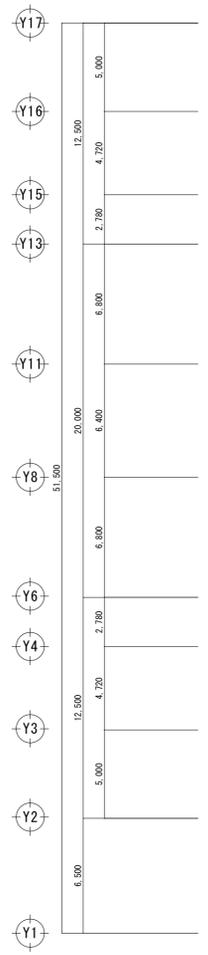


改修後 1階平面図 S=1:200

□ = 改修部分を示す
 ■ = 既存部分を示す

※ 建築外部工事及び防水工事別途とする

特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 改修後 1階平面図	縮尺 S=1/200	製図年月日	2020年 7月
					所長	検 閲



現況 2階平面図 S=1:200

特記事項	

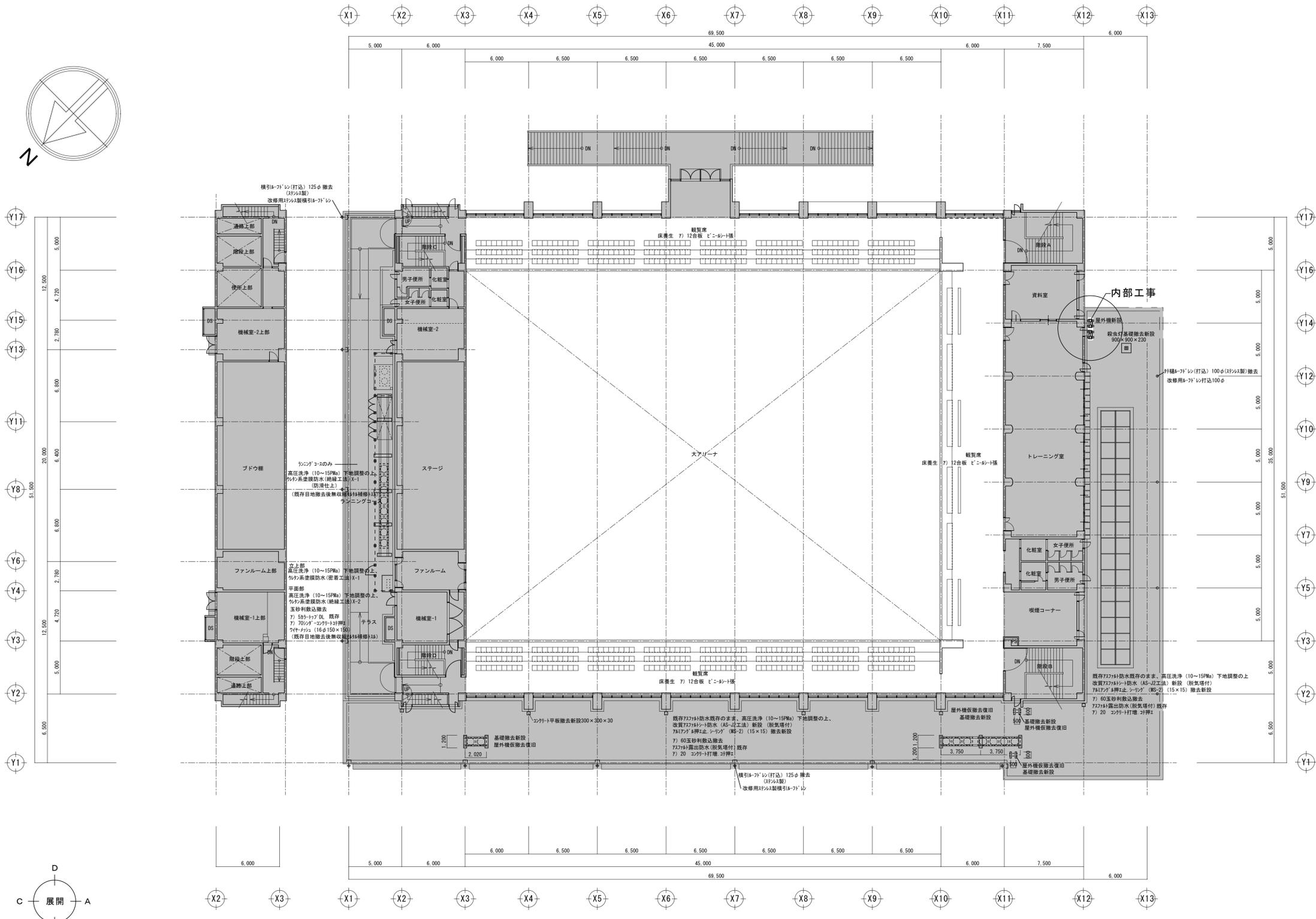
田頭一級建築設計事務所
 一級建築士事務所
 福岡県知事登録第1-20466号
 福岡県行橋市北泉四丁目28-16
 TEL 0930-25-3444

田頭 康典
 一級建築士 大臣登録第126902号

工事名称 **行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事**

図面名称 **現況 2階平面図**

縮尺 S=1/200	製図年月日	2020年 7月
	所長	検図
		作図

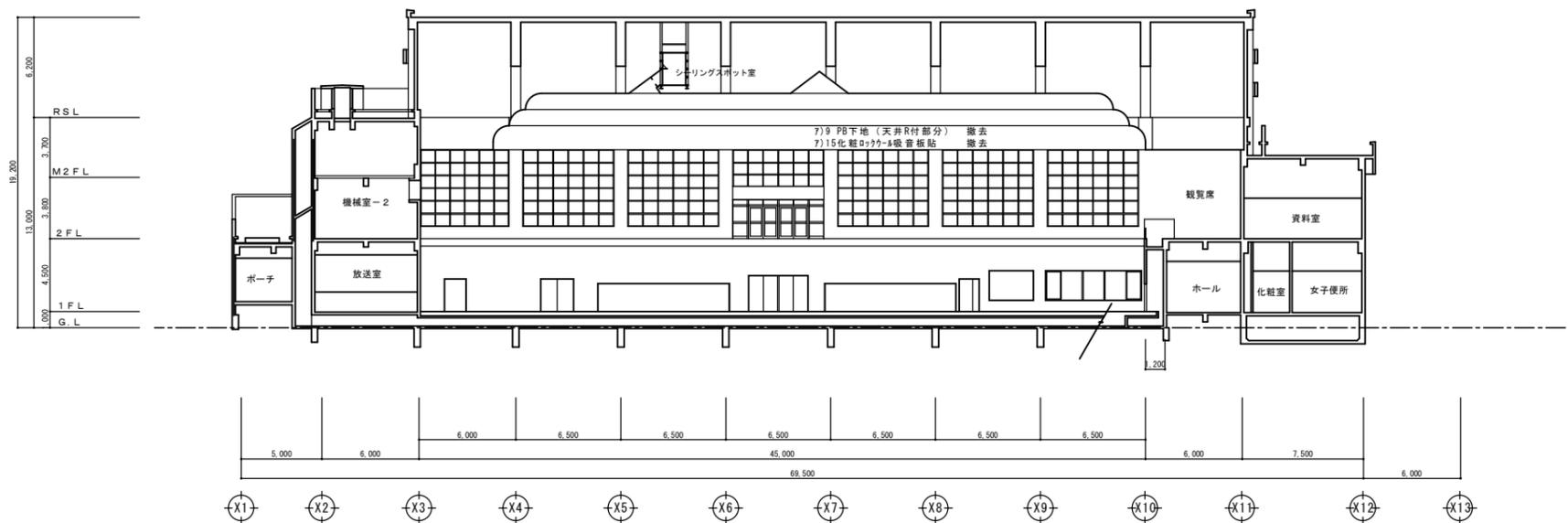


改修後 2階平面図 S=1:200

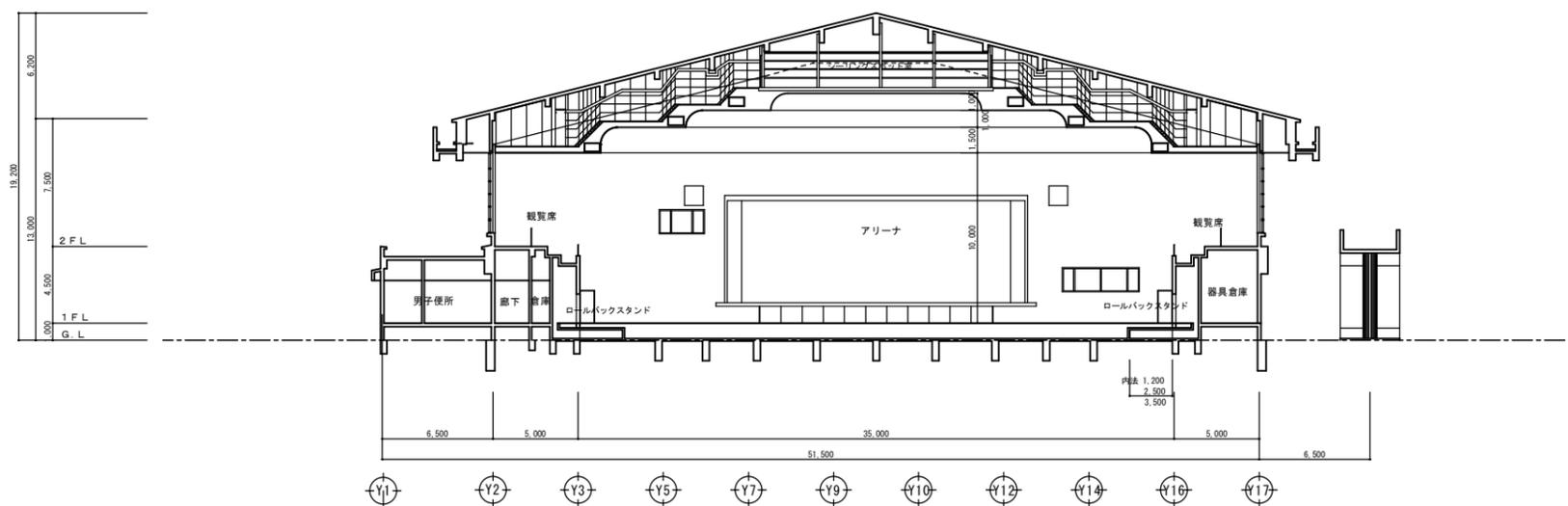
- = 改修部分を示す
- = 既存部分を示す

※ 建築外部工事及び防水工事別途とする

特記事項		田頭一級建築設計事務所 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 改修後 2階平面図	縮尺 S=1/200	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">製図年月日</td> <td style="text-align: center;">2020年 7月</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">所長</td> <td style="text-align: center;">検 図 作 図</td> </tr> </table>	製図年月日	2020年 7月	所長	検 図 作 図
	製図年月日	2020年 7月								
所長	検 図 作 図									
A-13										



現況 南北断面図 S=1:200



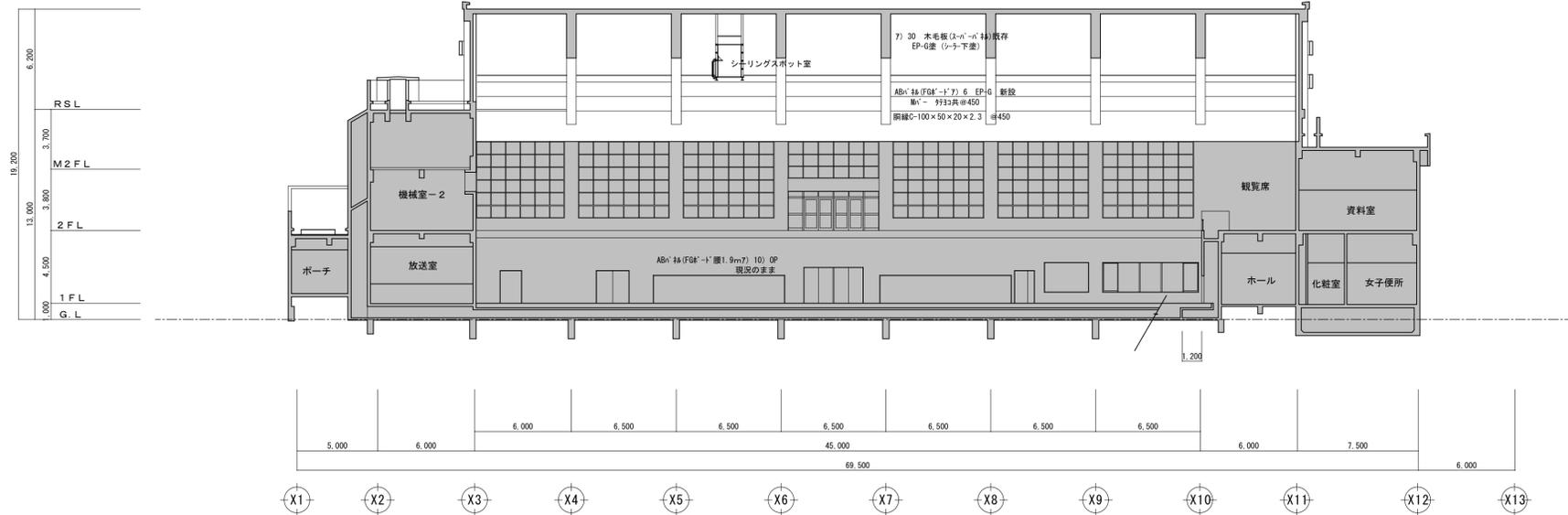
現況 東西断面図 S=1:200

特記事項

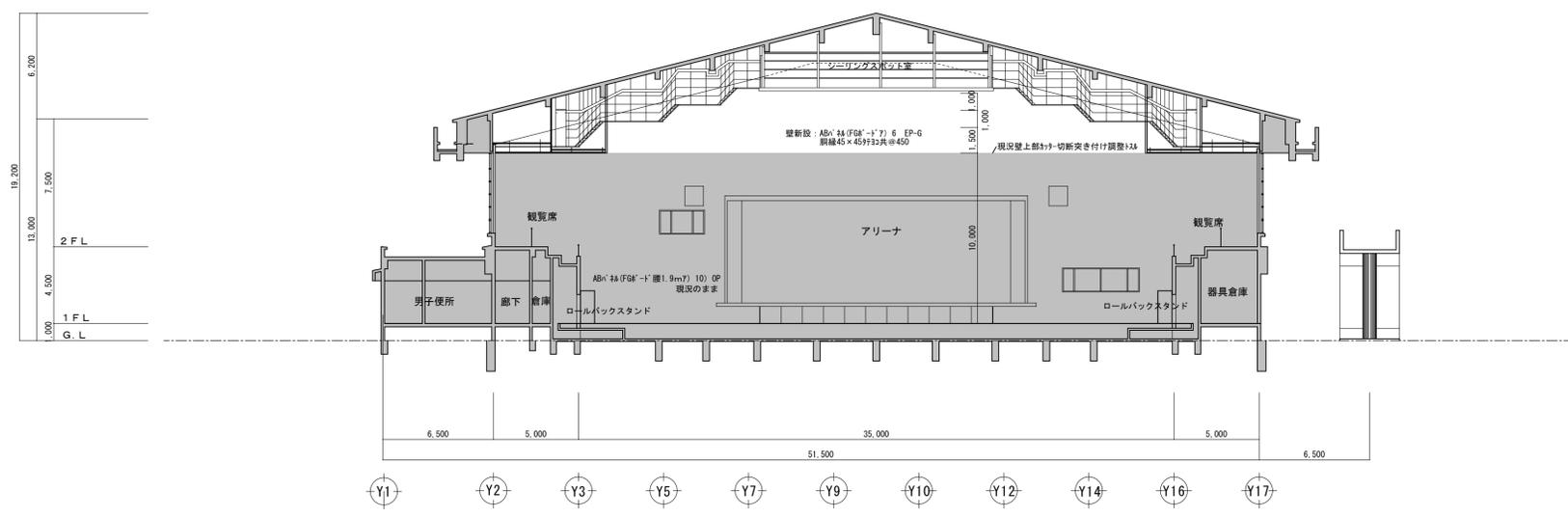
田頭一級建築設計事務所
 福岡県行橋市北東四丁目28-16
 TEL 0930-25-3444

工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
 図面名称 現況 断面図

縮尺 S=1/200	製図年月日	2020年 7月		
	所長	検図	作図	



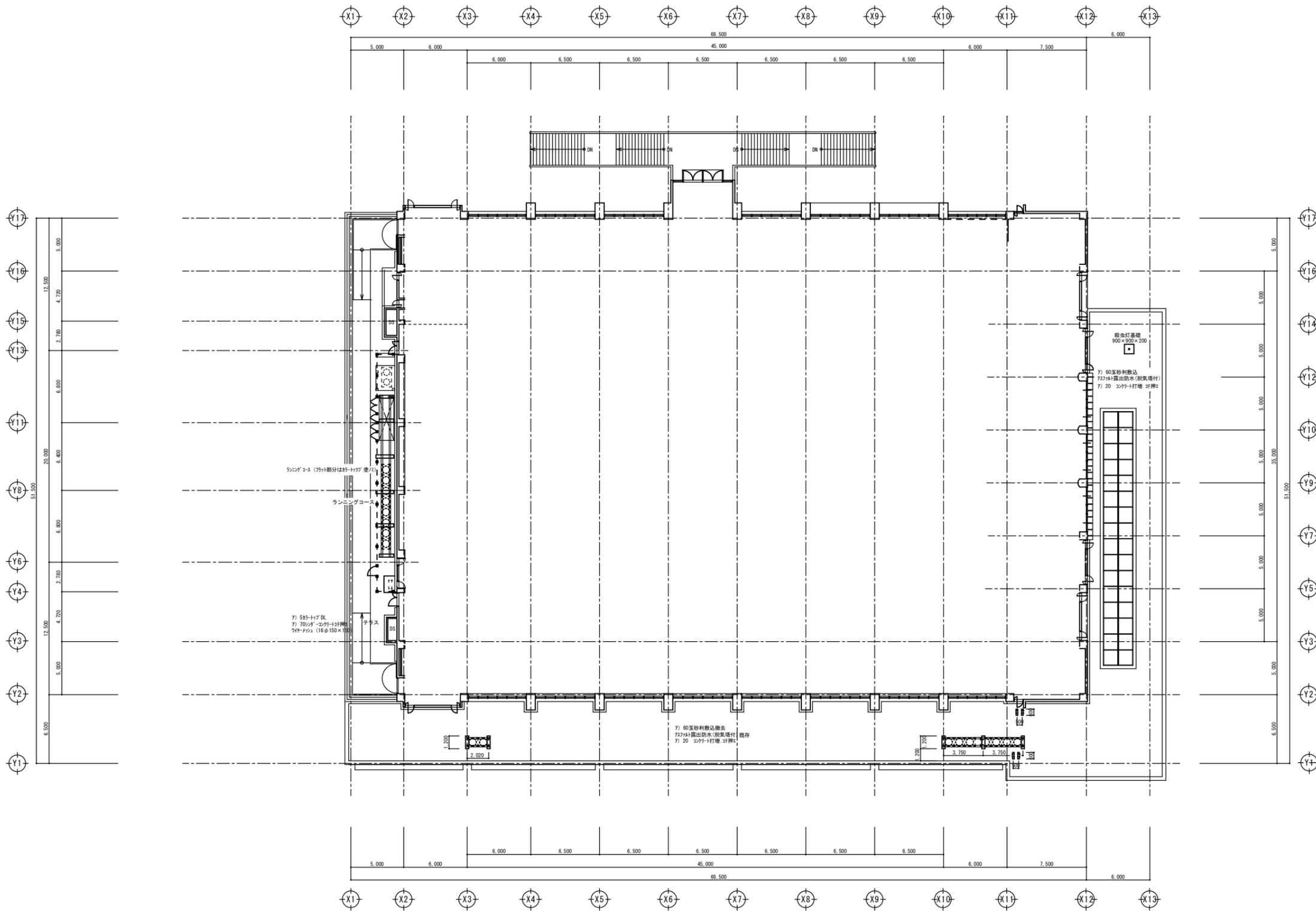
改修後 東西断面図 S=1:200



改修後 南北断面図 S=1:200

共通事項
 新設 天井裏内：既存鉄骨部分SOP塗
 アリーナ 天井及び梁部分
 EP-G塗装（シーラ下塗）
 シーリング/床下室外部
 既存*1等EP-G塗装
 既存鉄骨部分シーラの上 SOP塗
 新設鉄骨部分防錆止塗装の上 SOP塗

特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北東四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	一級建築士事務所 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 改修後 断面図	縮尺 S=1/200	製図年月日	2020年 7月	
					所長	検図	作図



現況 1階屋根伏図 S=1:200

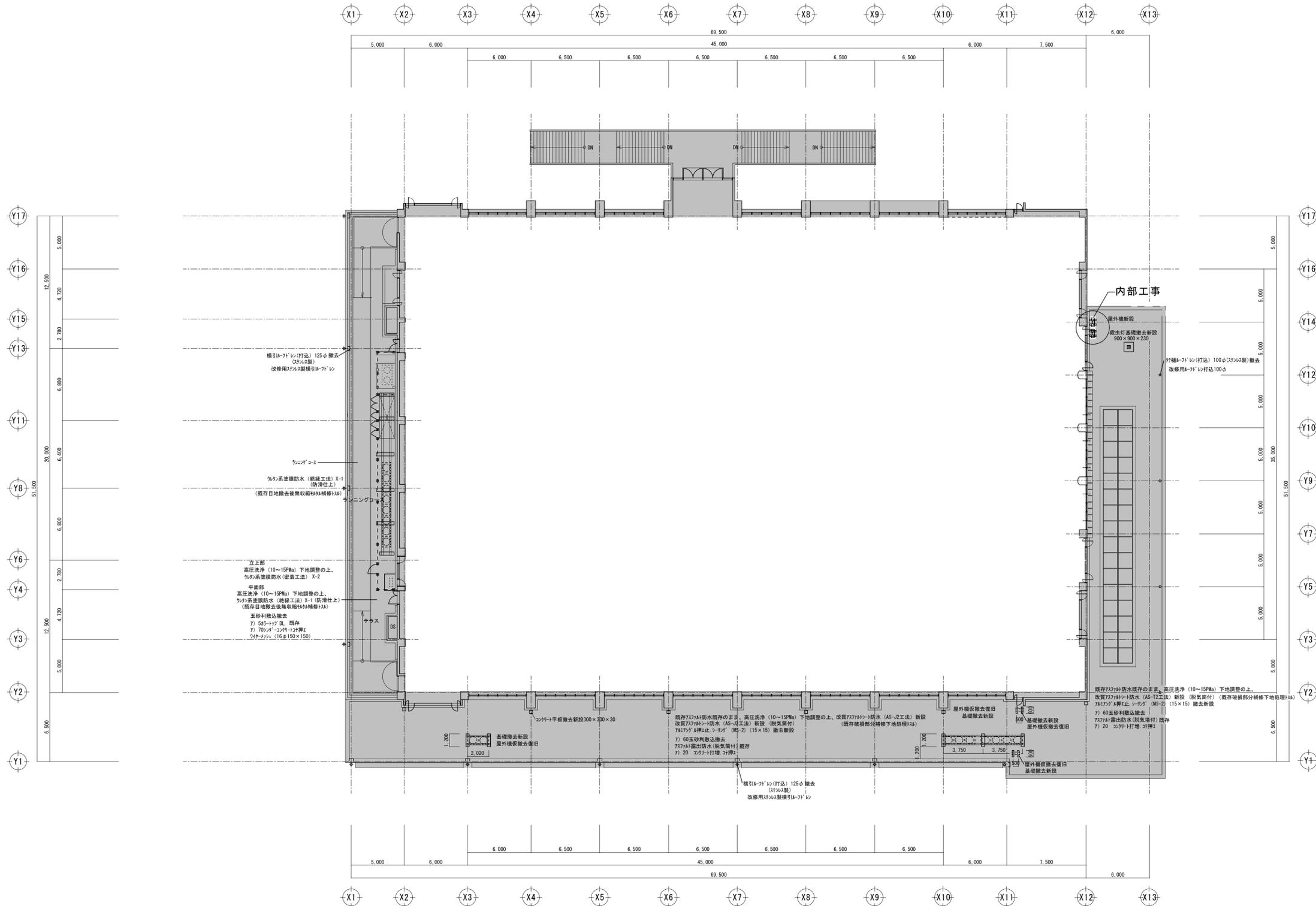
※ 建築外部工事及び防水工事別途とする。

建築標準

田頭一級建築設計事務所
 一級建築士事務所
 福岡県知事登録第1-20466号
 福岡県行橋市北東四丁目28-16
 TEL 0930-25-3444
 田頭 康典
 一級建築士 大臣登録第126902号

工事名称 **行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事**
 図面名称 **現況 1階屋根伏図**

縮尺 S=1/200	製図年月日	2020年 7月	
	所長	検図	作図



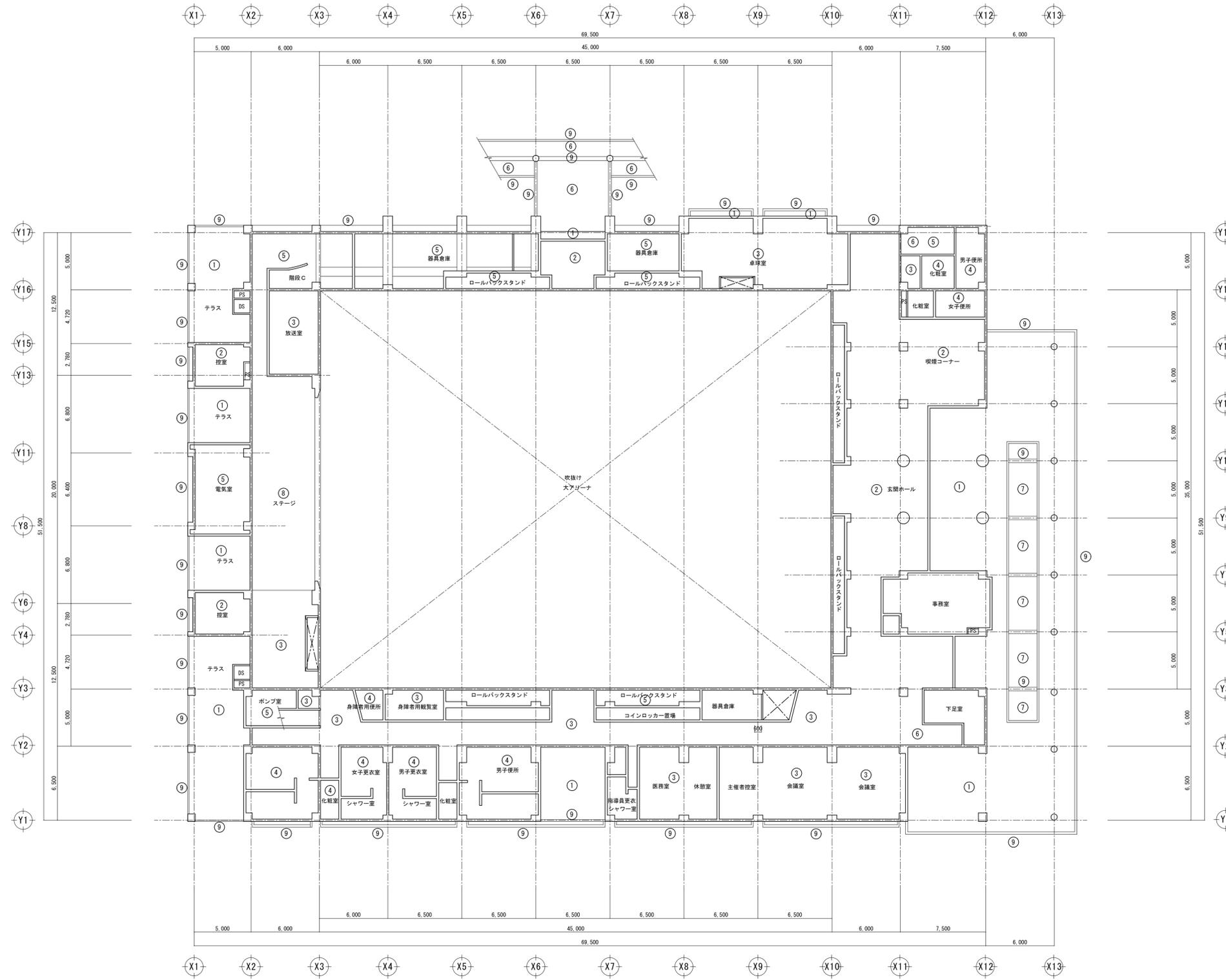
改修後 1階層根伏図 S=1/200

- 屋根防水 平面部: シング葺き既存のまま、高圧洗浄(10~15MPa) 下地調整の上、改質アクリル樹脂防水常温粘着工法(AS-J2工法) 新設(脱気筒付) (既存破損部分補修下地処理はR)
- 大屋根 立上部: 既存アクリル樹脂防水撤去、高圧洗浄(10~15MPa) 下地調整の上、改質アクリル樹脂防水(AS-J2工法) 新設(脱気筒付) (既存破損部分補修下地処理はR)
- 屋根防水 平面部: 既存アクリル樹脂防水のまま、高圧洗浄(10~15MPa) 下地調整の上、改質アクリル樹脂防水(AS-J2工法) 新設(脱気筒付) 改修用E-77引込100φ
- 立上部: 既存アクリル樹脂防水撤去、高圧洗浄(10~15MPa) 下地調整の上、改質アクリル樹脂防水(AS-J2工法) 新設(脱気筒付) (既存破損部分補修下地処理はR)
- 屋根種 平面部: 高圧洗浄(10~15MPa) 下地調整の上、珪藻土系遮水(密着工法) X-2
- 立上部: 高圧洗浄(10~15MPa) 下地調整の上、珪藻土系遮水(密着工法) X-2
- 屋根防水 平面部: 高圧洗浄(10~15MPa) 下地調整の上、珪藻土系遮水(絶縁工法) X-1 (既存目地撤去後無収縮EPA補修はR)
- 立上部: 高圧洗浄(10~15MPa) 下地調整の上、珪藻土系遮水(密着工法) X-2
- 外壁及び軒裏 (軒裏面) 高圧洗浄(15MPa以上) 下地調整の上、外壁改修複合工法(977仕上)
- 既存吹付EPA部分 高圧洗浄の上(10~15MPa) 下地調整の上、防水型複層塗材 R E

□ = 改修部分を示す
 ■ = 既存部分を示す

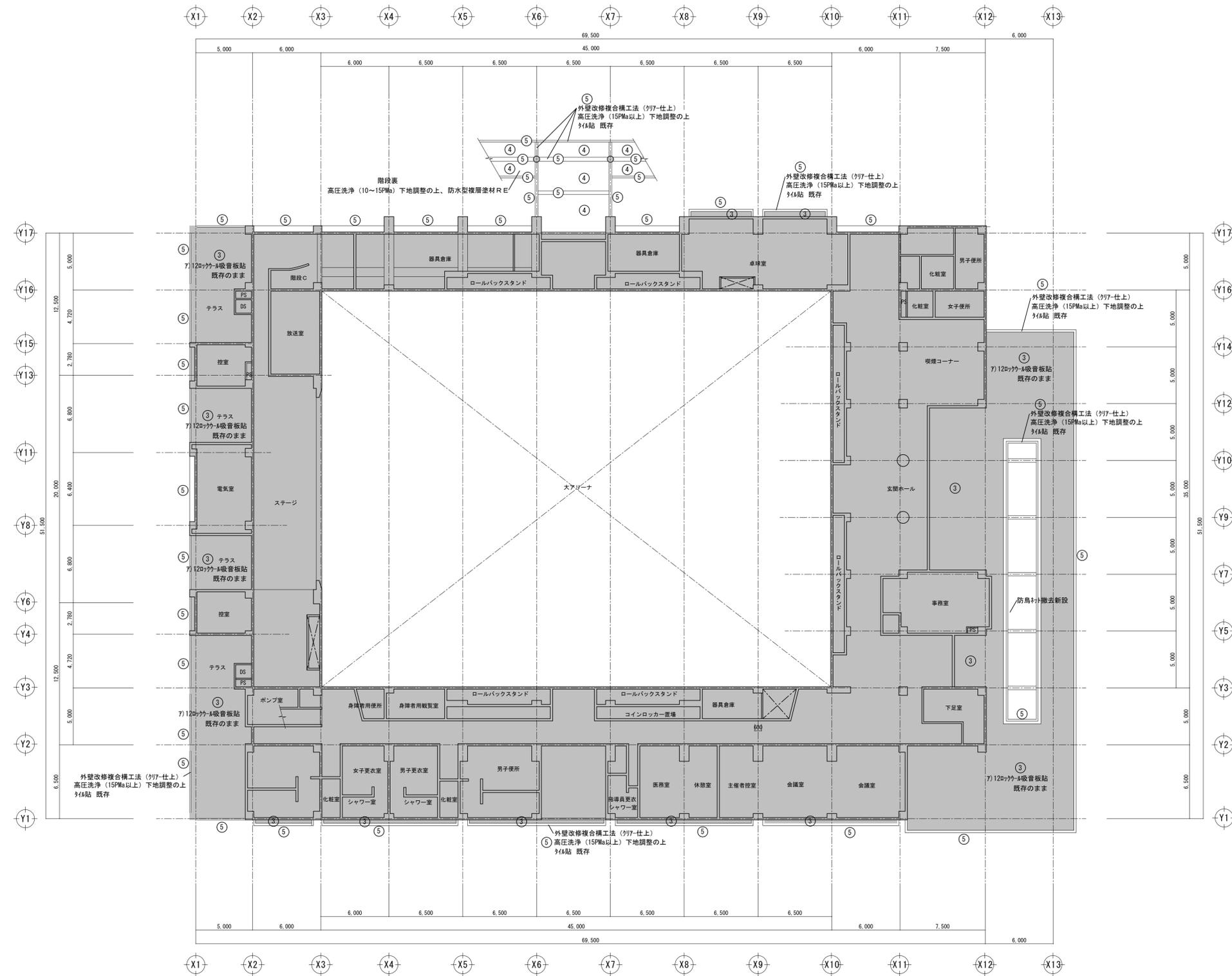
※ 建築外部工事及び防水工事別途とする

特記事項	田頭一級建築設計事務所	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺 S=1/200 S=1/30	製図年月日 2020年 7月	所長 検査 作図
	図面名称 改修後 1階層根伏図						



現況 1階天井伏図 S=1:200

天井仕上げ	
①	7) 12 軒天用ロック付吸音板
②	7) 15 (712 2階のみ) 7) 9 石膏ボード下地 7) 9 ロック付化粧吸音板
③	7) 9 石膏ボード下地 7) 9 ロック付化粧吸音板
④	7) 6.5石綿付加板 目透シ張 VP
⑤	コクリト打放シマ (一部木毛セメント板打込)
⑥	コクリト打放シ上 吹付タイル
⑦	7) 6.8網入型板がス (トッパ付)
⑧	ブドウ棚(鉄骨)
⑨	タイル貼
⑩	7) 25 グラス付吸音板 (730/712型)加工法900×1800E(1-4)
⑪	7) 9 化粧石膏ボード貼
⑫	7) 25 無機質繊維吸音貼

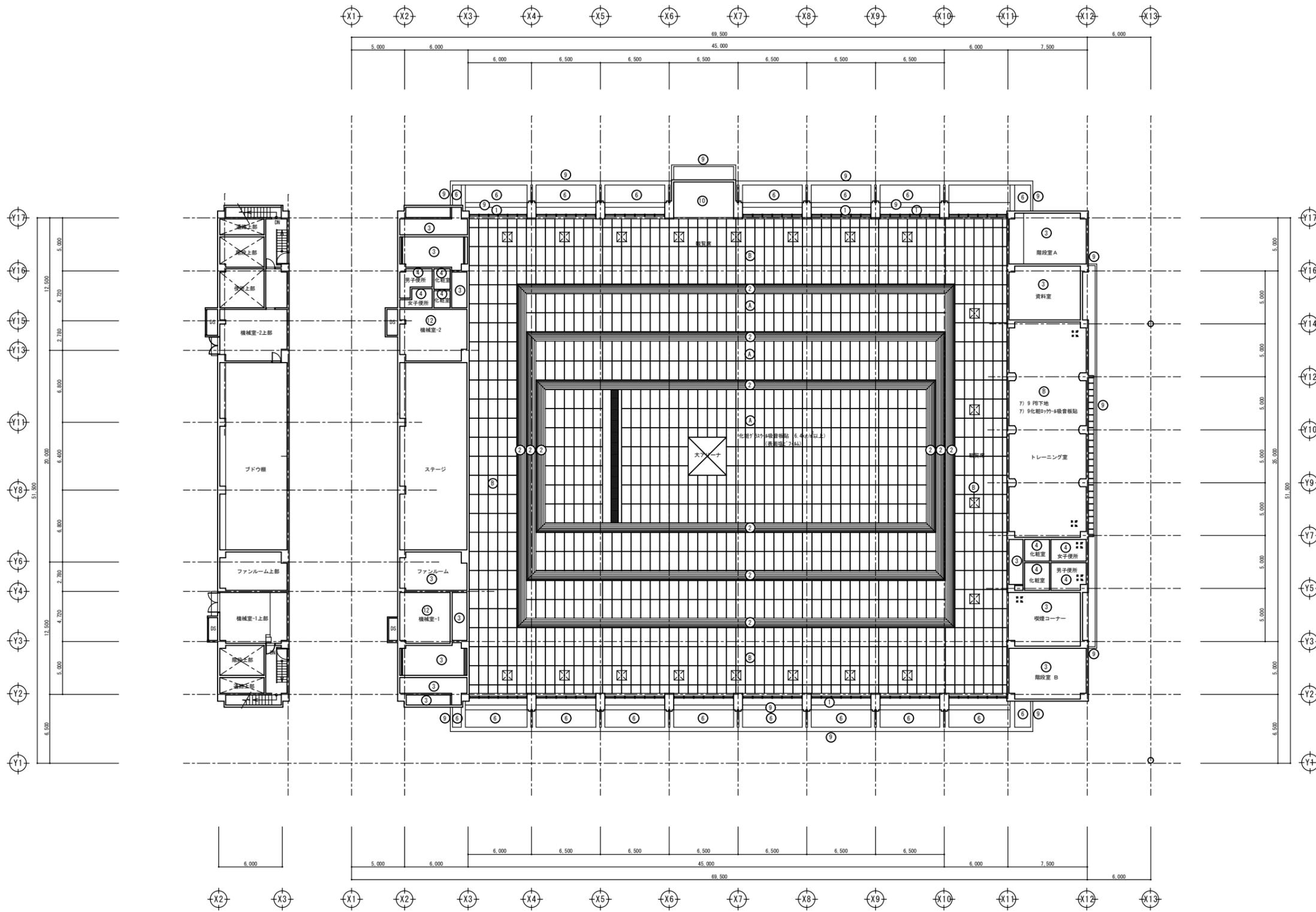


改修後 1階天井伏図 S=1/200

□ = 改修部分を示す
 ■ = 既存部分を示す

※ 建築外部工事及び防水工事別途とする

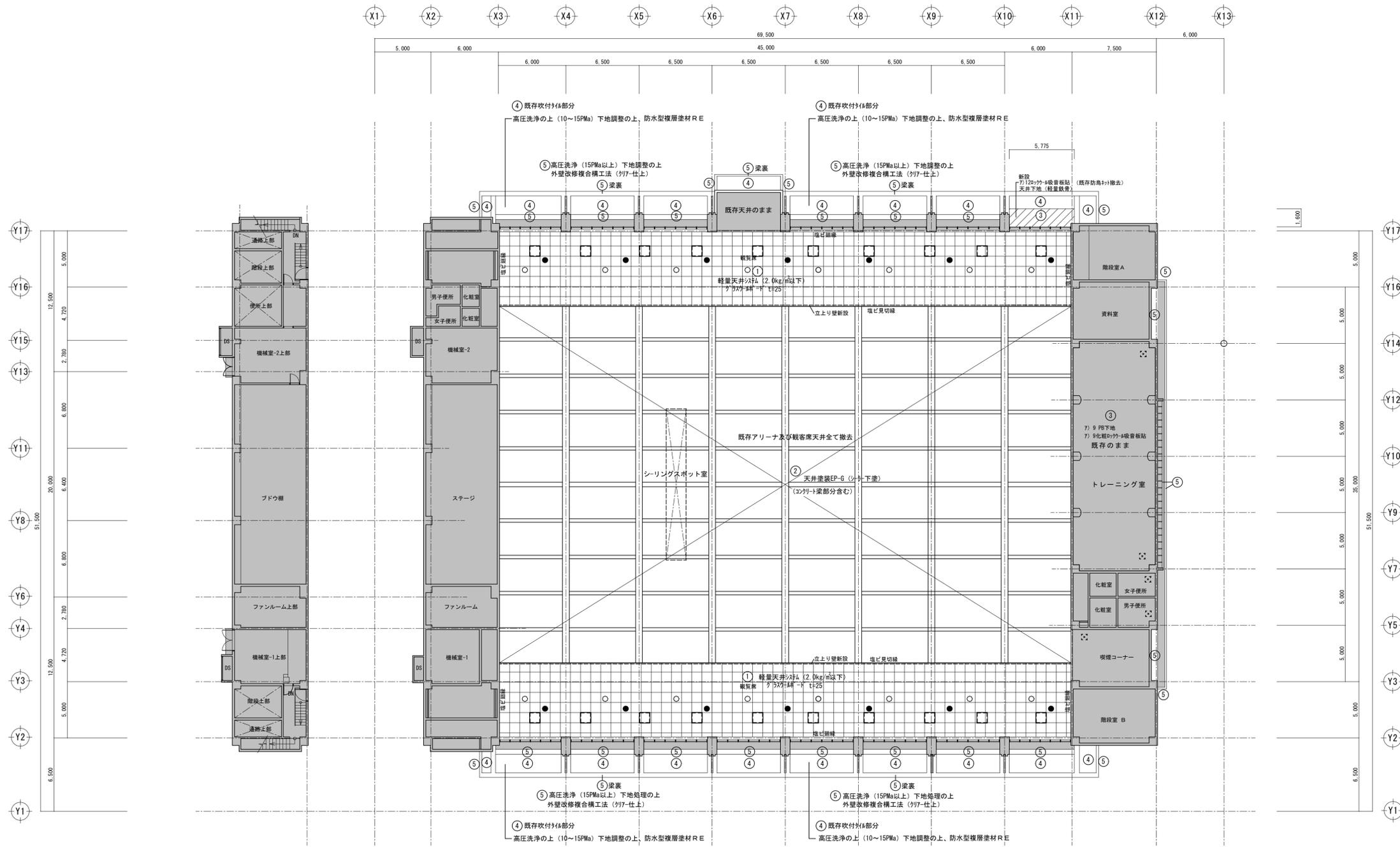
	天井仕上げ	廻り縁	天井高
①	軽量天井57A (2.0kg/m ² 以下) フラク45 t=25	塩ビ製	OH=5,500
②	木毛板 (スーパーパネル) t=30 天井塗装EP-0 (シーチ下塗) (コク11-2塗部分含む)		OH=13,000~ OH=17,900
③	軒裏 軒天地下 (軽量鉄骨) 7) 120ヶヶ-4吸音板 既存のまま		
④	階段裏 既存吹付914部分 高圧洗浄 (10~15PMa) 下地調整の上 防水型複層塗材RE		
⑤	外壁:452丁掛モザイクタイル貼り 既存 高圧洗浄 (15PMa以上) 下地調整の上 外壁改修複合構工法 (ク17-仕上)		
□	既存天井点検口		
■	既存天井撤去		
	化粧ガラス9ヶヶ-4吸音板貼 (6.4kg/m ² 以上) (表面塩ビ714A)		
	システム天井 化粧ガラスウール吸音板 t=25 表面塩ビフィルム貼り	塩ビ製	



現況 2階天井伏図 S=1:200

天井仕上げ		
①	7) 12 軒天用ロック-4吸音板張	
②	7) 9 石膏ボード下地 7) 9 ロック-4化粧吸音板張	2階(天井R付部分) 7) 9 石膏ボード下地 7) 15化粧ロック-4吸音板張
③	7) 9 石膏ボード下地 7) 9 ロック-4化粧吸音板張	
④	7) 6.5石膏ボード板 目隠シ張 VP	
⑤	コクリト打放シマ (一部木毛ボード打込)	
⑥	コクリト打放シ上 吹付タタ	
⑦	7) 6.8網入型板が3ス (トッパ3付)	
⑧	ブドウ棚(鉄骨)	
⑨	タタ貼	
⑩	7) 25 グラスウール吸音板(7&8ハット型加工法900×1800型)ウレ	
⑪	7) 9 化粧石膏ボード貼	
⑫	7) 25 無機質繊維吸音貼	

	天井仕上げ	張り継	天井高
①	化粧ロック-4吸音板貼 (6.4kg/㎡以上) (表面塩ビフィルム) 撤去		OH=10,000~ 13,500
⑧	システム天井 化粧グラスウール吸音板 t=25 表面塩ビフィルム貼り 撤去		OH=5,500
③	ロックウール化粧吸音板 t=9 石膏ボード下地 t=9.5	塩ビ製	OH=4,000

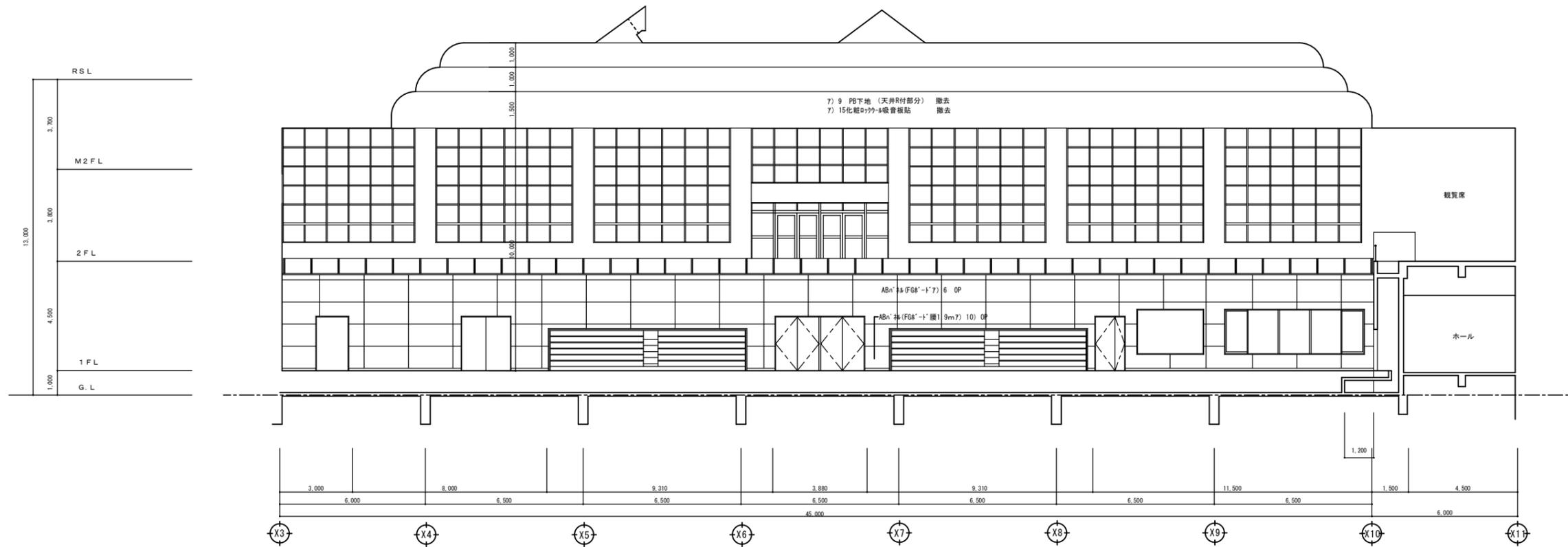


改修後 2階天井伏図 S=1:200

- = 空調機 開口補強 850×850
- = グラウト埋込 開口補強 400φ
- = 非常照明 開口補強 100φ
- (白) = 改修部分を示す
- (灰) = 既存部分を示す

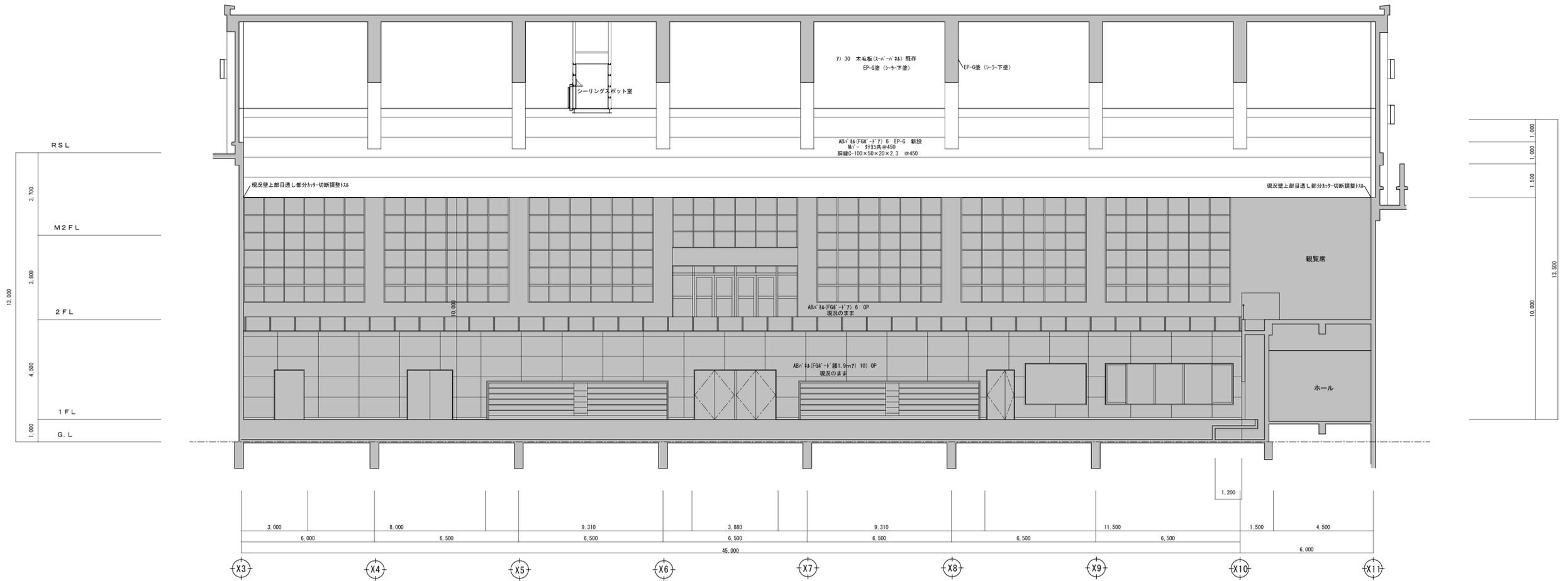
※ 建築外部工事及び防水工事別途とする

	天井仕上	廻り縁	天井高
①	軽量天井システム (2.0kg/m以下) グラウト埋込 t=25	塩ビ製	CH=5,500
②	木毛板 (スーパーパネル) t=30 天井塗装EP-G (ラテ下塗) (コクリト梁部分含む)		CH=13,000~ CH=17,900
③	軒裏 軒天下地 (軽量鉄骨) 7) 12φ鋼管吸音板		
④	軒裏 既存吹付け体部分 高圧洗浄 (10~15MPa) 下地調整の上 防水型複層塗材 RE		
⑤	外壁: 45.2丁掛モザイクタイル貼り 高圧洗浄 (15MPa以上) 下地処理の上 外壁改修複合構工法 (クア7-仕上) 梁裏 既存天井点検口		
	既存天井撤去		
	化粧ガラス吸音板 (6.4kg/m以上) (表面塩ビフィルム)		
	システム天井 化粧ガラスウール吸音板 t=25 表面塩ビフィルム貼り	塩ビ製	



現況 東展開図 S=1:100

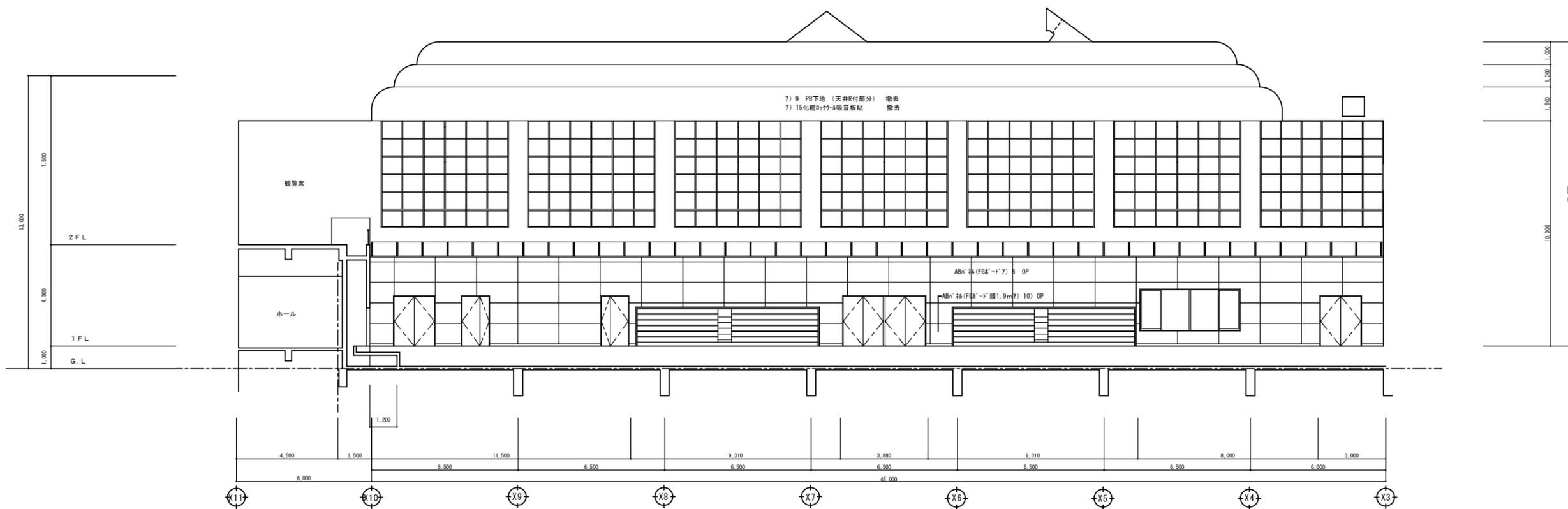
特記事項	田頭一級建築設計事務所 福岡県行橋市北東四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 現況 東展開図	縮尺 S=1/100	製図年月日	2020年 7月	
					所長	検図	作図
							A-22



改修後 東展開図 S=1:100

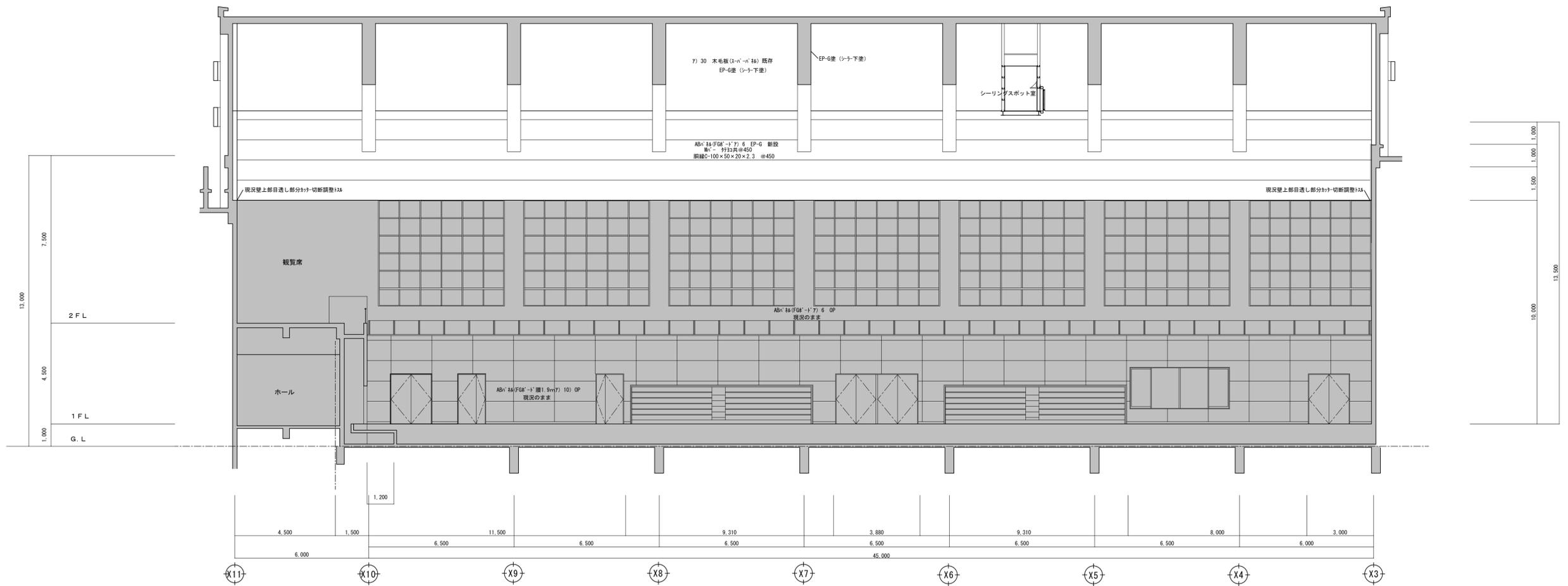
□ = 改修部分を示す
 ■ = 既存部分を示す

特記事項	田頭一級建築設計事務所 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称	行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	製図年月日	2020年 7月
			図面名称	改修後 東展開図	所長	検 査
			縮尺	S=1/100		



現況 西展開図 S=1:100

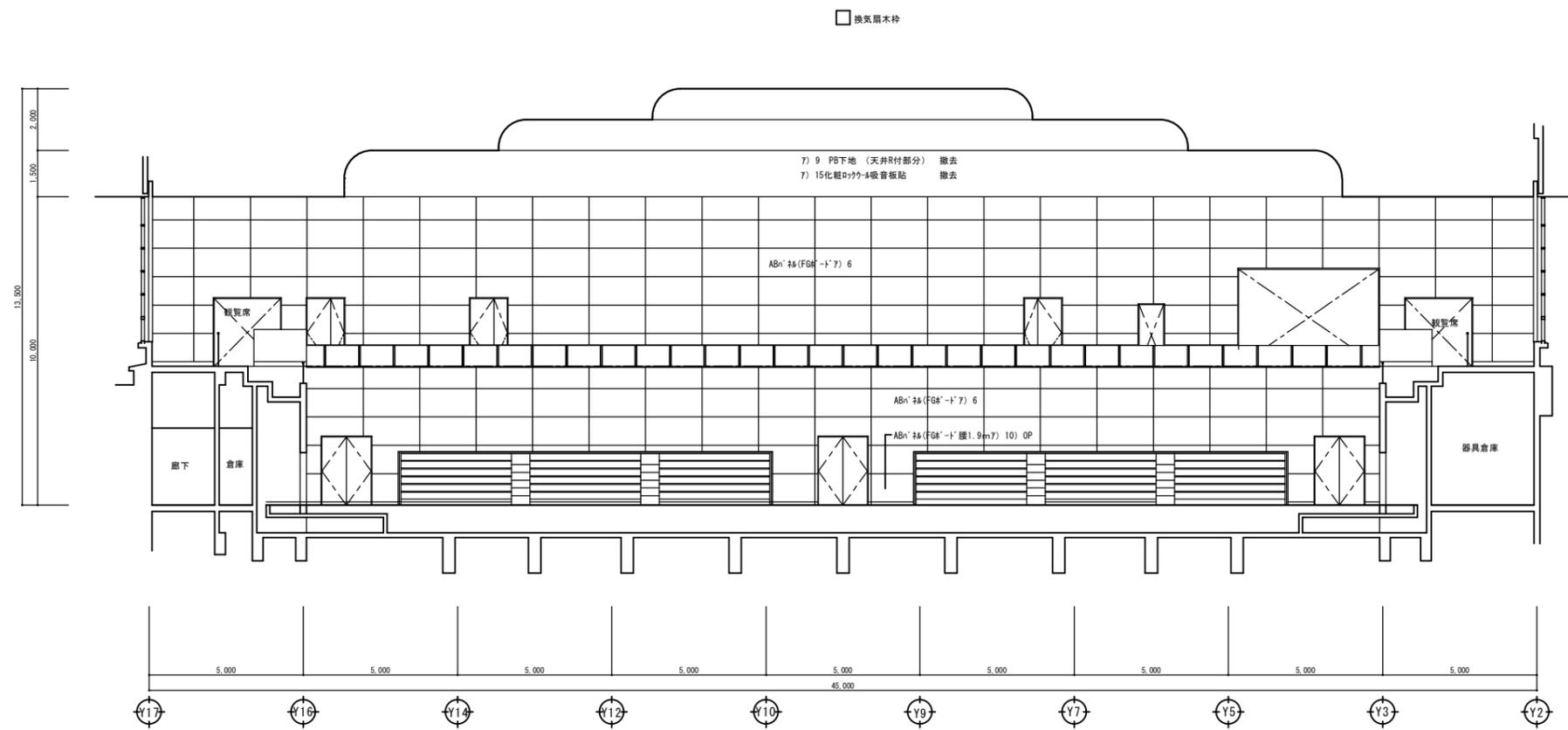
特 記 欄	田頭一級建築設計事務所 福岡県行橋市北原四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺 S=1/100	製図年月日 2020年 7月		
					所長	検 図	作 図
			図面名称 現況 西展開図				A-24



改修後 西展開図 S=1:100

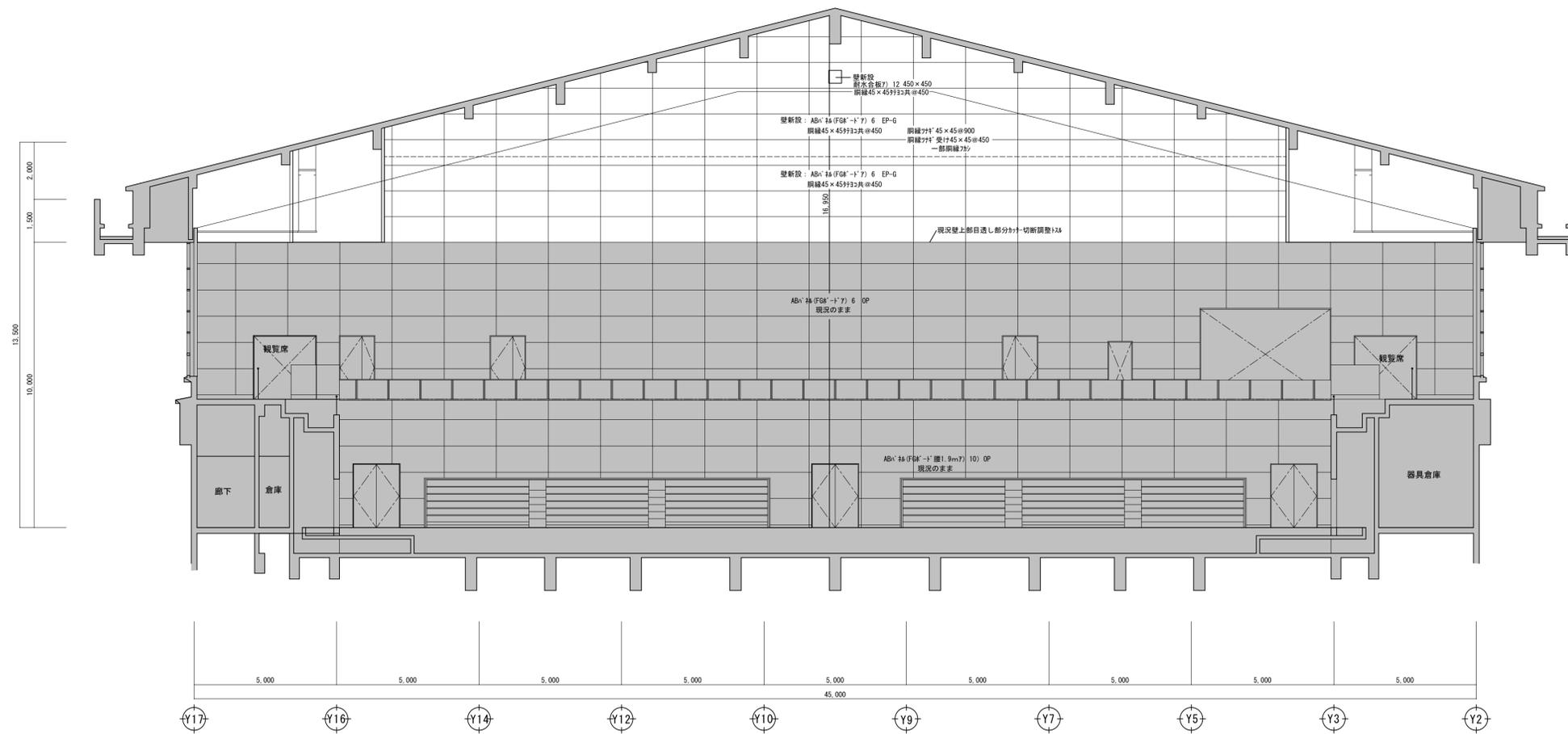
□ = 改修部分を示す
 ■ = 既存部分を示す

特記事項	田頭一級建築設計事務所		福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444		一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺 S=1/100	製図年月日 2020年 7月	所長 換図 作図	A-25
						図面名称 改修後 西展開図				



現況 南展開図 S=1:100

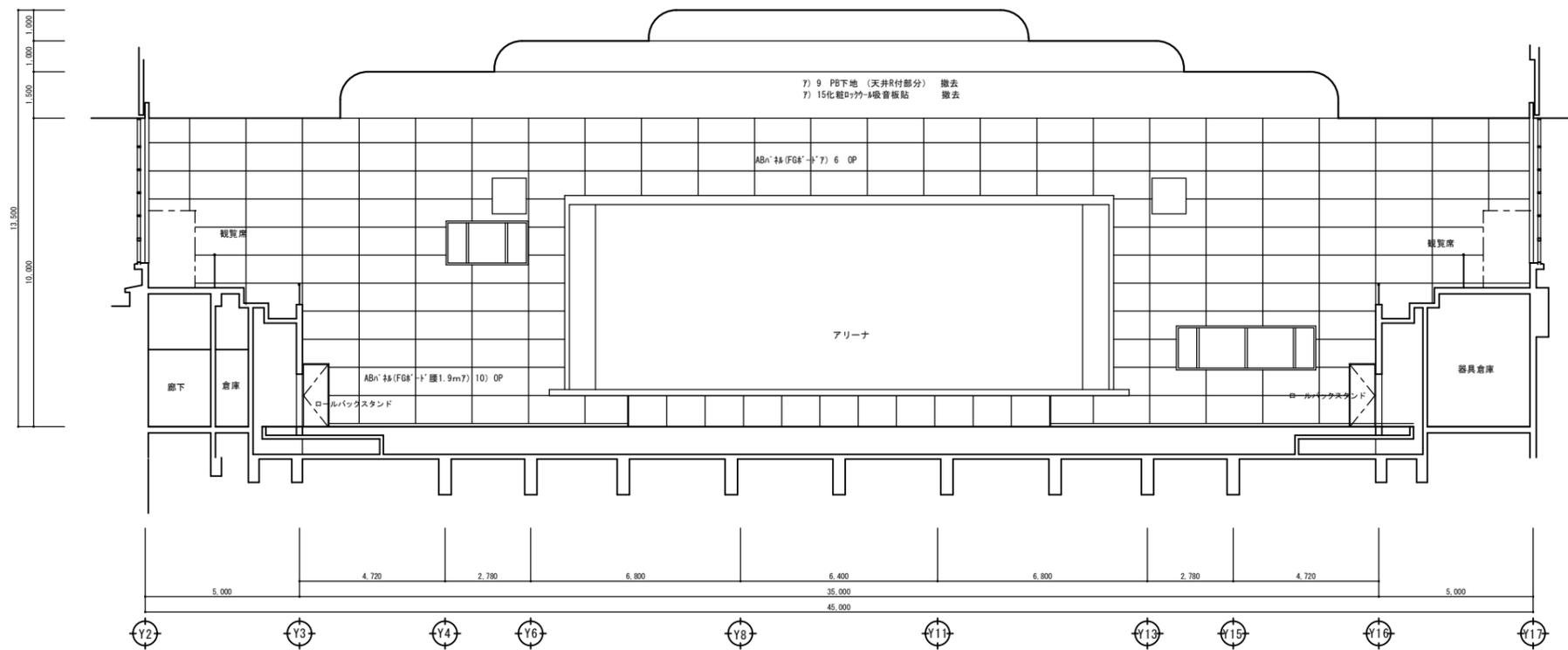
特記事項	田頭一級建築設計事務所 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 現況 南展開図	縮尺 S=1/100	製図年月日	2020年 7月	
					所長	検図	作図



改修後 南展開図 S=1:100

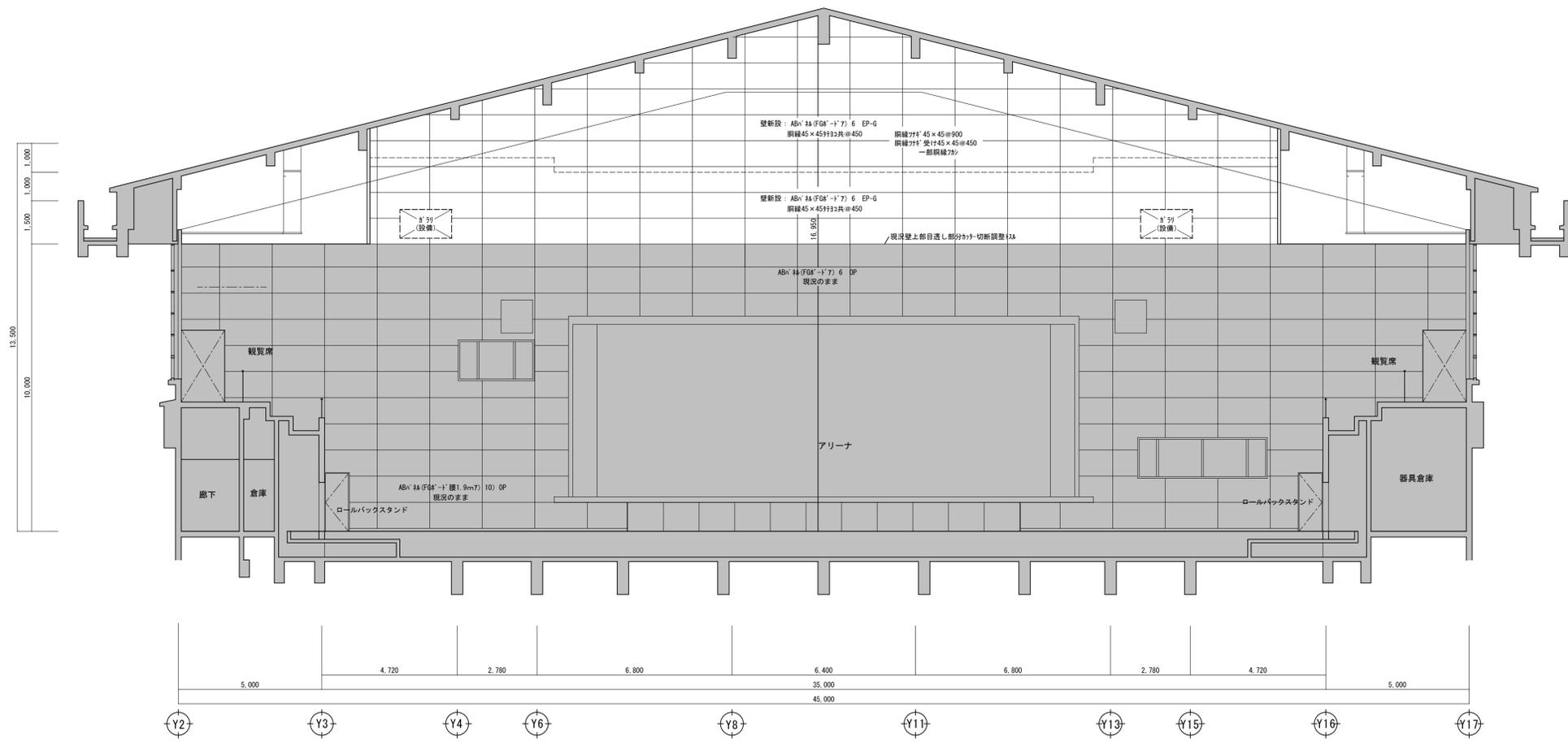
□ = 改修部分を示す
 ■ = 既存部分を示す

特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称	行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺	製図年月日	2020年 7月
			図面名称	改修後 南展開図		S=1/100	所長



現況 北展開図 S=1:100

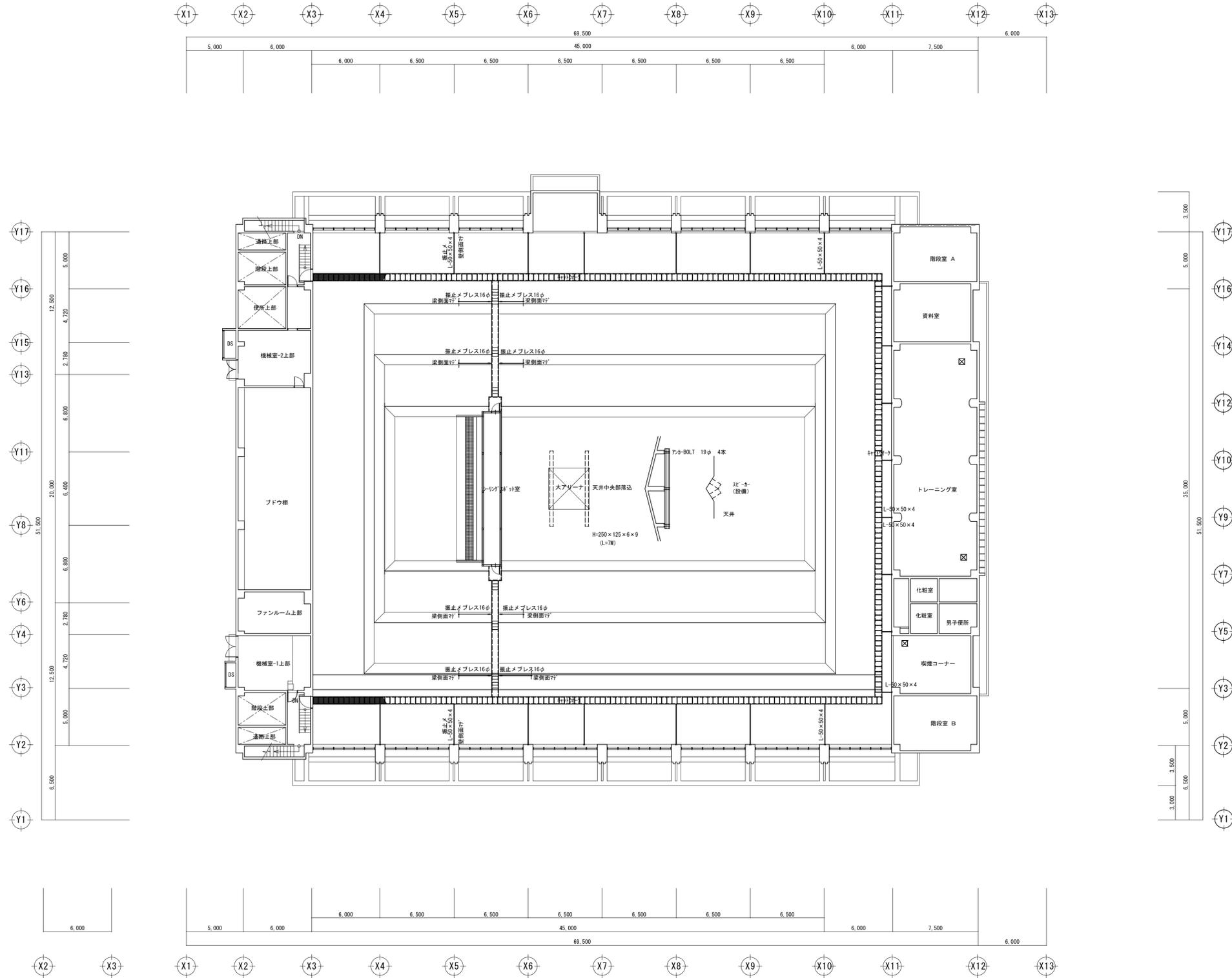
特記事項 備考	田頭一級建築設計事務所 福岡県行橋市北東四丁目28-16 TEL 0930-25-3444		一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大原登録第126902号		工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺 S=1/100	製図年月日 2020年 7月		
			図面名称 現況 北展開図		所長 検図 作図				



改修後 北展開図 S=1:100

□ = 改修部分を示す
 ■ = 既存部分を示す

特記事項	田頭一級建築設計事務所 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称	行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺 S=1/100	製図年月日	2020年 7月	A-29
			図面名称	改修後 北展開図		所長	概図	



現況 点検通路平面図 S=1:200

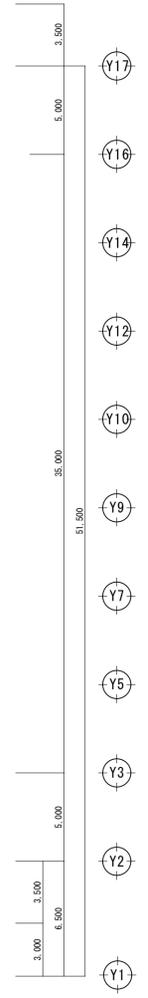
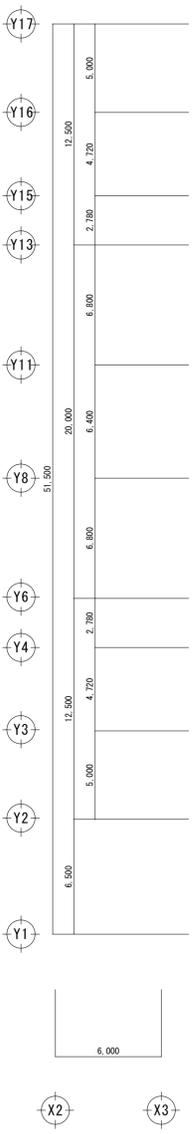
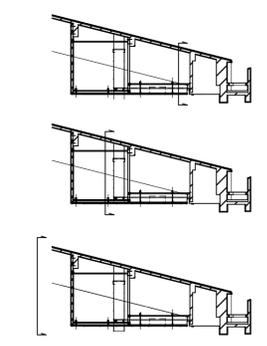
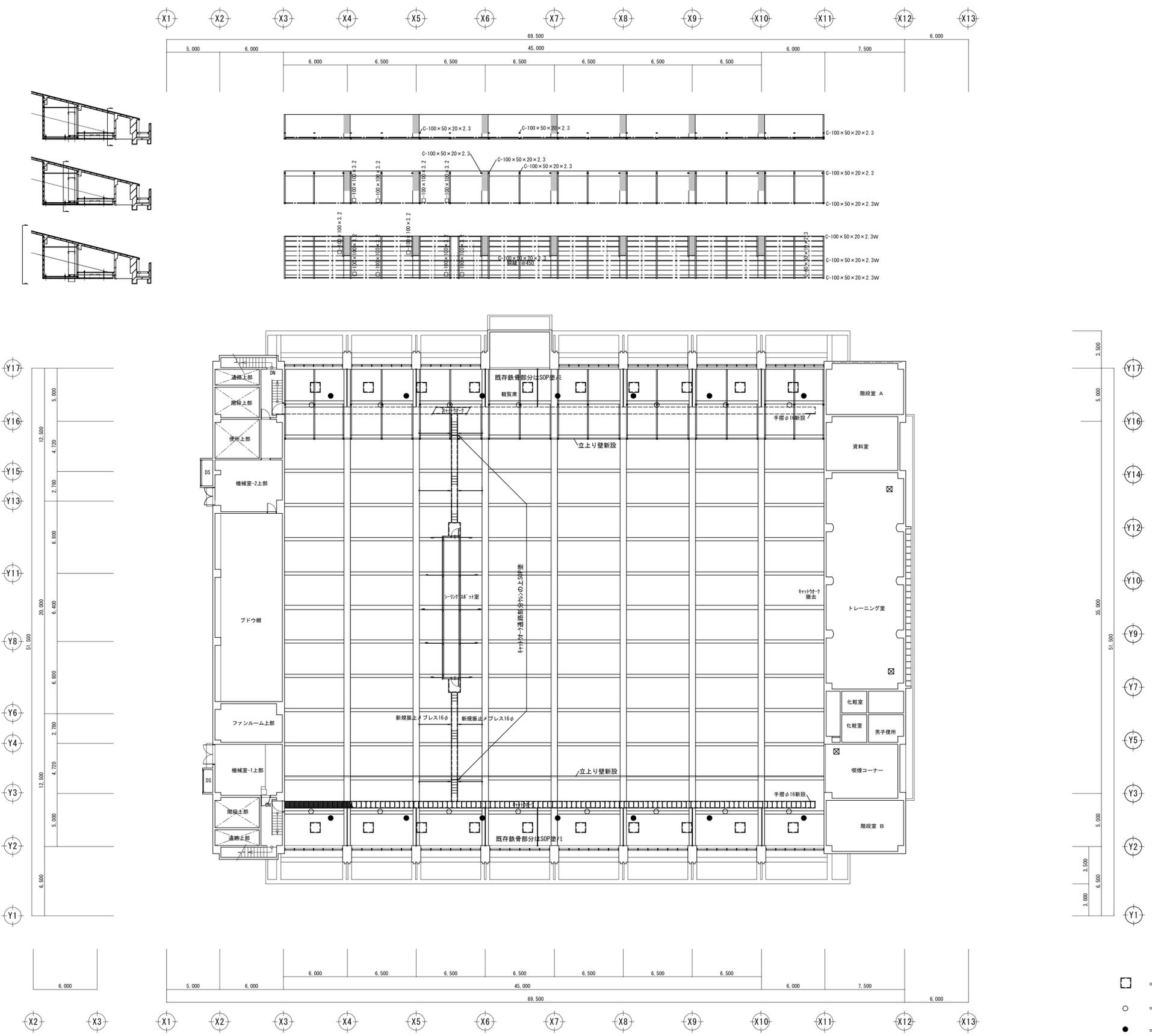
☒ 既存天井点検口

特記事項

田頭一級建築設計事務所	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号
福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号

工事名称	行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
図面名称	現況 点検通路平面図

縮尺	製図年月日		
	所長	検図	2020年 7月 作図
S=1/200			



改修後 点検通路平面図 S=1:200

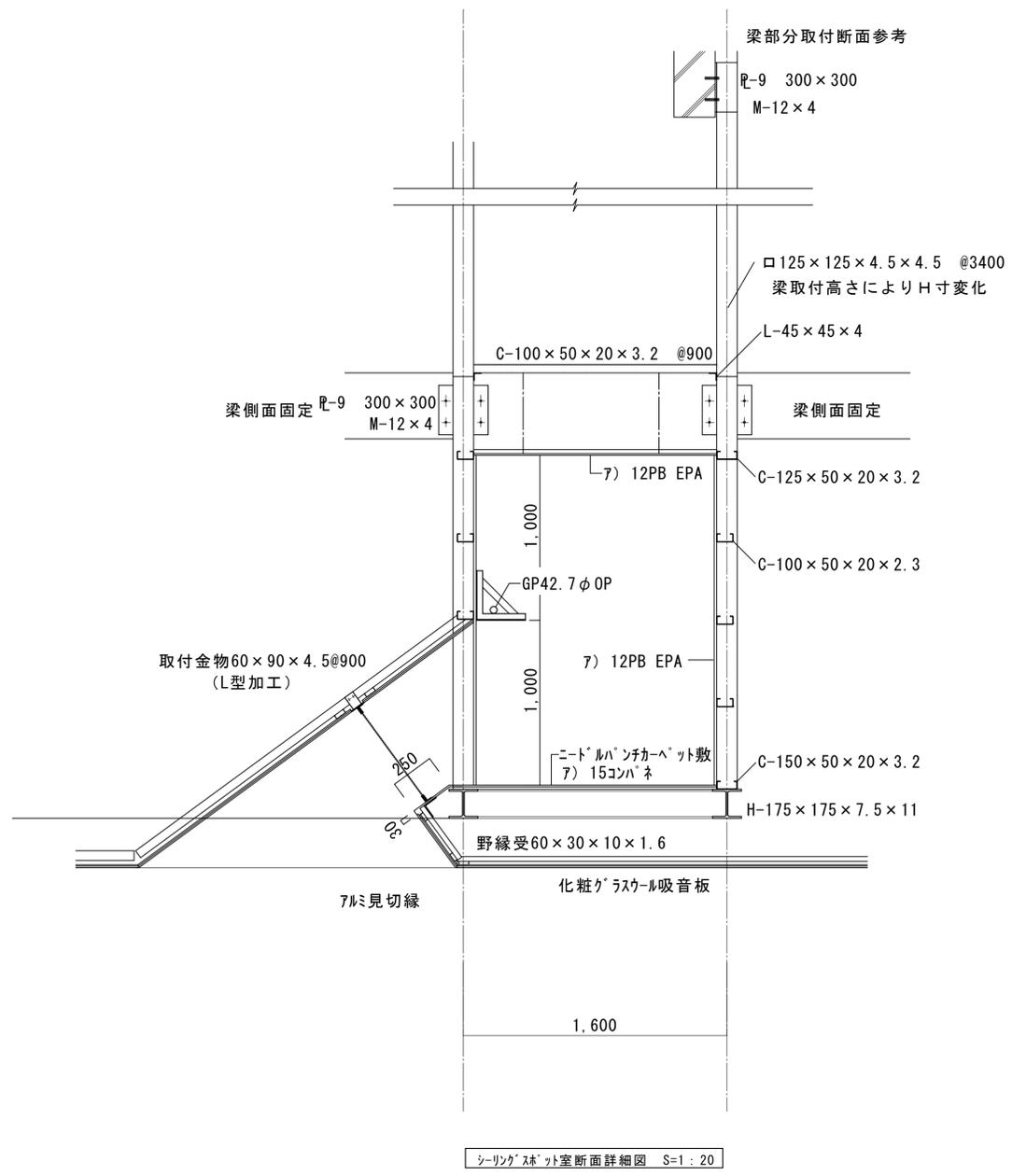
- =空調機 開口補強 850×850
- =ダクト埋込 開口補強 400φ
- =非常照明 開口補強 100φ
- =既存天井点検口

特記事項

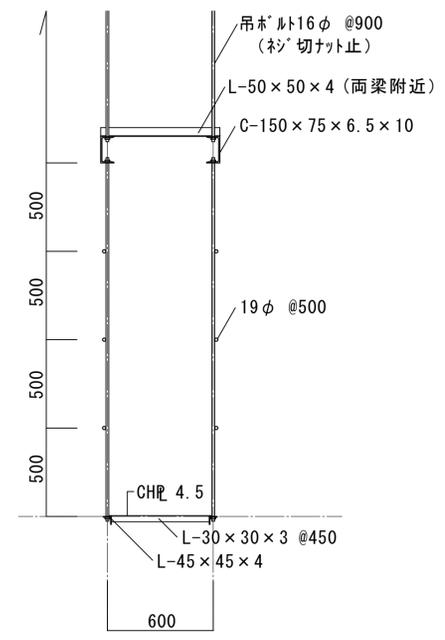
田頭一級建築設計事務所
 一級建築士事務所
 福岡県知事登録第1-20466号
 福岡県行橋市北泉四丁目28-16
 TEL 0930-25-3444
 田頭 康典
 一級建築士 大臣登録第126902号

工事名称 **行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事**
 図面名称 **改修後 点検通路平面図**

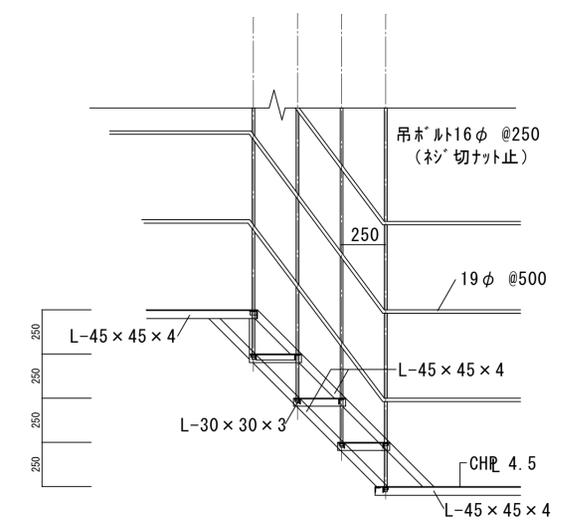
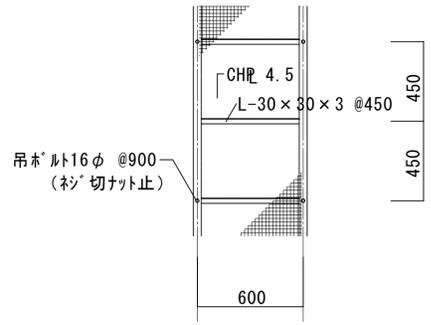
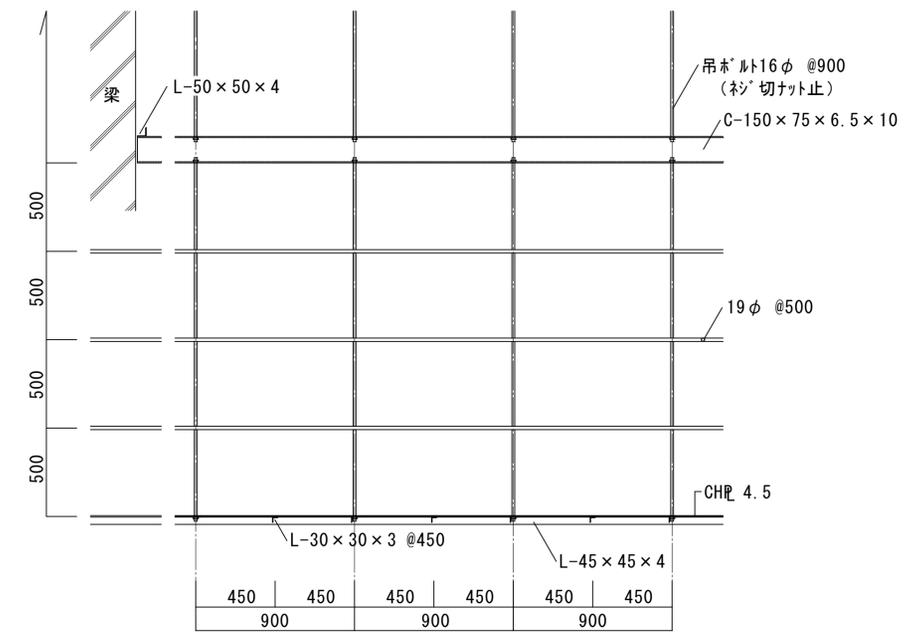
縮尺 S=1/200	製図年月日	2020年 7月	
	所長	検図	作図



屋根スラブアンカー

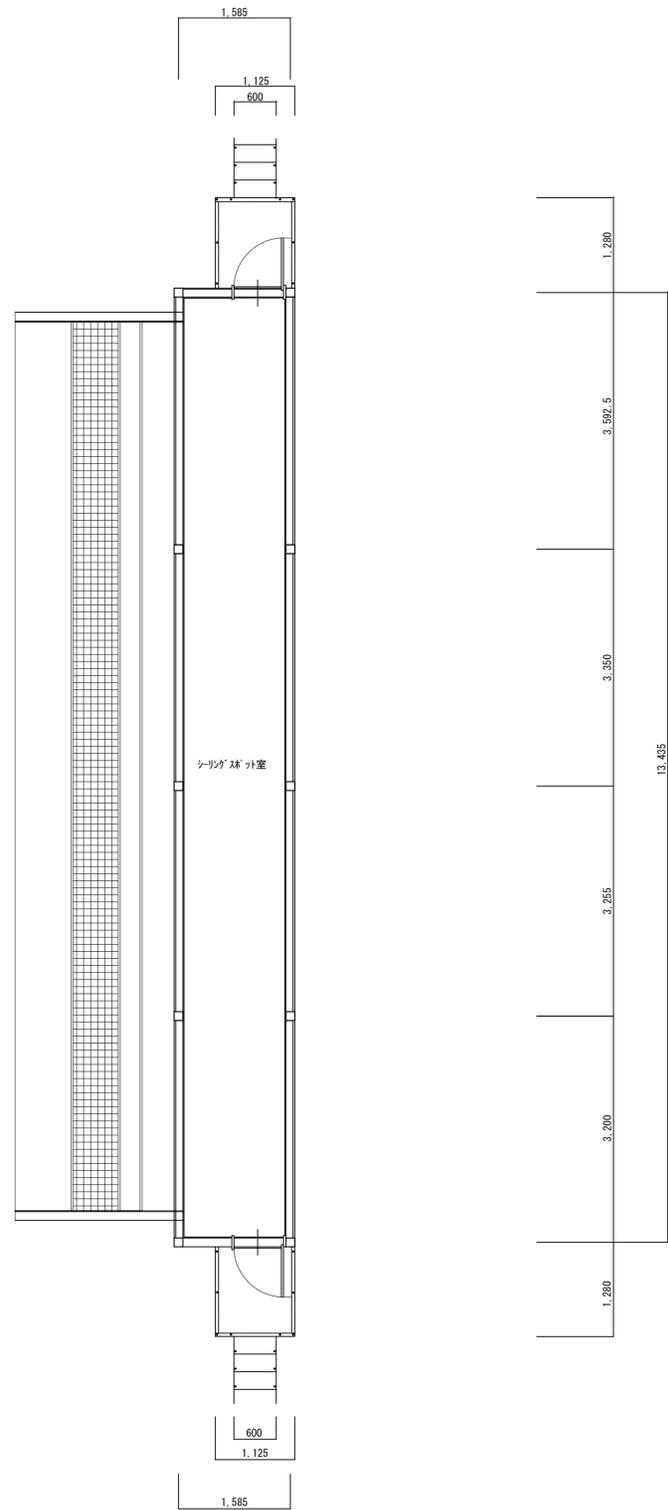


屋根スラブアンカー

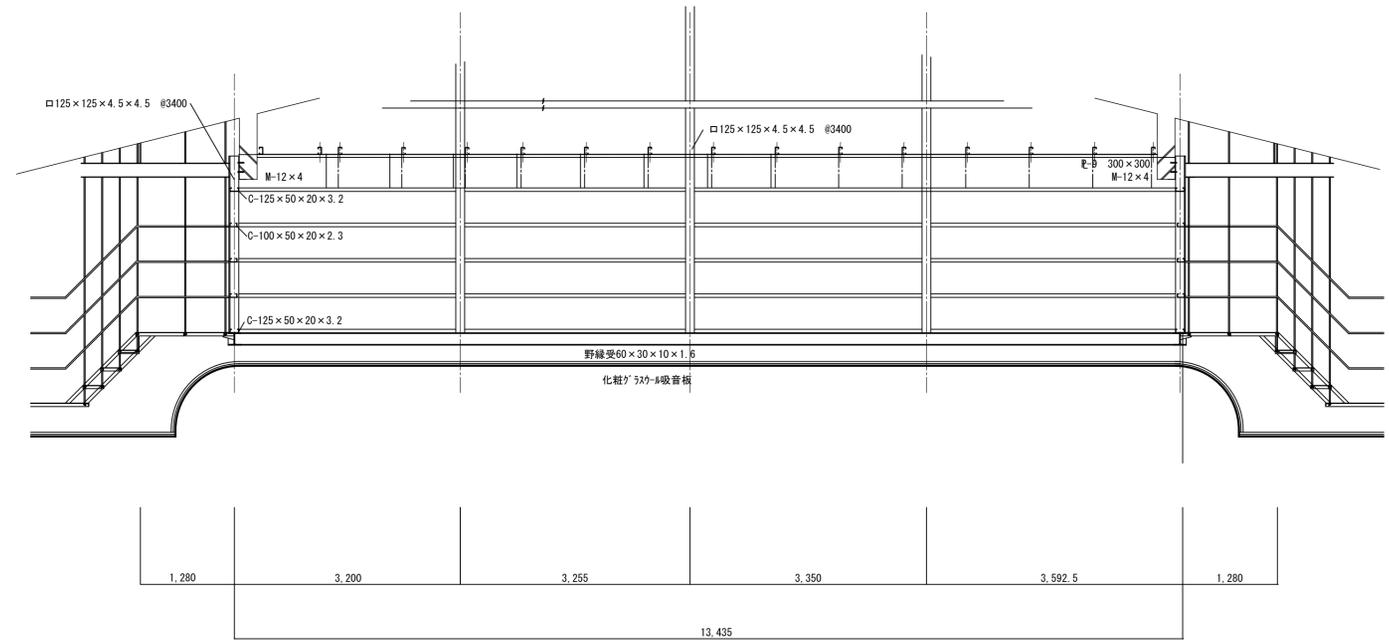


現況 各詳細図 S=1:20

特記事項	田頭一級建築設計事務所	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北東四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺 S=1/20	製図年月日 2020年 7月	所長 検査 作図	A-32
	図面名称 現況 通路平面、断面詳細図							



シーリング' スト' ット室平面詳細図 S=1 : 50



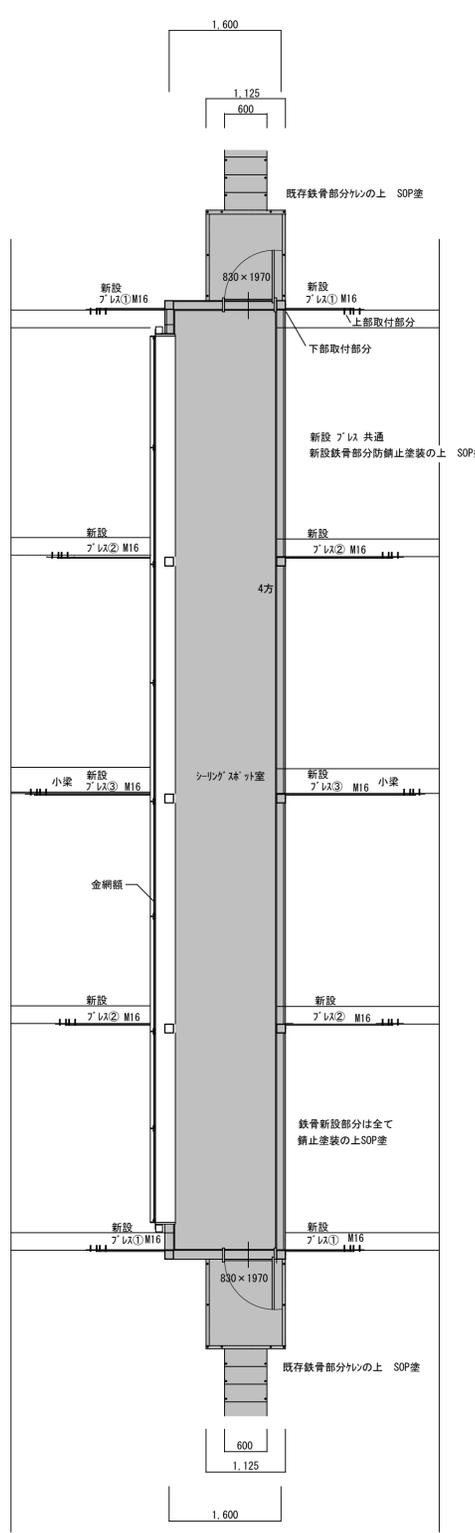
シーリング' スト' ット室側面詳細図 S=1 : 50

特 記 事 項	

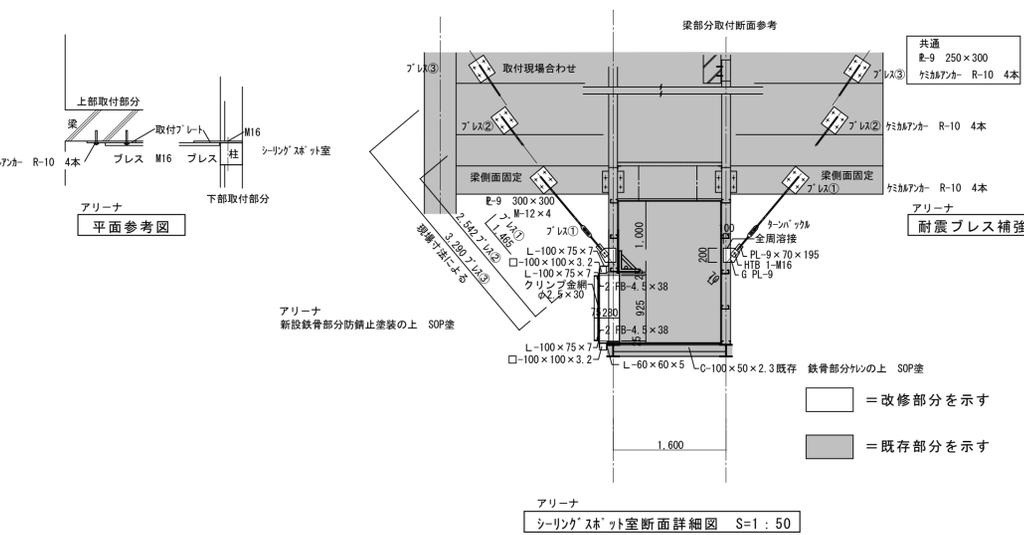
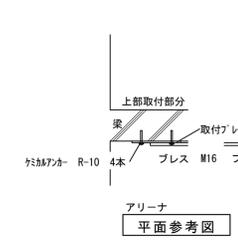
田頭一級建築設計事務所
 一級建築士事務所
 福岡県知事登録第1-20466号
 福岡県行橋市北泉四丁目28-16
 TEL 0930-25-3444
 田頭 康典
 一級建築士 大臣登録第126902号

工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
 図面名称 現況 シーリング' スト' ット室平面・側面詳細図

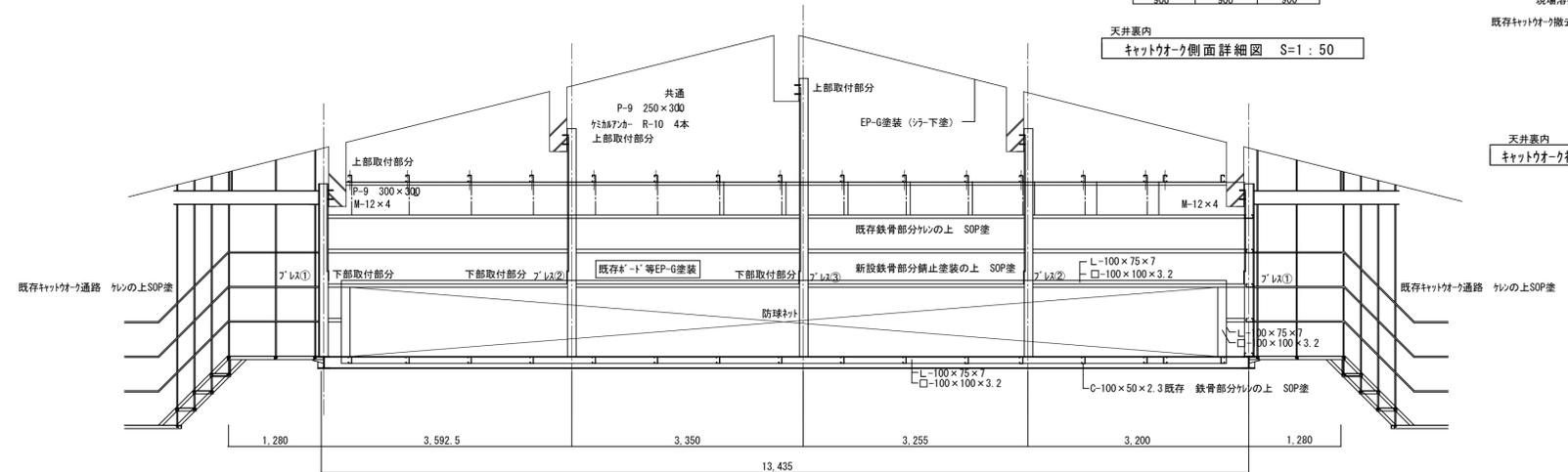
縮尺 S=1/50	製図年月日	2020年 7月		
	所長	検図	作図	



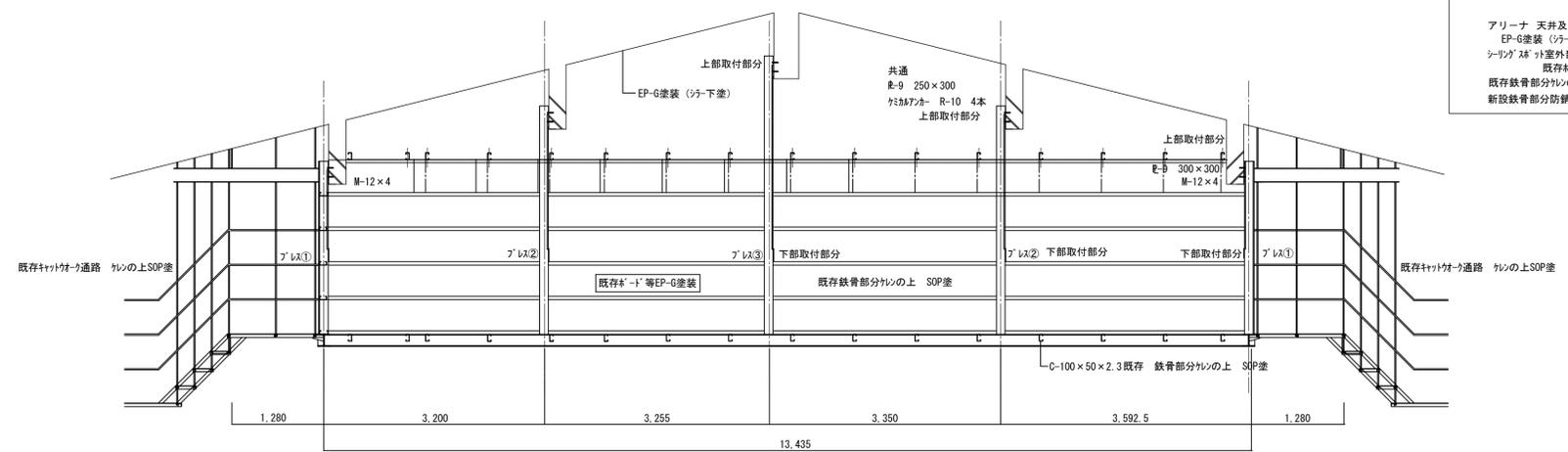
アリーナ
シーリング・スチール室平面詳細図 S=1:50



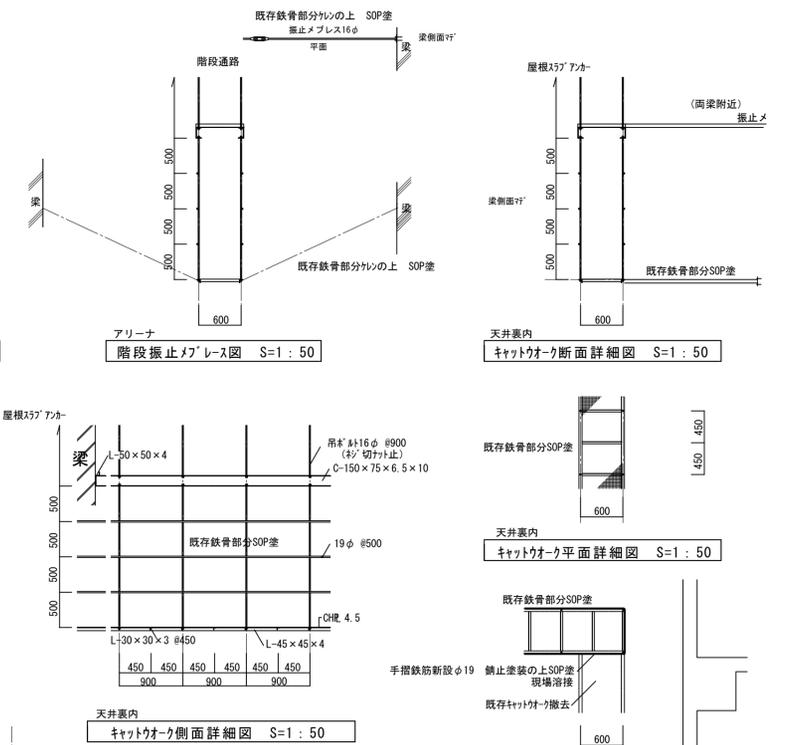
アリーナ
シーリング・スチール室断面詳細図 S=1:50



アリーナ
シーリング・スチール室側面詳細図 S=1:50



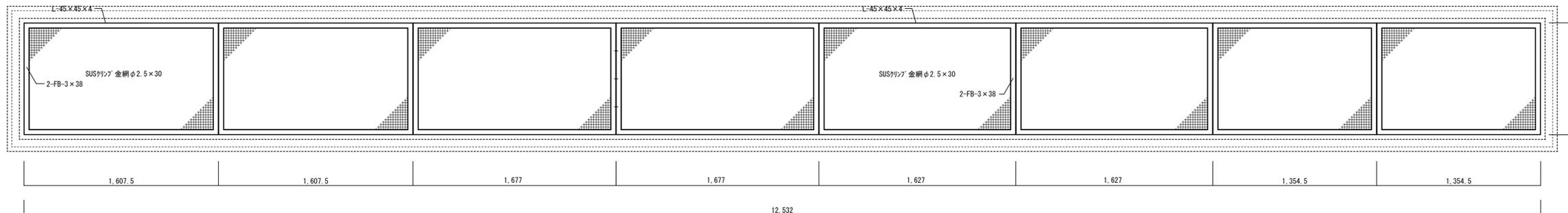
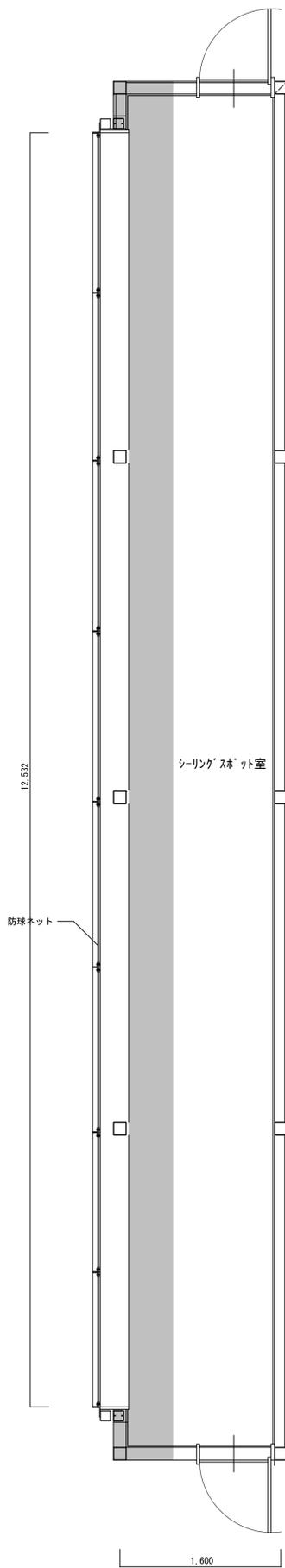
アリーナ
シーリング・スチール室側面詳細図 S=1:50



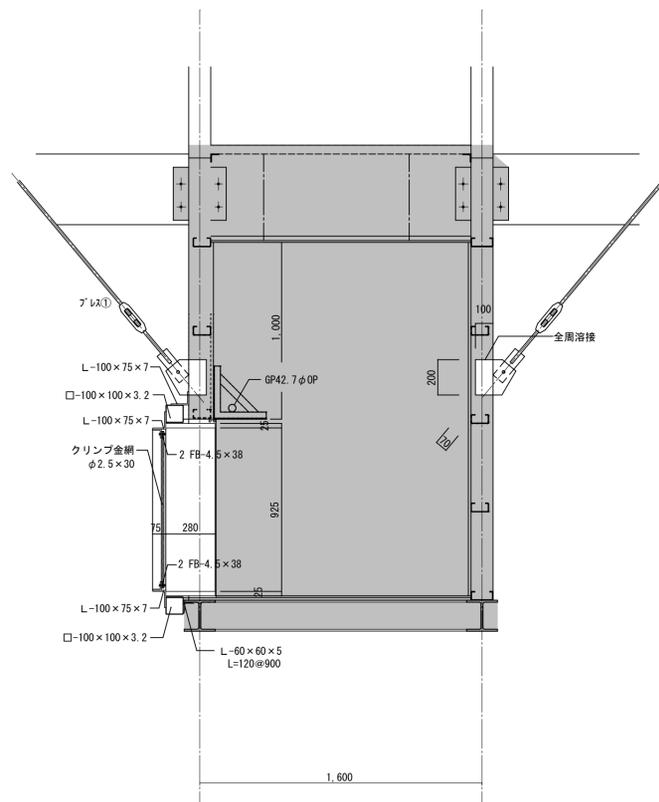
共通事項
 新設 天井裏内：既存鉄骨部分SOP塗
 アリーナ 天井及び梁部分
 EP-G塗装（下下塗）
 シーリング・スチール室外部
 既存鉄骨部分
 既存鉄骨部分錆止塗装の上 SOP塗
 新設鉄骨部分錆止塗装の上 SOP塗

改修後 各詳細図 S=1:50

特記事項	田頭一級建築設計事務所	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺 S=1/50	製図年月日 2020年 7月	所長 検 図 作 図
	図面名称 改修後 シーリング・スチール室等平面、側面詳細図						



防球ネット(外観) S=1:20



断面図 S=1:20

平面図 S=1:30

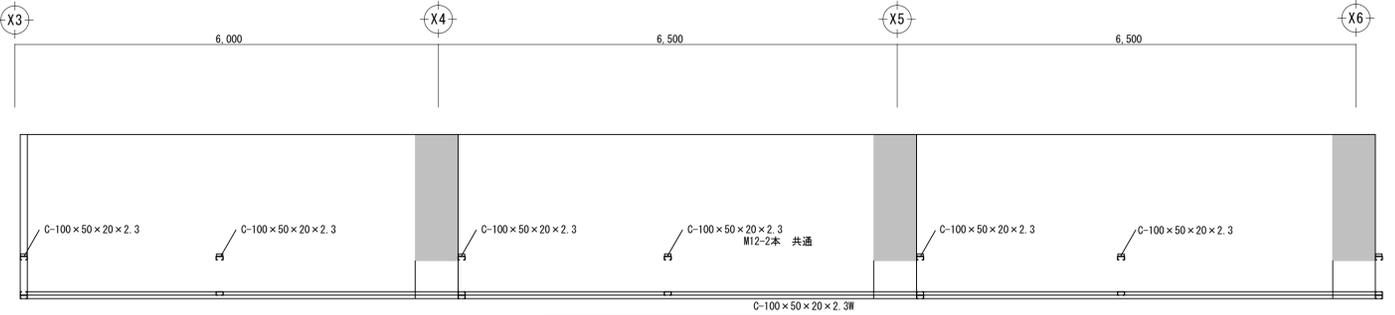
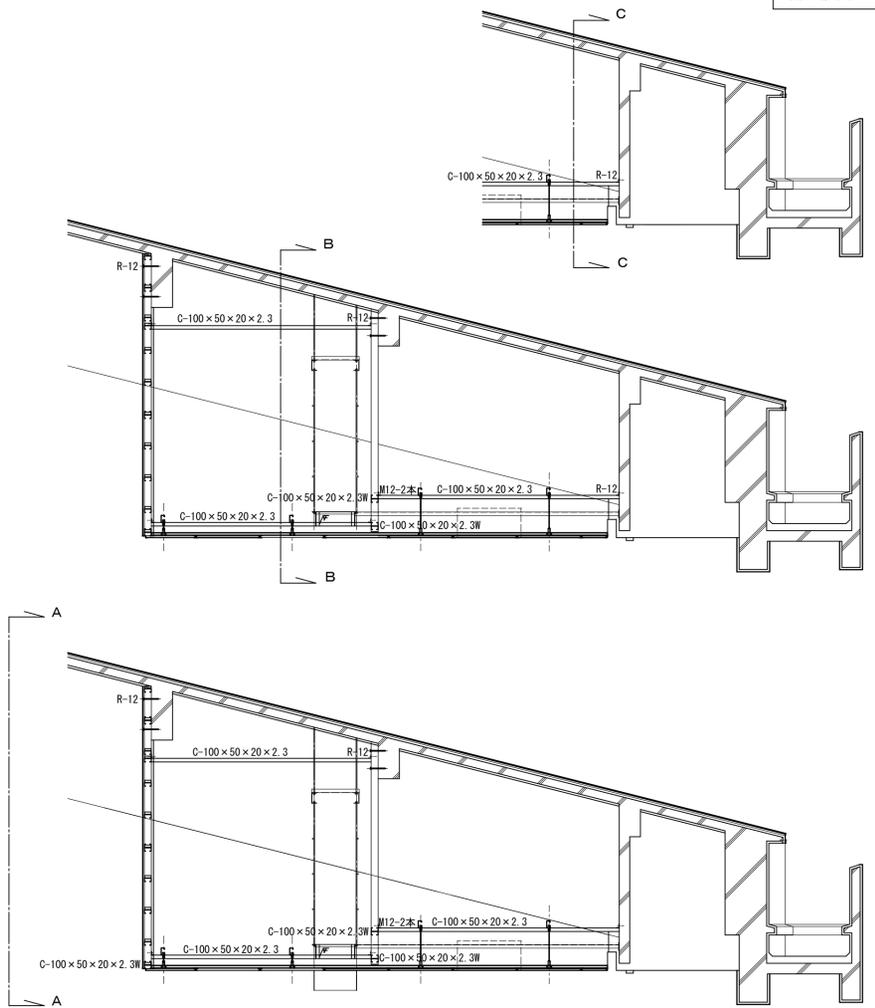
特記事項

田頭一級建築設計事務所
 一級建築士事務所
 福岡県知事登録第1-20466号
 福岡県行橋市北泉四丁目28-16
 TEL 0930-25-3444
 田頭 康典
 一級建築士 大臣登録第126902号

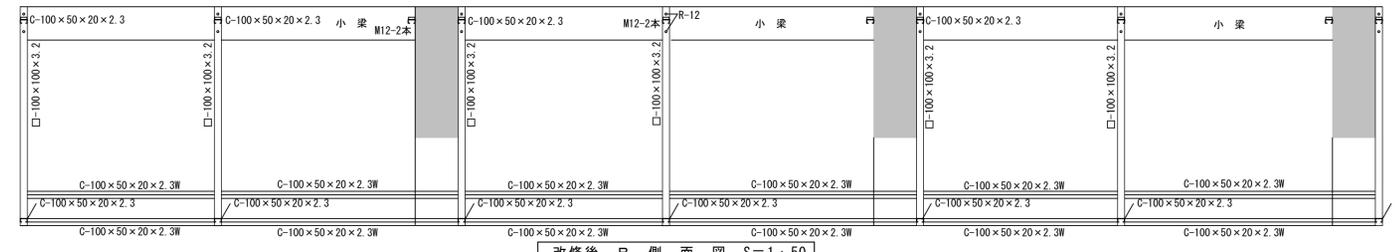
工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
 図面名称 改修後 防球ネット

縮尺 S=1/20 S=1/30	製図年月日	2020年 7月	
	所長	検図	作図

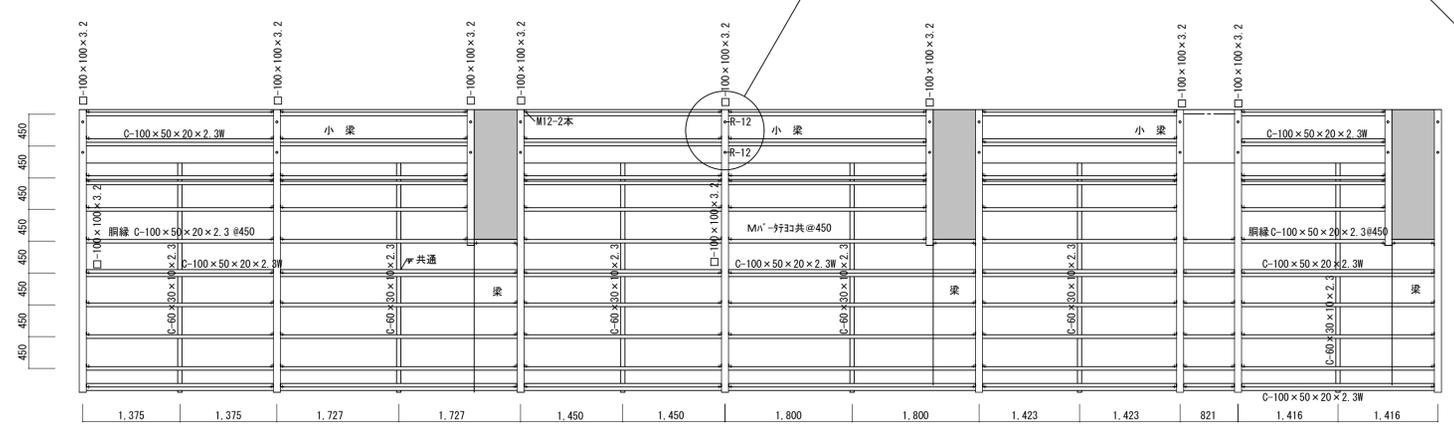
新設鉄骨部分錆止塗装の上SOP塗とする
既存鉄骨部分SOP塗とする



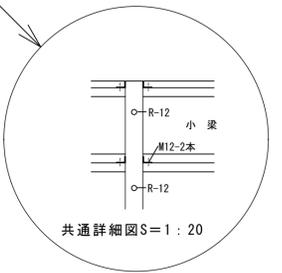
改修後 C 側面図 S=1:50



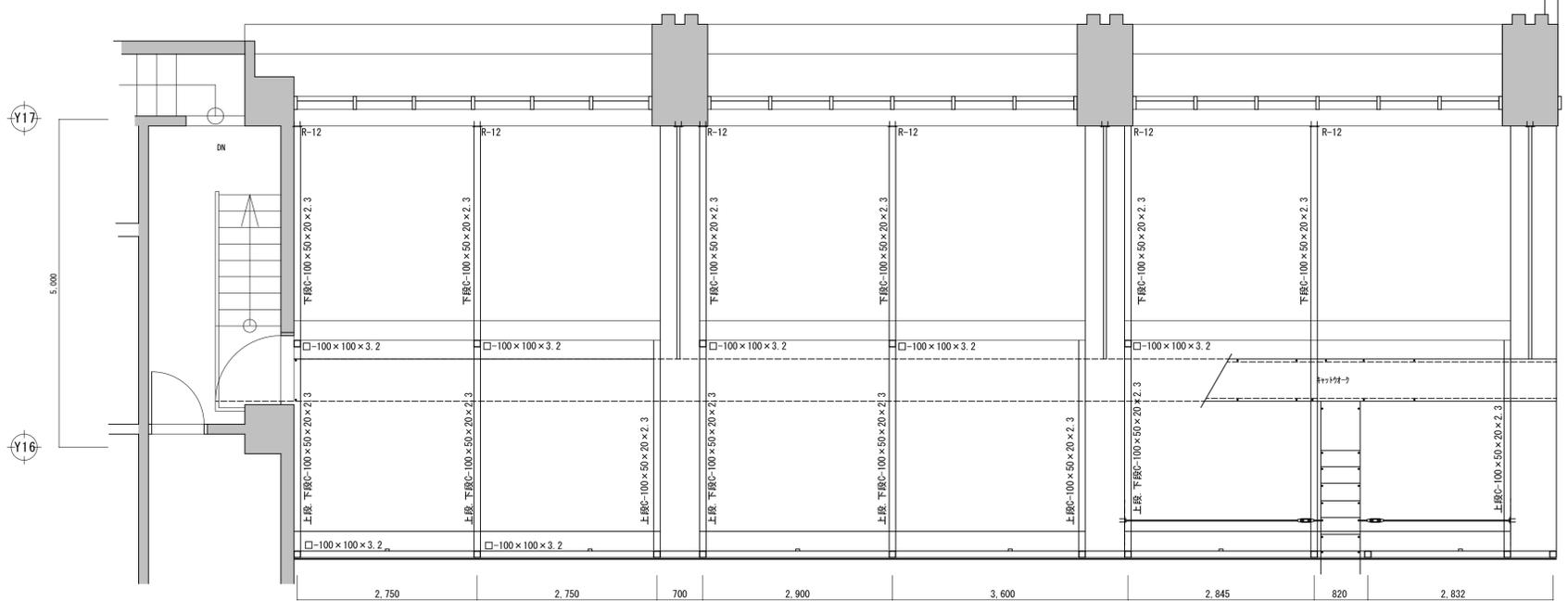
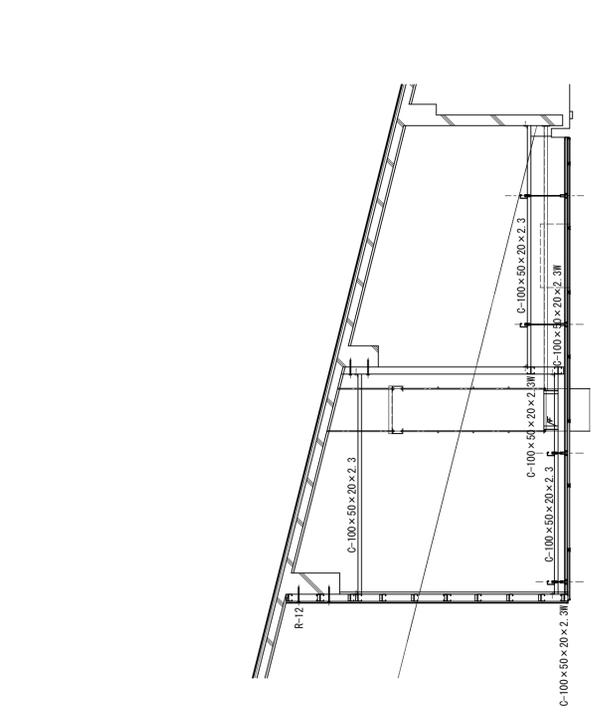
改修後 B 側面図 S=1:50



改修後 A 側面図 S=1:50

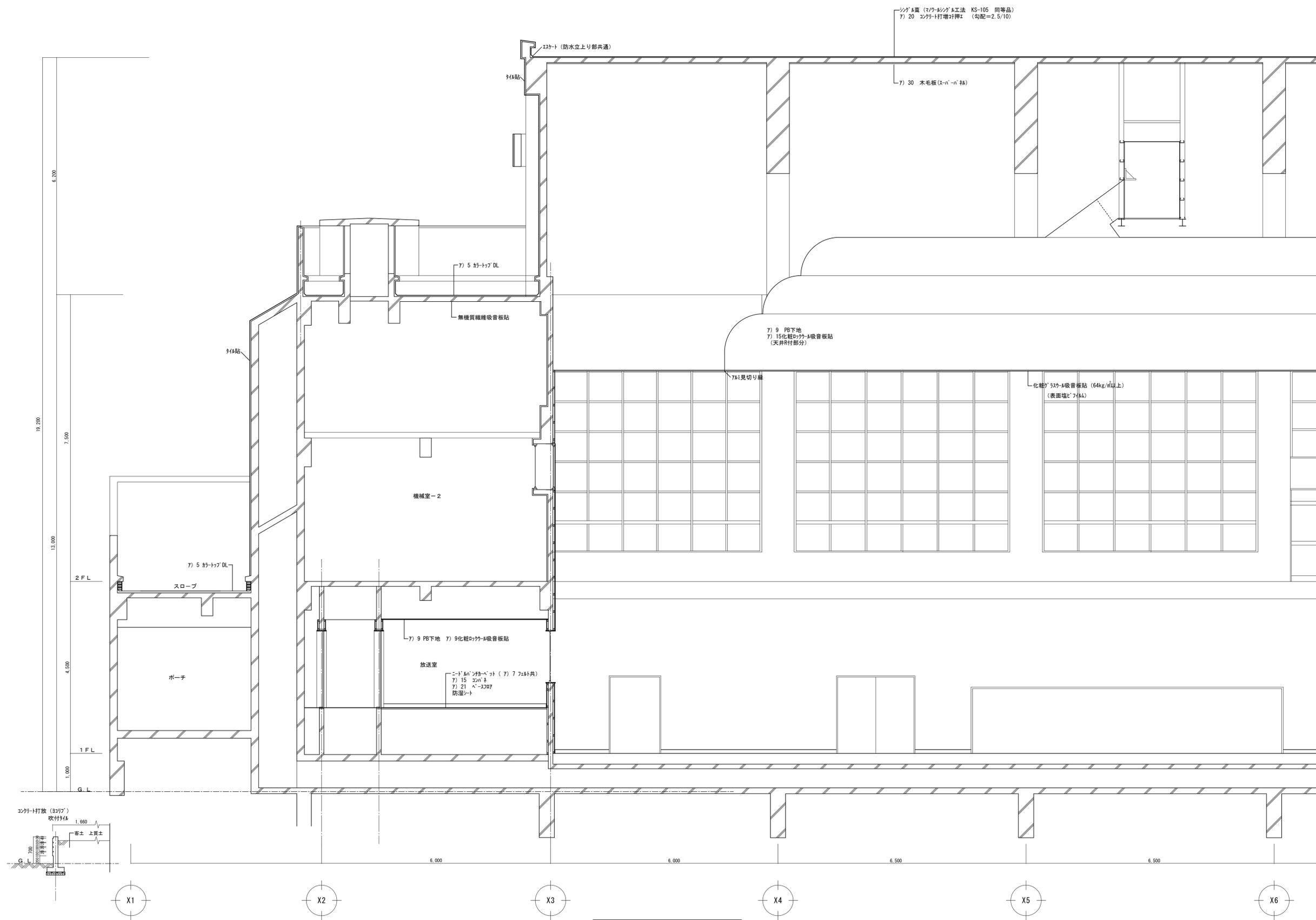


共通詳細図 S=1:20



改修後 平面図 S=1:50

特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 縮尺 S=1/50 S=1/20	製図年月日	2020年 7月	
			所長	検図	作図
		図面名称 改修後 下がり壁詳細図			



現況 東西断面詳細図-1 S=1:50

特記事項	
------	--

田頭一級建築設計事務所
 福岡県行橋市北泉四丁目28-16
 TEL 0930-25-3444

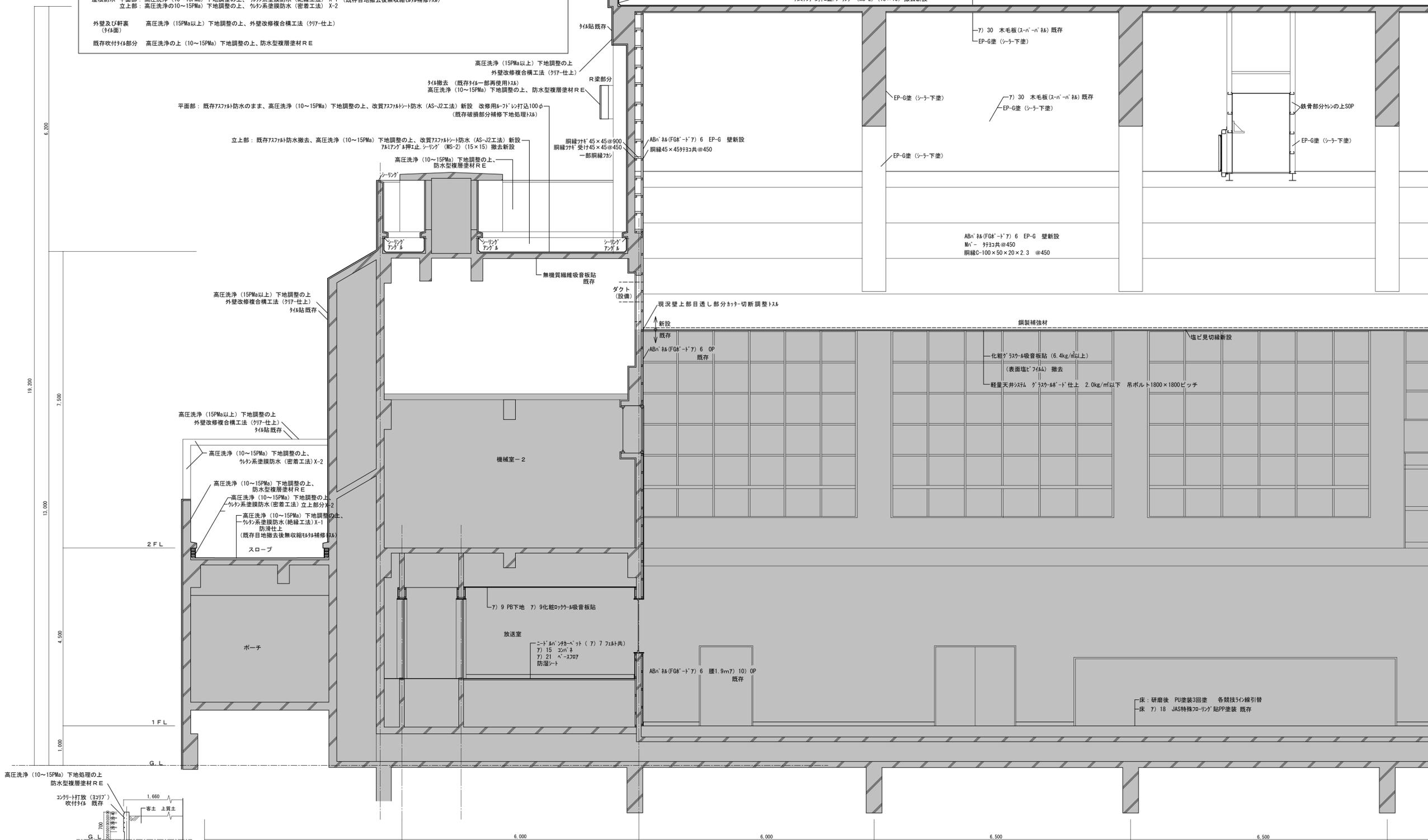
一級建築士事務所
 福岡県知事登録第1-20466号
 田頭 康典
 一級建築士 大臣登録第126902号

工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
 図面名称 現況 東西断面詳細図-1

縮尺 S=1/50	製図年月日	2020年 7月		
	所長	検図	作図	

屋根防水 平面部: シンク既存のまま、高圧洗浄(10~15MPa)下地調整の上、改質777防水常温粘着工法(AS-J2工法)新設(脱気筒付)(既存破損部分補修下地処理)Xä
 立上部: 既存777防水撤去、高圧洗浄(10~15MPa)下地調整の上、改質777防水(AS-J2工法)新設(脱気筒付) 改修用レフトレ込込100φ
 777防水撤去、高圧洗浄(10~15MPa)下地調整の上、改質777防水(AS-J2工法)新設(脱気筒付) 改修用レフトレ込込100φ
 777防水撤去、高圧洗浄(10~15MPa)下地調整の上、改質777防水(AS-J2工法)新設(脱気筒付) 改修用レフトレ込込100φ

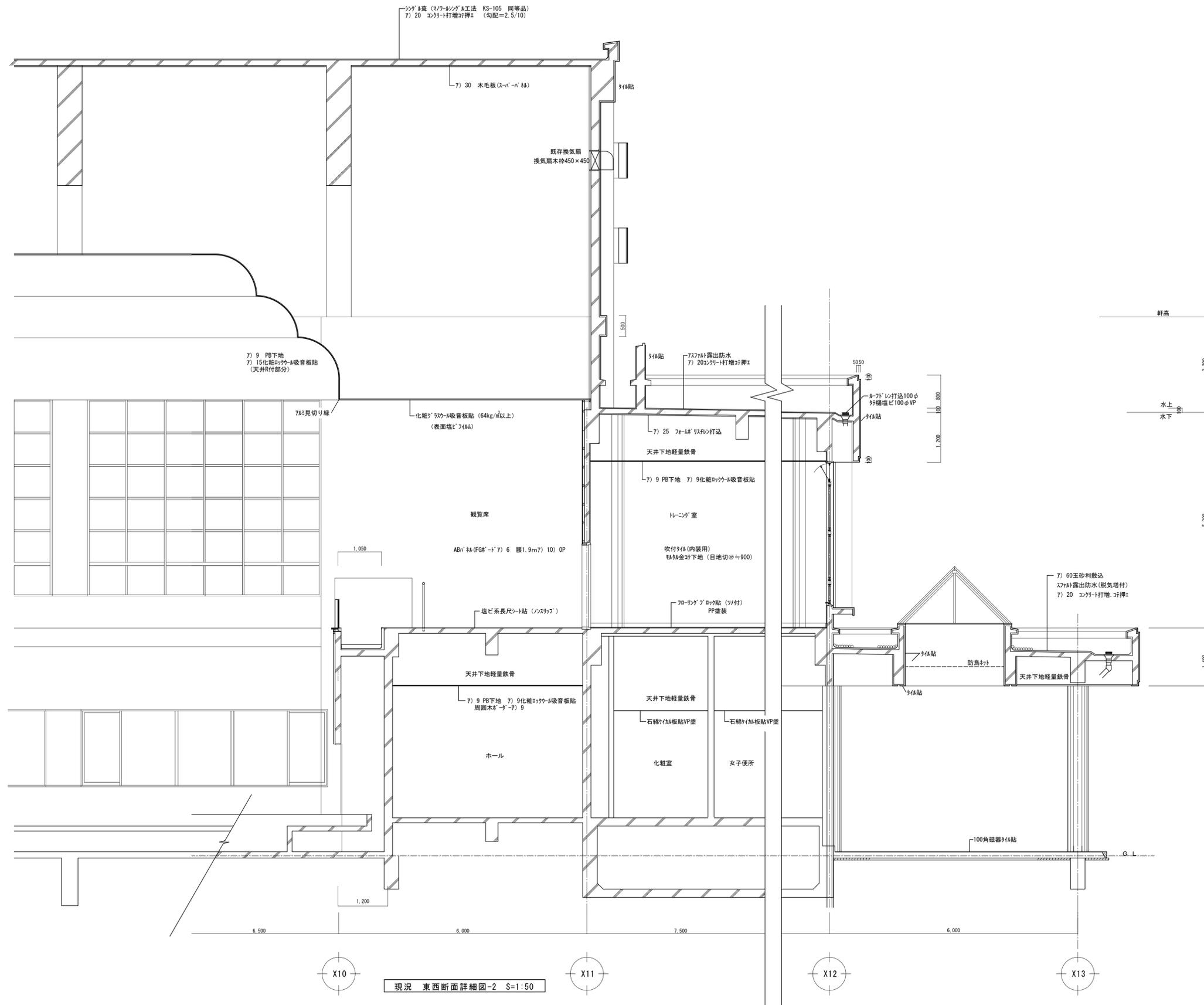
シンク既存のまま、高圧洗浄(10~15MPa)下地調整の上、改質777防水常温粘着工法(AS-J2工法)新設(脱気筒付)(既存破損部分補修下地処理)Xä
 シンク既存のまま、高圧洗浄(10~15MPa)下地調整の上、改質777防水(AS-J2工法)新設(脱気筒付) 改修用レフトレ込込100φ
 777防水撤去、高圧洗浄(10~15MPa)下地調整の上、改質777防水(AS-J2工法)新設(脱気筒付) 改修用レフトレ込込100φ



改修後 東西断面詳細図-1 S=1:50

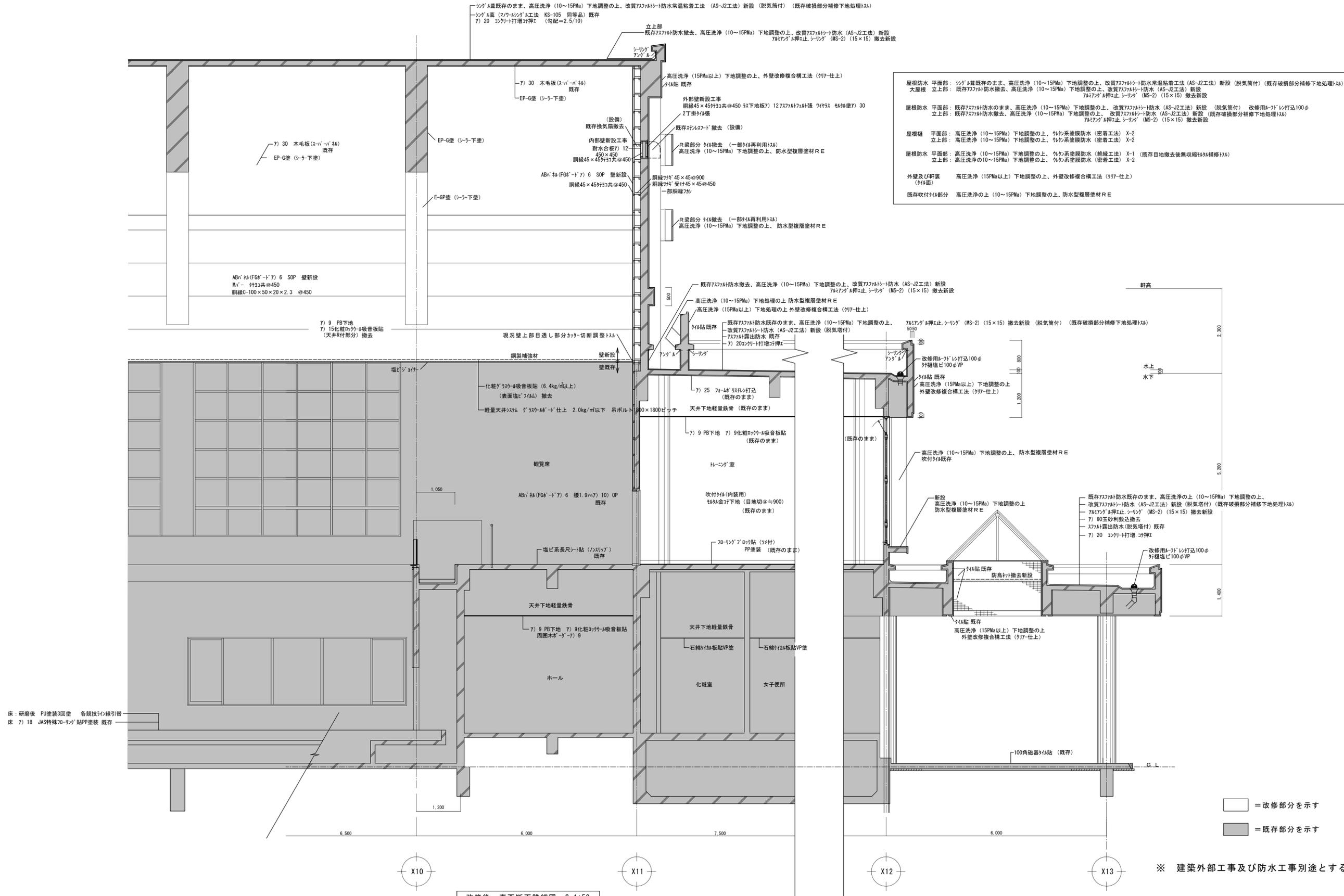
※ 建築外部工事及び防水工事別途とする

特記事項	田頭一級建築設計事務所	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称	行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺	S=1/50	製図年月日	2020年 7月
		福岡県行橋市北東四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	図面名称	改修後 東西断面詳細図-1			所長	検 査



現況 東西断面詳細図-2 S=1:50

特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号 TEL 0930-25-3444	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 現況 東西断面詳細図-2	縮尺 S=1/50	製図年月日	2020年 7月		
				所長	検図	作図	



屋根防水 平面部: シリング 既存のまま、高圧洗浄 (10~15Pa) 下地調整の上、改質7mmシート防水常温粘着工法 (AS-J2工法) 新設 (脱気筒付) (既存破損部分補修下地処理あり)
 大屋根 立上部: 既存7mmシート防水撤去、高圧洗浄 (10~15Pa) 下地調整の上、改質7mmシート防水 (AS-J2工法) 新設 (脱気筒付) 7mmシート防水 (MS-2) (15×15) 撤去新設

屋根防水 平面部: 既存7mmシート防水のまま、高圧洗浄 (10~15Pa) 下地調整の上、改質7mmシート防水 (AS-J2工法) 新設 (脱気筒付) 改修用100φ打込100φ
 立上部: 既存7mmシート防水撤去、高圧洗浄 (10~15Pa) 下地調整の上、改質7mmシート防水 (AS-J2工法) 新設 (脱気筒付) 7mmシート防水 (MS-2) (15×15) 撤去新設

屋根種 平面部: 高圧洗浄 (10~15Pa) 下地調整の上、ウレタン系塗膜防水 (密着工法) X-2
 立上部: 高圧洗浄 (10~15Pa) 下地調整の上、ウレタン系塗膜防水 (密着工法) X-2

屋根防水 平面部: 高圧洗浄 (10~15Pa) 下地調整の上、ウレタン系塗膜防水 (絶縁工法) X-1 (既存目地撤去後無収縮樹脂補修あり)
 立上部: 高圧洗浄 (10~15Pa) 下地調整の上、ウレタン系塗膜防水 (密着工法) X-2

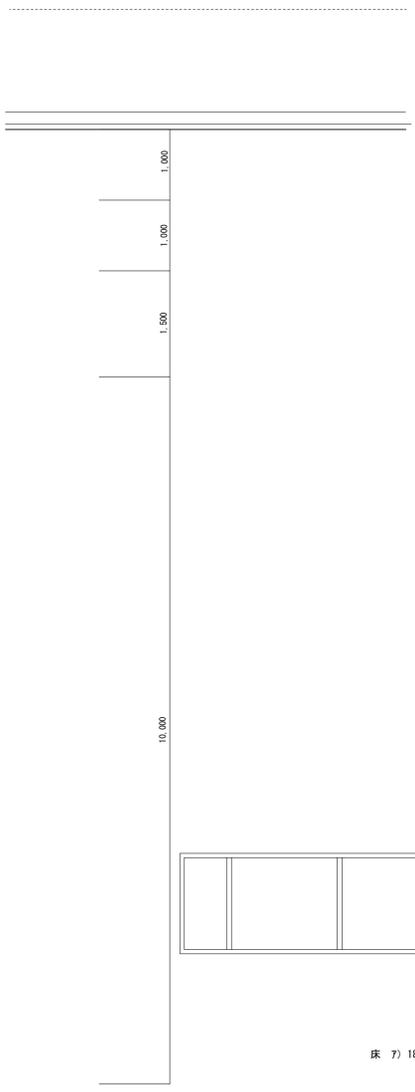
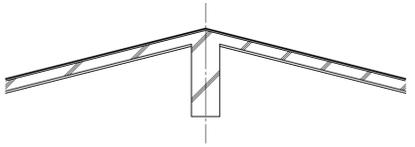
外壁及び軒裏 高圧洗浄 (15Pa以上) 下地調整の上、外壁改修複合構工法 (917-仕上) (917面)
 既存吹付917部分 高圧洗浄の上 (10~15Pa) 下地調整の上、防水型複層塗材 R E

□ = 改修部分を示す
 ■ = 既存部分を示す

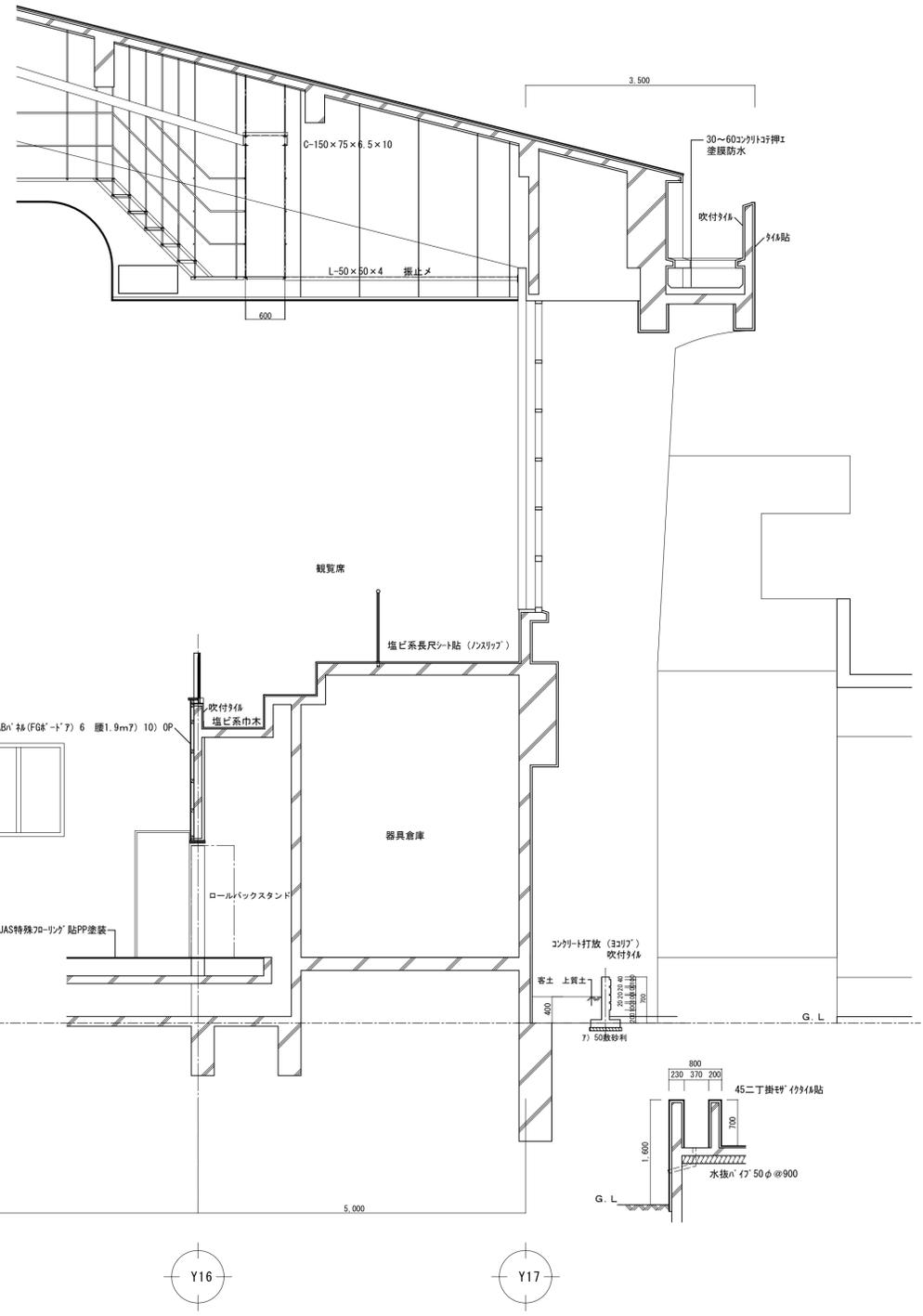
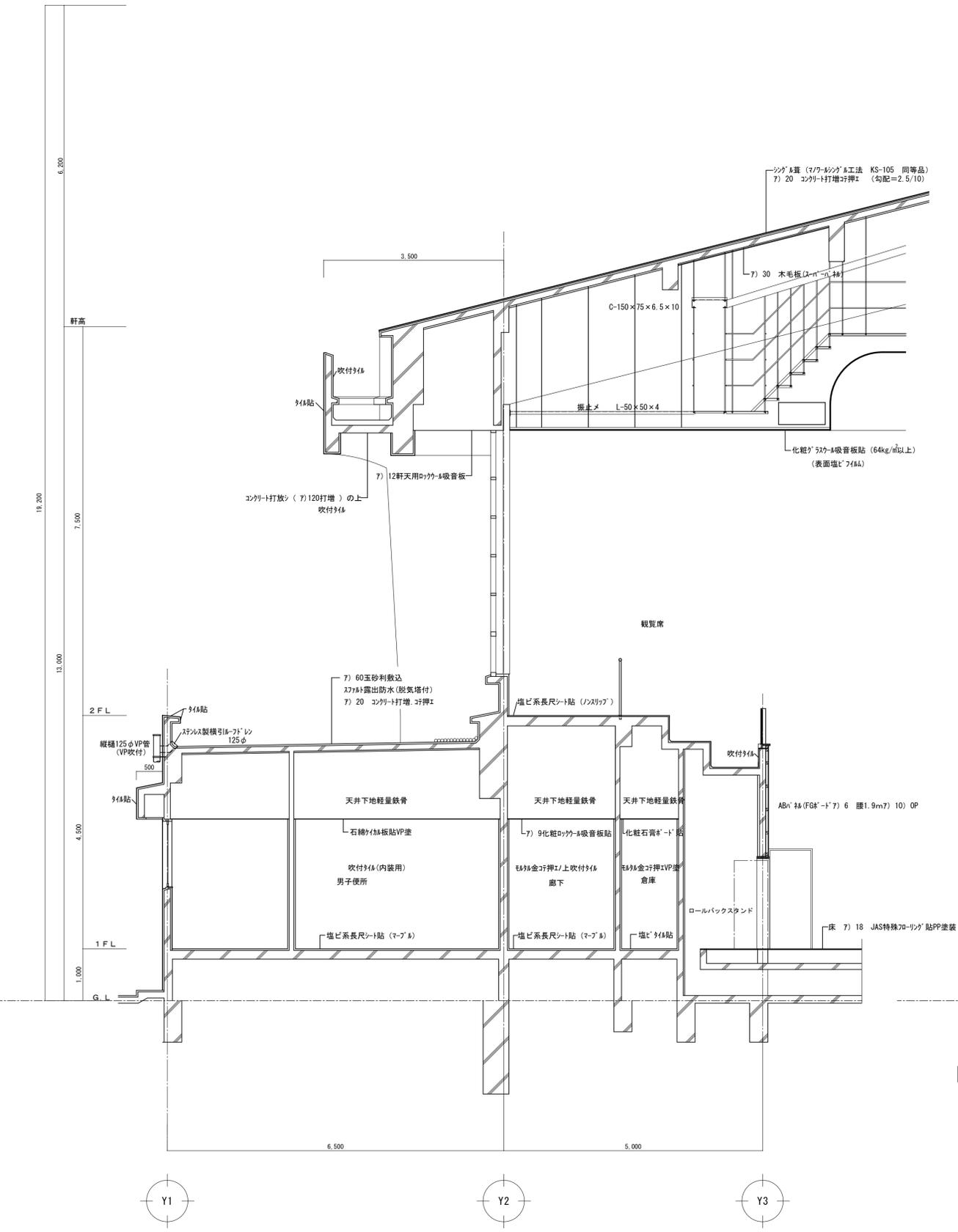
※ 建築外部工事及び防水工事別途とする

改修後 東西断面詳細図 S=1:50

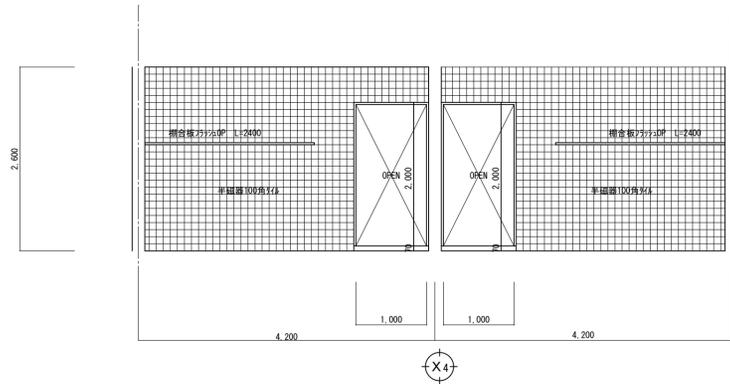
特記事項	田頭一級建築設計事務所	工務名称	行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺	S=1/50	製図年月日	2020年 7月
	福岡県行橋市北東四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	図面名称	改修後 東西断面詳細図-2		所長	検 図



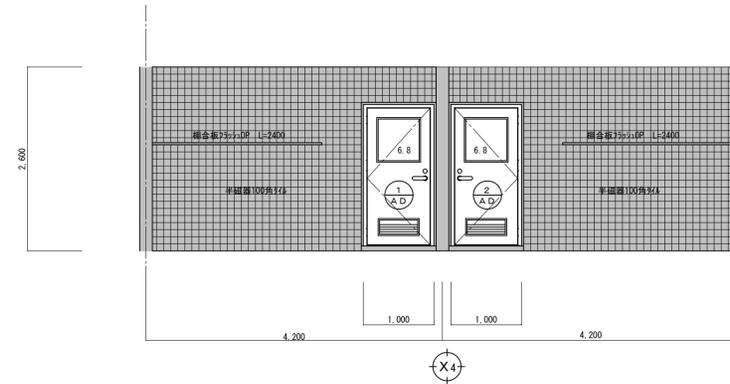
現況 南北断面詳細図 S=1:50



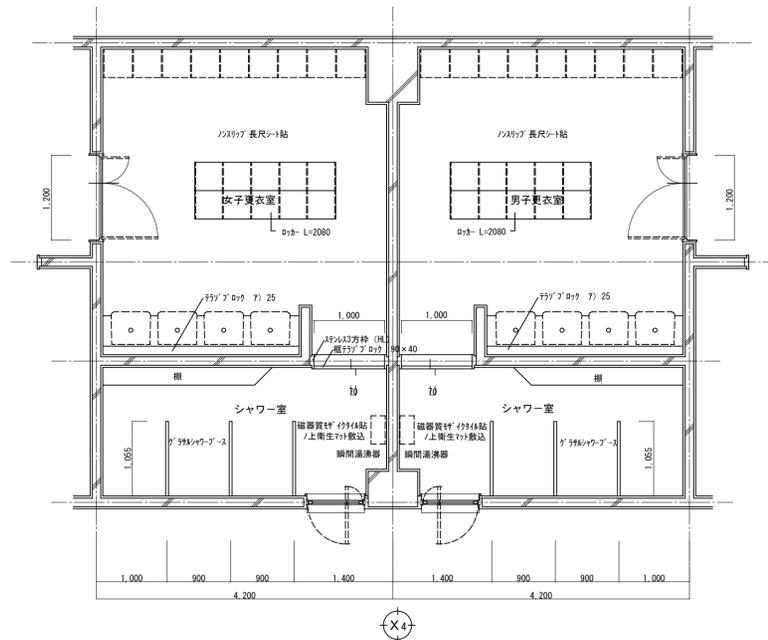
特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	製図年月日 2020年 7月
			図面名称 現況 南北断面詳細図	縮尺 S=1/50
			所長 検査 作図	2020年 7月 検査 作図



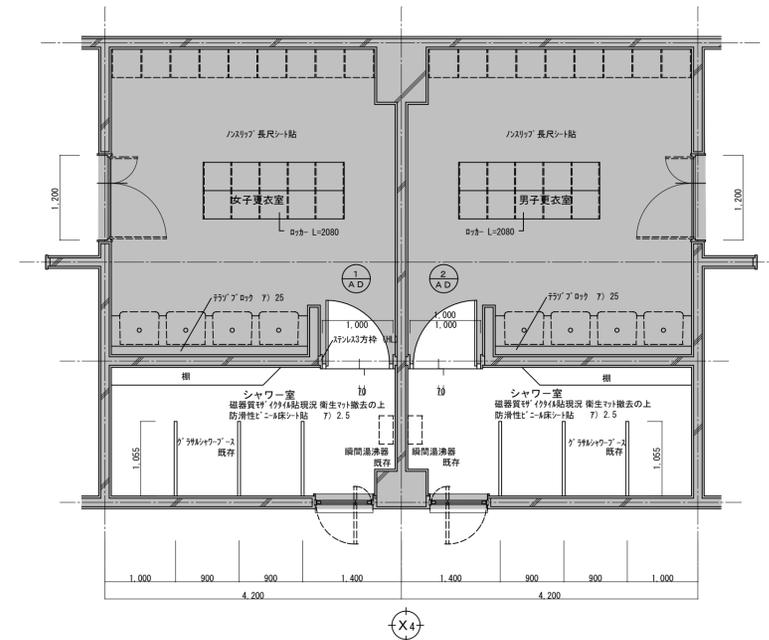
シャワー室 改修前展開図 S=1:50



シャワー室 改修後展開図 S=1:50



シャワー室 現況平面詳細図 S=1:50



シャワー室 改修後平面詳細図 S=1:50

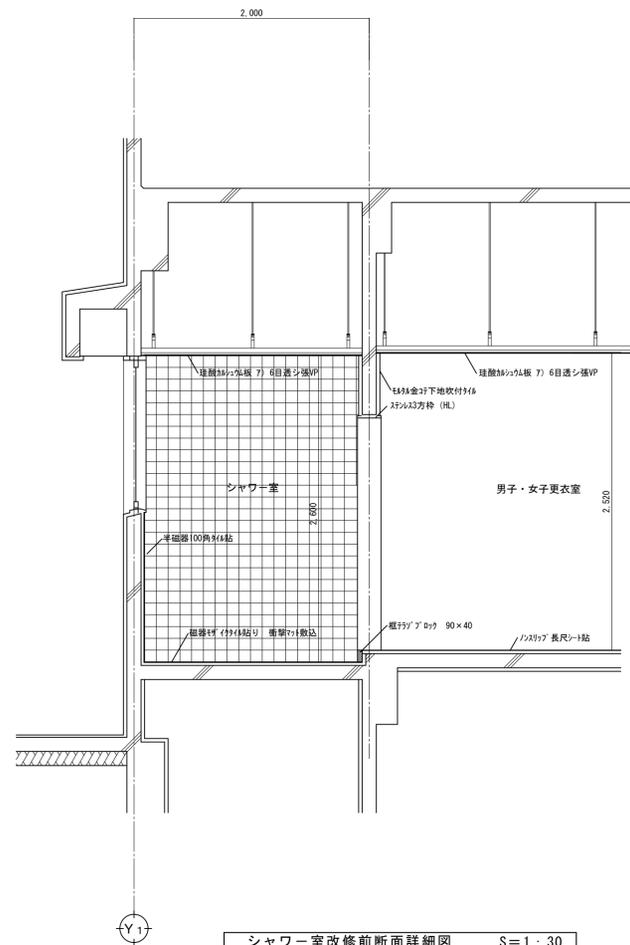
- = 改修部分を示す
- = 既存部分を示す

特記事項

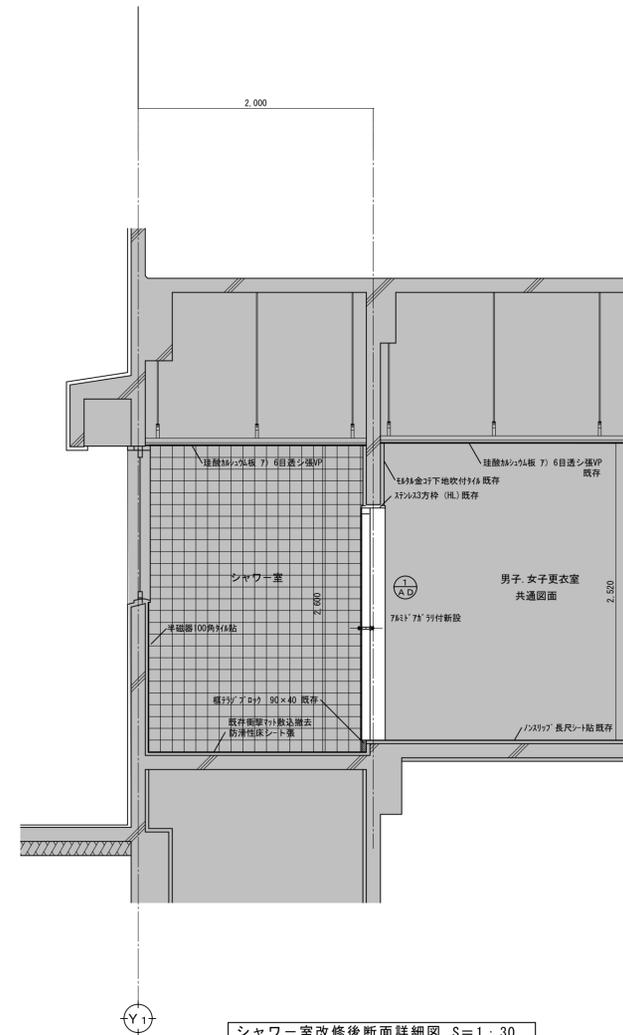
田頭一級建築設計事務所
 一級建築士事務所
 福岡県知事登録第1-20466号
 福岡県北九州市東区四丁目26-16
 田頭 康典
 一級建築士 大田登録第126902号
 TEL 0930-25-3444

工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
 図面名称 改修前後 平面詳細図. 展開図

縮尺 S=1/50	製図年月日 2020年 7月		
	所長	検図	作図



シャワー室改修前断面詳細図 S=1:30



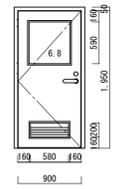
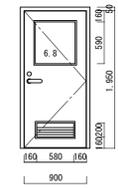
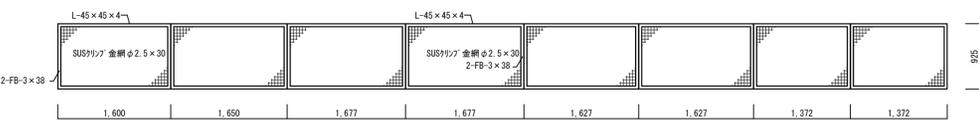
シャワー室改修後断面詳細図 S=1:30

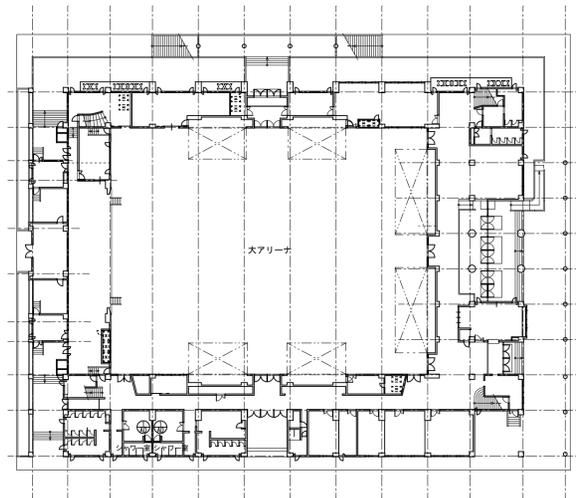
- = 改修部分を示す
- = 既存部分を示す

特 記 事 項		田頭一級建築設計事務所 <small>福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444</small>	<small>一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号</small>	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 改修前後 断面詳細図	縮尺 S=1/30	製図年月日 2020年 7月 所 長 検 査 作 図	A-44

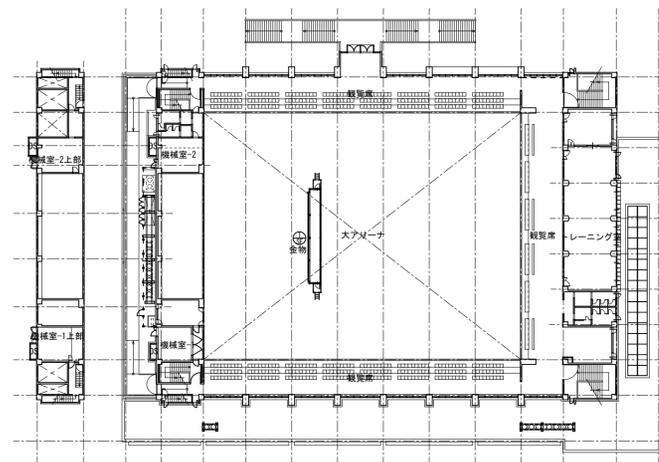
建具表 S=1:50

金物 S=1:50

記号・数量	① A/D × 1	② A/D × 1	① S/F 外観 防球ネット
形状			
場所	1階シャワー室(女子)	1階シャワー室(男子)	シリングネット室
形式	EX1MA31 (S-5)	EX1MA31 (S-5)	金網FIX
見込	70	70	45
材質・仕上	アルミ	アルミ	軽量鉄骨 (アングル・フラットバー等)
硝子	網入 型ガラス	網入 型ガラス	
金物	レバー・ハンドル錠 丁番 ドアボタ 取付栓	レバー・ハンドル錠 丁番 ドアボタ 取付栓	L-45×45×4 2-FB-3×38 SUS316L 金網φ2.5×30 ネット・ビス止め
備考			
記号・数量			
形状			
場所			
形式			
見込			
材質・仕上			
硝子			
金物			
備考			



1階 キープラン S=1:500



2階上部 キープラン S=1:500

2階 キープラン S=1:500

特記事項

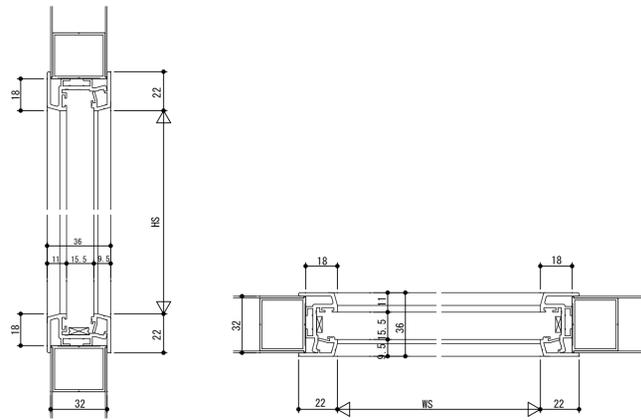
田頭一級建築設計事務所
福岡県行橋市北条四丁目28-16
TEL 0930-25-3444

一級建築士事務所
福岡県知事登録第1-20466号
田頭 康典
一級建築士 大臣登録第126902号

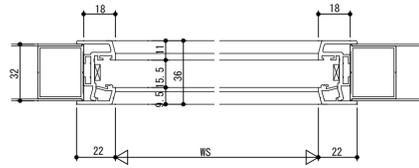
工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
四面名称 改修後 建具表

縮尺 S=1/50
S=1/500

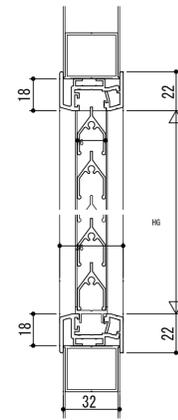
製図年月日	2020年 7月		
所長	検図	作図	



カハ-断面詳細図 S=1:2

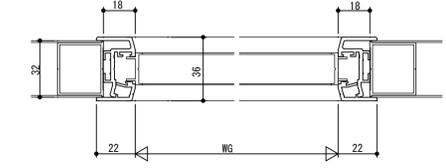


カハ-平面詳細図 S=1:2



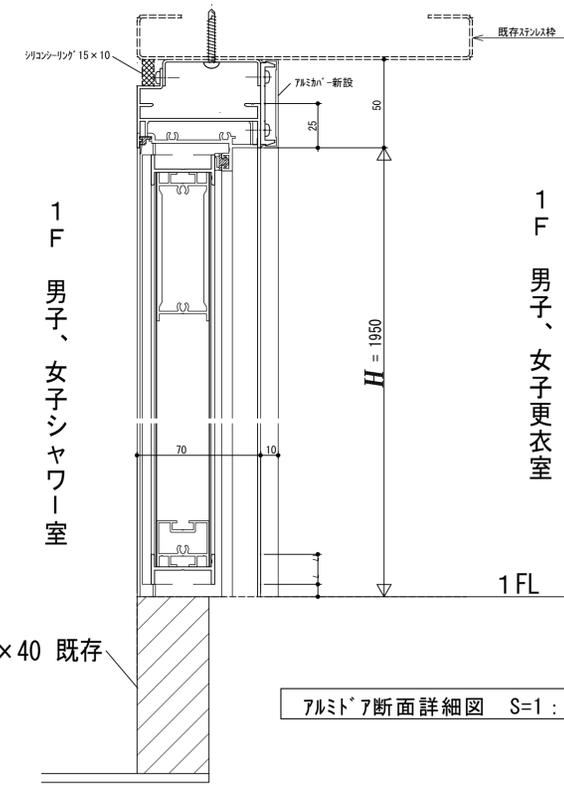
羽根K-91326の場合

アルミアガリ断面詳細図 S=1:2

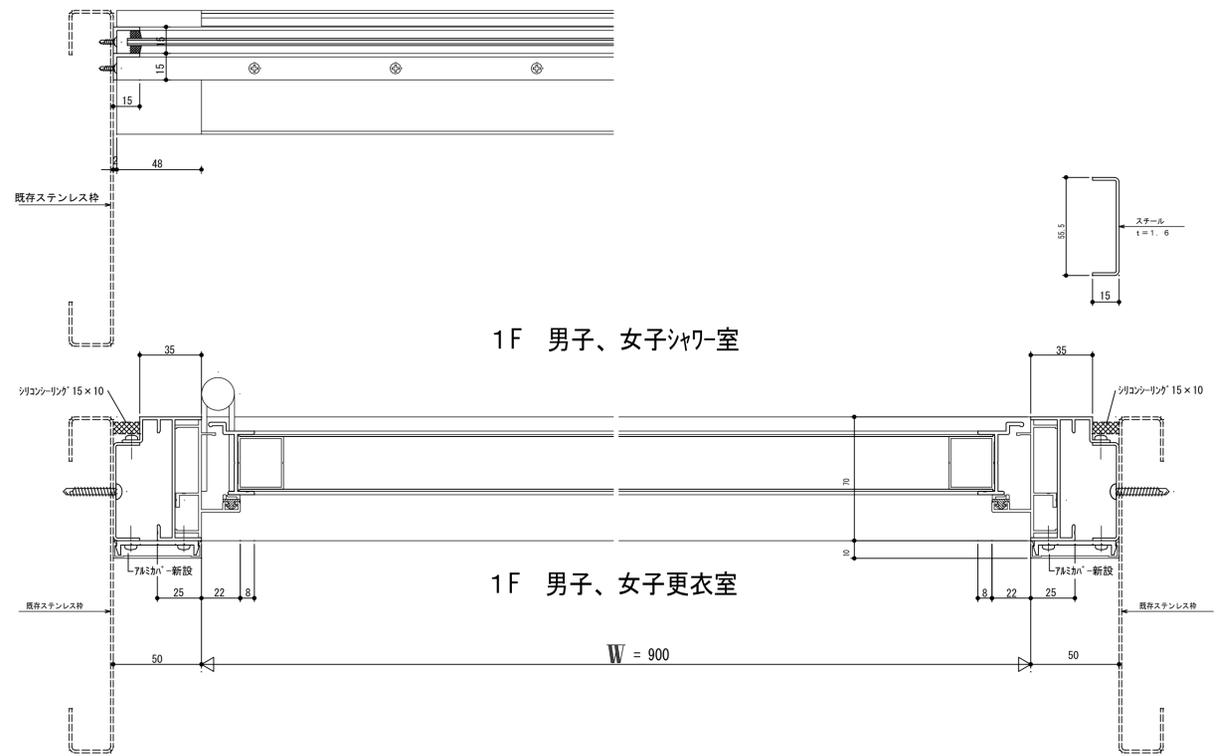


羽根K-91326の場合

アルミアガリ平面詳細図 S=1:2

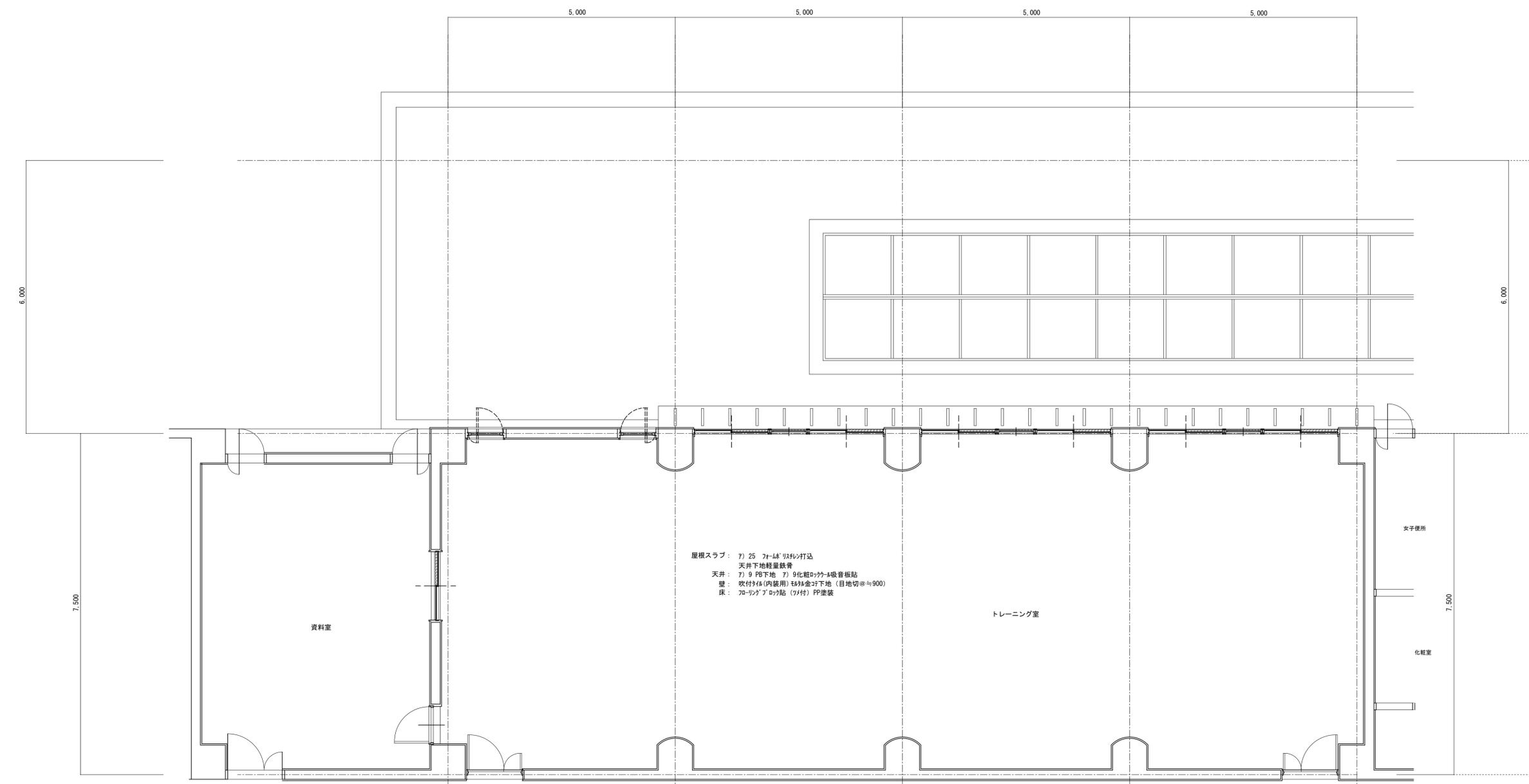
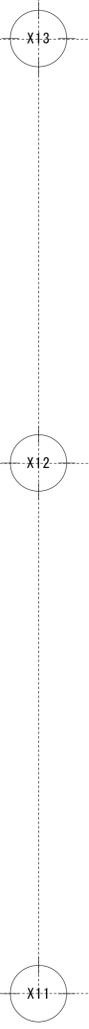
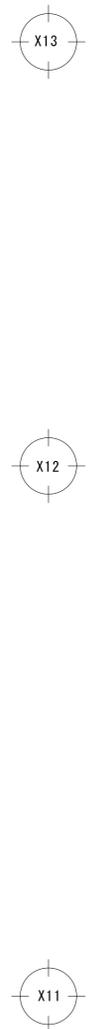


アルミアガリ断面詳細図 S=1:2



アルミアガリ平面詳細図 S=1:2

特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県市北東四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称	行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事	縮尺	S=1/2	製図年月日	2020年 7月
			図面名称	改修後 アルミドア詳細図	所長	検図	作図	



屋根スラブ： 7) 25 オール' 90' 打込
 天井： 7) 9 PB下地 7) 9化粧ロック吸音板貼
 壁： 吹付タイル(内装用) 砂鉢金下地 (目地切@=900)
 床： 7) ロックアップ ロック貼 (タ付) PP塗装

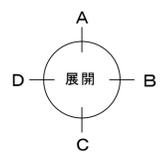
資料室

トレーニング室

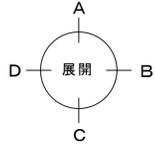
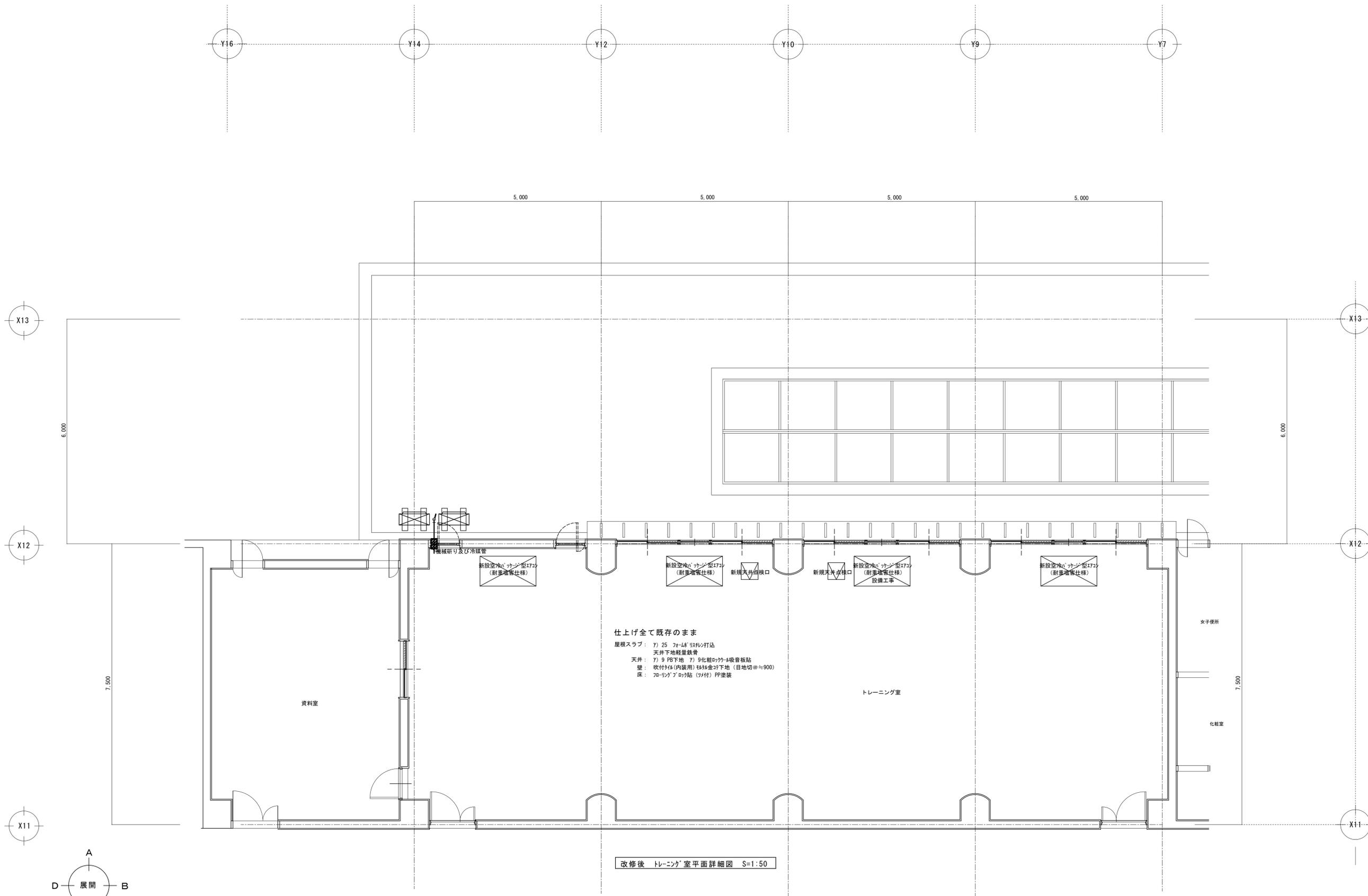
女子トイレ

化粧室

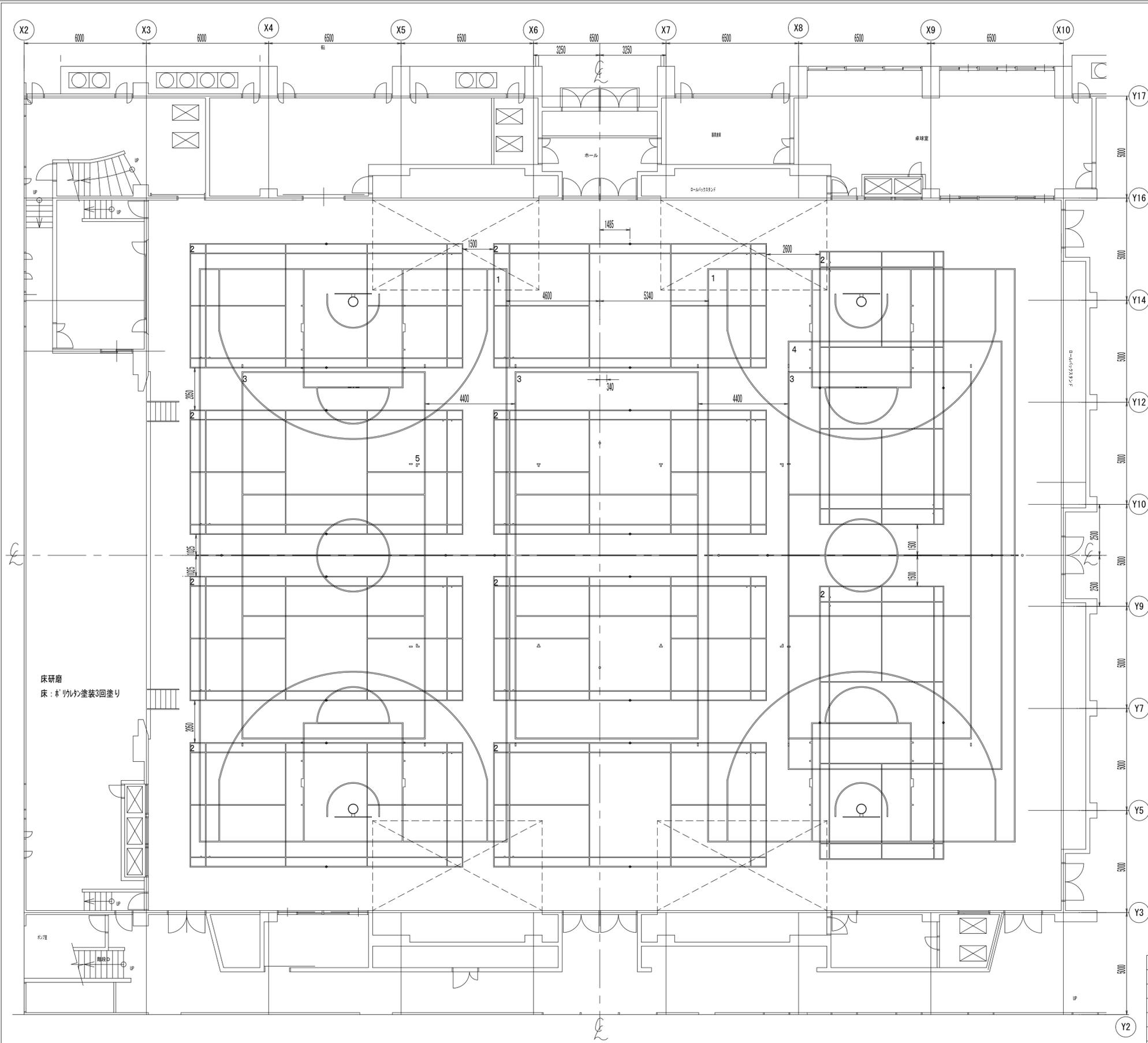
現況 トレーニング室平面詳細図 S=1:50



特記事項	田頭一級建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 現況 平面詳細図	縮尺 S=1/50	製図年月日	2020年 7月
				所長	検図



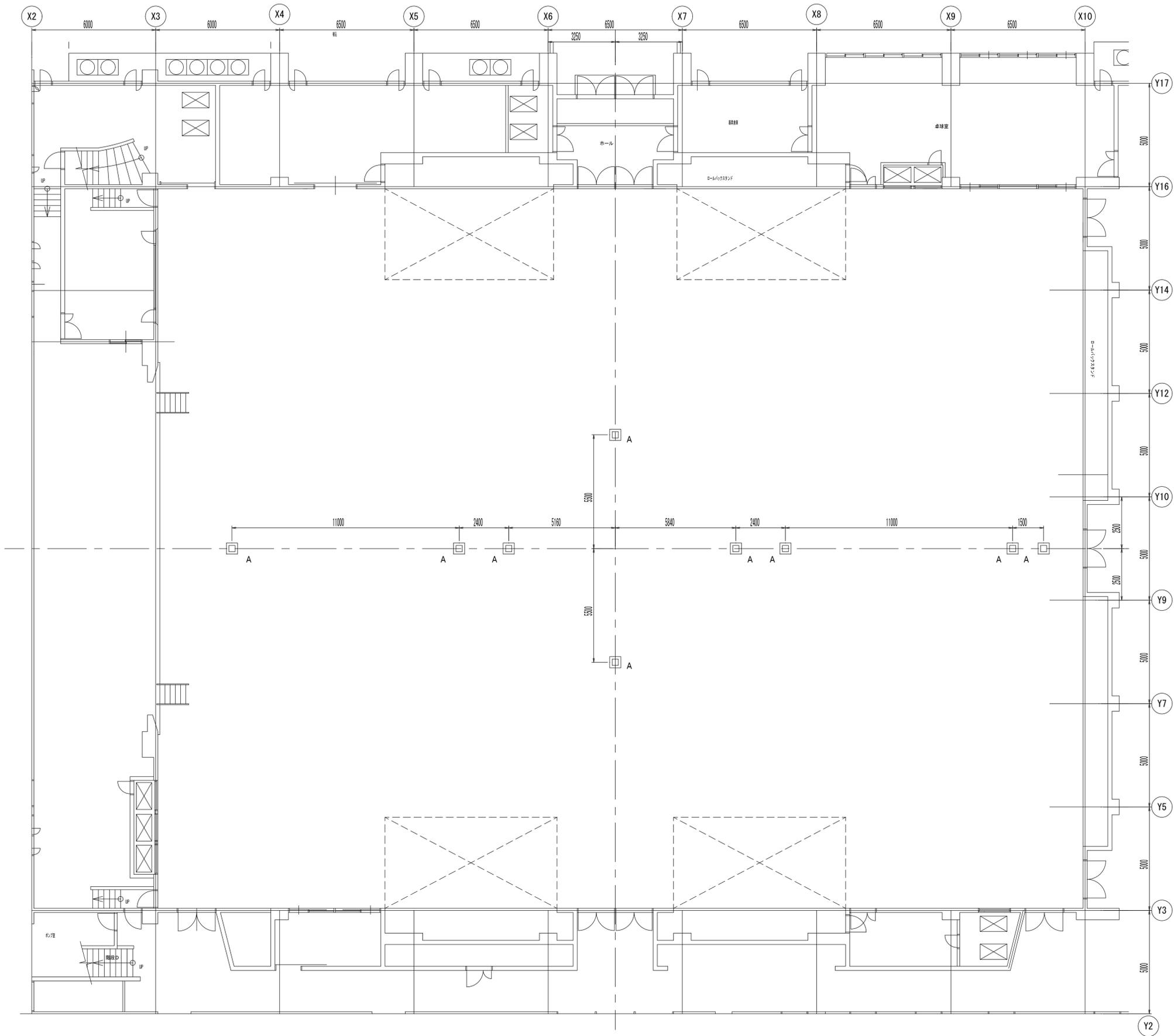
特記事項	田頭一級建築設計事務所 福岡県行橋市北泉四丁目28-16 TEL 0930-25-3444	一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20466号 田頭 康典 一級建築士 大臣登録第126902号	工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事 図面名称 改修後 平面詳細図	縮尺 S=1/50	製図年月日	2020年 7月		
					所長	検図	作図	



コート配置図 S=1:100

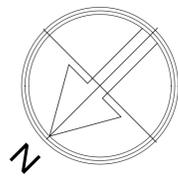
床研磨
床：*リルカ塗装3回塗り
各競技タイプ引直し

コートライン内訳表						
記号	種別	寸法	面数	備考	ライン色	優先順位
1	バスケットボールコート	28000×15000	2面	実線	ライン幅50mm	-
2	バドミントンコート	13400×6100	10面	実線	ライン幅40mm	-
3	サブバレーボールコート(6人制)	18000×9000	3面	実線	ライン幅50mm	-
4	サブバレーボールコート(9人制)	21000×10500	1面	実線	ライン幅50mm	-
5	メインバレーボールコート(6人制)	18000×9000	1面	コーナースポット	ライン幅50mm	-

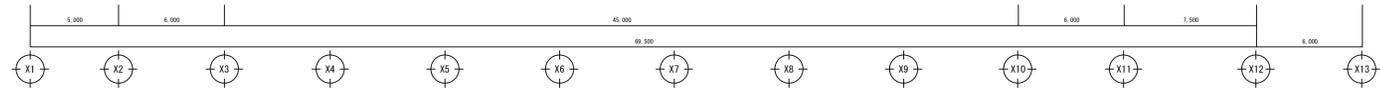
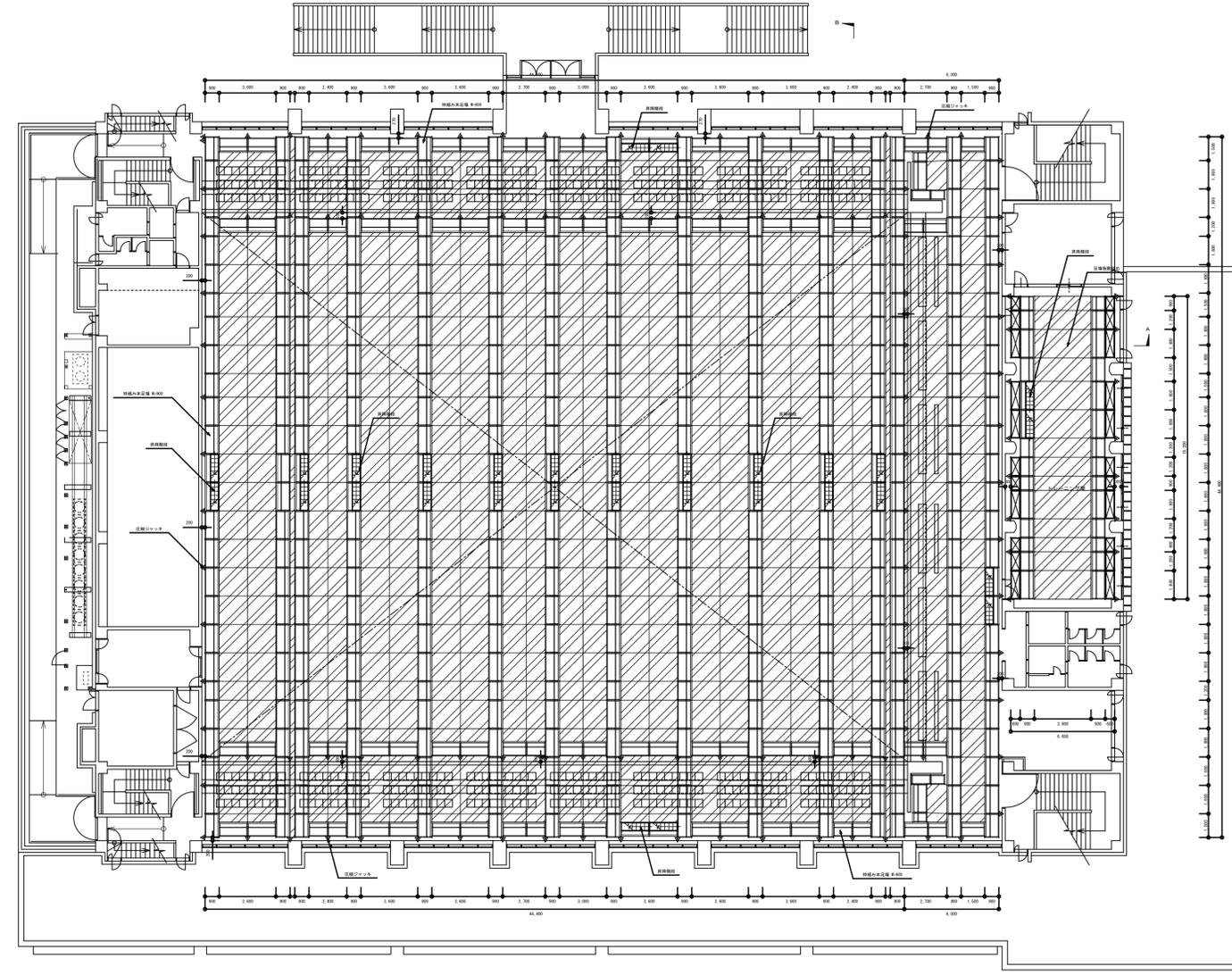
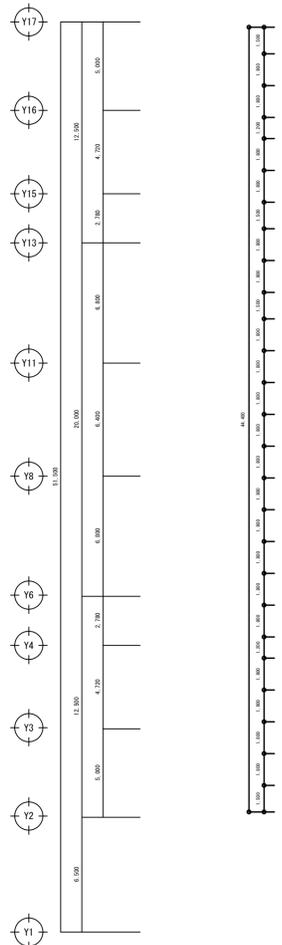


既存金具内訳表		
A	バレーボール用基礎	9個
合計		9個

既存金具配置図 S=1:100



凡例	種載荷重	布板使用条件
	種載荷重 種載荷重 W=900 1スパン/270kg	布板 500幅 1枚 240幅 1枚
	フラケット足場 種載荷重 W=600 1スパン/200kg	布板 500幅 1枚 伸縮フラケット使用
	種載荷重 種載荷重 1スパン/120kg	木製足場板 4.00x210x25 ブルーシートコンパネ等



内部脚場平面参考図 A1=1/200

凡例	
	圧縮ジャッキ
	屋根断り
	鋼床断り

特記事項

田頭一級建築設計事務所
 一級建築士事務所
 福岡県知事登録第1-20466号
 福岡県行橋市北泉四丁目28-16
 TEL 0930-25-3444
 田頭 康典
 一級建築士 大臣登録第126902号

工事名称 行橋市民体育館改修工事の内建築主体工事
 図面名称 改修後 内部仮設参考図

縮尺 S=1/200	製図年月日	2020年 7月	
	所長	検図	作図